

Copyright ©1997, 2009 Electronics for Imaging, Inc.

本書を事前に書面による承諾を得ることなく、印刷、複写、その他何らかの方法にてコピーまたは複製することは、その形態を問わず禁じられています。

本プログラムの使用、あるいは本書に含まれるエラーまたは過失により、何らかの損害が生じたとしても、EFI はいかなる責務も負うことはありません。本書の情報は印刷時におけるソフトウェアの状態を示しています。EFI は随時、技術的な記載情報に変更を加える権利を有しています。

本書で言及されている製品の名前の権利は、それらの製品の製造元に帰属します。

Acrobat, Adobe, および PostScript は、米国ならびにその他の諸国における Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。

HKS® は HKS Trademark Association の登録商標です。

PANTONE® は Pantone, Inc. の登録商標です。

TOYO® は TOYO Ink International Corporation の登録商標です。

DIC® は DIC Colour Industries Sdn Bhd の登録商標です。

その他のサードパーティの著作権、および注意事項

Portions Copyright © 1990, 1994 Regents of The University of Michigan.

All Rights Reserved.

Portions Copyright © 1983 Regents of the University of California.

All rights reserved.

ソースおよびバイナリ形式での再配布と使用は、改変の有無に関わらず、下記のすべての条件を満たす場合のみ許可されます。

ソース・コードを再配布する場合は、上記の著作権情報、この条件リスト、および次の免責条項を、そのまま残しておくこと。

バイナリ形式で再配布する場合は、上記の著作権情報、この条件リスト、および次の免責条項を複製し、付属マニュアルまたはその他の付属資料内に添付すること。

本ソフトウェアの機能または使用に言及しているすべての広告資料に、次の文言を明示すること。本製品には、カリフォルニア大学バークレー校にて開発され、外部開発者による貢献を盛り込んだソフトウェアが含まれています。

同校の名前ならびに開発貢献者の名前を、個々の当該組織または個人より書面による事前承諾を得ることなく、本ソフトウェアから派生した製品の保証や販促に使用することは禁じられています。

本ソフトウェアは、同校理事会および開発貢献者により「現状のまま」提供されており、商用性ならびに特定用途への適合性の暗黙的保証を含む、明示ならびに暗黙のいかなる保証も伴いません。本ソフトウェアの使用に起因して、代替商品またはサービスの調達、使用、データ、または利益の損失、事業の中断その他の、直接的、間接的、特殊、典型的、偶発的、または必然的な損害を蒙ったとしても、因果関係の如何に関わらず、契約、無過失責任、あるいは（意図的または意図せぬ）不法行為等、いかなる責任理論にも拠らず、またそのような損害の可能性を事前に告知されていたかどうかに関係なく、同校理事会および開発貢献者はいっさいの責任を負いません。

Copyright © 1983 Regents of the University of California.

Copyright © 1990, 1991 Regents of The University of Michigan.

Portions Copyright © 1990, 1991 Regents of The University of Michigan.

All Rights Reserved.

本ソフトウェアと添付文書は、いかなる用途にも、無料にて使用、コピー、改変、および配布できません。ただし、上記の著作権通知をすべてのコピーに明示し、同じ著作権通知とこの許可通知を添付文書に明示すること、およびミシガン大学の名称 (The University of Michigan) を、書面による事前承諾を得ることなく、ソフトウェアの配布に関連する広告や公示に使用しないことを条件とします。本ソフトウェアは、明示ならびに暗黙的ないかなる保証も伴わない「現状のまま」で提供されます。

Research Systems Unix Group

The University of Michigan

c/o Mike Clark

535 W. William Street

Ann Arbor, Michigan

+1-313-763-0525

netatalk@itd.umich.edu

2009年9月

目次

はじめに	7
EFI eXpress とは？	7
システムに必要な条件	8
プログラムフォルダー	9
本書について	12
EFI サポート	13
オンラインユーザーフォーラム	13
表記法	13
ソフトウェアのセットアップ	14
EFI eXpress の起動	14
製品登録	15
EFI eXpress のライセンス設定	15
EFI eXpress のセットアップ	18
ユーザーインターフェイス	26
メニュー	27
「EFI eXpress」メニュー	27
「ファイル」メニュー	27
「編集」メニュー	29
「アクション」メニュー	30
「表示」メニュー	32
「ヘルプ」メニュー	34
メインツールバー	35
「環境設定」ダイアログボックスとプロパティ・インスペクター	36
「環境設定」ダイアログボックスへのアクセスと設定	37
プロパティ・インスペクターへのアクセスと設定	38
設定	38

ジョブリスト	78
表示内容	78
コンテキストメニュー	79
プレビューウィンドウ	80
プレビューツールバー	81
ページポジションツール	82
キーボードショートカット	82
コンテキストメニュー	84
プレビューの表示	84
ステータスバー	85
印刷	86
サポートされるファイル形式	86
EFI eXpress からの直接印刷	87
Unidriver を使用した印刷	88
Windows 版 Unidriver のインストール	88
Macintosh 版 Unidriver のインストール	90
ホットフォルダを使用した印刷	92
仮想プリンターを使用した印刷	93
サポートプロトコル	93
EFI AppleTalk ドライバーのインストール	96
EFI eXpress の設定	97
クライアントコンピューター設定	100
アプリケーションからの印刷	104
カラーマネージメントの概要	105
カラーマネージメントの必要性	105
プロファイル	105
メディアプロファイル	105
ソースプロファイル	106
シミュレーション (参照) プロファイル	107

レンダリングインテント	107
設定方法	110
コレクション	110
コレクション機能の設定	111
複製ページの作成	112
ページの整列・分布および位置揃え機能の使用	113
コレクション設定の変更	114
クロッピング	116
クロップツールの使用	116
クロップマージンの定義	118
クロップマークの位置	118
スポットカラー	119
カスタム・メディアプロファイルの作成と適用	125
ビジュアル・リニアリゼーション補正	127
カスタムのメディアフォーマットの適用	131
設定のバックアップと復元	132
更新プログラムおよびプロファイルのインストール	133
日本語フォントの使用	136
アンインストール	137
用語集	139
索引	141

はじめに

ここでは、EFI eXpress の概要と、EFI eXpress を実行するために必要なハードウェア / ソフトウェア環境について説明します。また、プログラムのフォルダー構成についても説明します。

EFI eXpress とは？

EFI eXpress は、高品質カラー再生を実現したいすべてのユーザーに最適なツールです。EFI eXpress は、EFI eXpress for Proofing と EFI eXpress for Photo の 2 つのバージョンが利用できます。

- EFI eXpress for Photo は、RGB デジタル写真を鮮明なカラーで再現します。最高品質のデジタル写真の印刷に最適です。肖像写真、結婚式写真、風景写真、スポーツ、学校の写真、あるいは美術写真の再生に適しています。
- EFI eXpress for Proofing には、EFI eXpress for Photo の全機能に加え、デジタルの連続諧調のプルーフ（CMYK とスポットカラー）を作成する機能があり、ジョブのカラー結果をシミュレートし、後でプロフェッショナルな印刷プレス機への印刷に使用できます。EFI eXpress for Proofing は、社内および遠隔地からの広告写真印刷や、ハードコピー上の校正に適しています。

どちらのワークフローにおいても、複雑なカラー管理設定を行わずに、正確で均一なカラーを得られます。

EFI eXpress ソフトウェアは、Windows および Macintosh オペレーティングシステム上で動作し、操作は簡単です。ソフトウェアにはソースプロファイル、シミュレーションプロファイル、および用紙プロファイルが標準で付属しています。これらを使用して、ご使用のインクジェットおよびレーザー / LED プリンター上で、さまざまな種類の出力デバイスをシミュレートすることができます。

このように EFI eXpress は、日々の業務において正確なカラーを反映した印刷結果が重要となるデザイナー、写真家、印刷代理店、プリプレス会社およびその他の小企業や印刷物購入業者にとって、理想的な製品です。

システムに必要な条件

EFI eXpress を正しくインストールし、実行するには、次に示すシステムの条件が必要です。

オペレーティングシステム	Windows	<ul style="list-style-type: none">• Windows XP Home Edition/Professional• Windows Vista• Windows 2003 Server standard• Windows 2008 Server
	Macintosh	<ul style="list-style-type: none">• Mac OS X 10.4 以上
ハードウェア	Windows	<ul style="list-style-type: none">• 2 GHz Pentium IV PC• 1024 MB の RAM• 10 GB の空きハードディスク容量• 10/100 MBit のネットワークインターフェイスカード• USB ポート (ハードウェアキー用)• VGA 互換グラフィックカード
	Macintosh	<ul style="list-style-type: none">• Intel Mac (ネイティブ)• 1024 MB の RAM• 5 GB の空きハードディスク容量• 10/100 MBit のネットワークインターフェイスカード• USB ポート (ハードウェアキー用)• VGA 互換グラフィックカード

プログラムフォルダー

ここで示す Windows フォルダーへのパスは、Windows XP オペレーティングシステムでのパスです。他の Windows オペレーティングシステムでは、若干異なることがあります。

- インストールフォルダー

インストール時に別のフォルダーを選択しない場合、EFI eXpress は次のフォルダーにインストールされます。

Windows	C: ¥ Program Files ¥ EFI ¥ EFI eXpress
Macintosh	...:Applications/EFI eXpress

アプリケーションフォルダーには、次の 3 つのサブフォルダーが含まれます。

フォルダー名	内容
Documentation	PDF 形式のユーザーマニュアルとオンラインヘルプです。サポート対象の全言語のファイルがあります。
Modules	<ul style="list-style-type: none"> • EFI eXpress を実行するために必要な全プログラムファイルです。メインのプログラムファイルはこのフォルダーにあります。 • プリンタードライバー
Samples	<ul style="list-style-type: none"> • Linear_01.ps (用紙長補正に必要) • EFI_Form_Offset リファレンスファイル
Tools	<ul style="list-style-type: none"> • プログラム更新 / プロファイル更新用アプリケーション • PPD

DVD の「Tools」フォルダーと「Other」フォルダーには、EFI AppleTalk ドライバー、ドングルドライバー、Unidriver、および Adobe Reader が格納されています。

- EFI eXpress フォルダー

ジョブ処理に直接関連するすべての作業ファイルは、次のフォルダーにあります。

Windows	.. ¥ Documents and Settings ¥ All Users ¥ Application Data ¥ EFI ¥ EFI eXpress
Macintosh	Library/Application Support/EFI/EFI eXpress

「EFI eXpress」フォルダーには、次のサブフォルダーがあります。

フォルダー名	内容
ControlCharts	Fogra プルーフ作成に使用される Ugra Fogra-MediaWedge V2.2HP.it8 チャート
ControlStrip	サポートされている測定デバイスすべての一連のコントロールストリップ
Cpsi	PS、EPS、および PDF ファイルの処理中に必要なまたは作成されるファイル
Licensing	インストール済みのライセンスファイル。 言語バージョンによっては、翻訳された「Application Data」フォルダーの名前に非 ASCII 文字が含まれることがあり、問題になることがあります。このような場合、EFI eXpress は「Application Data」という英語名のフォルダーを作成し、ここにライセンスファイルを置きます。
Monitoring	PS、EPS、および PDF ファイルの認識に使用されるジョブ処理フォルダ。
Preferences	ユーザー設定のログ。
Profiles	<ul style="list-style-type: none"> • グレースケールファイル (*.3cc) および視覚的補正ファイル (*.vcc) • . デフォルトのモニターのプロファイル • . ソース (リファレンス) プロファイル • . スポットカラーファイル (*.bct)

フォルダー名	内容
Tickets	プログラム設定のジョブチケット。これらのファイルは、問題をレポートする際に [EFI サポート] により必要です。
Work	次のサブフォルダーがあります。 <ul style="list-style-type: none"> • Backup プログラム設定のバックアップファイルです。以前の状態に戻す際に使用されます。 • Export TIFF 形式にエクスポートされたファイルです。 • JobFolder デフォルトのホットフォルダーとスプールフォルダーです。外部アプリケーションからのジョブにコピーがここに置かれます。 • Output ジョブ処理中に作成される bco ファイルです。bco ファイルは EFI サポートによる問題解決に必要な場合があります。 • Preview プレビューされたジョブのコピーです。 • Remote EFI Remoteproof Containers (BRP, RPF ファイル) • Temp ジョブ処理中に作成される一時ファイルです。

この他にも、Environments、CharacterizationData、Screening といったサブフォルダーがインストールされますが、これらは現在 EFI eXpress により使用されません。

- 環境設定

環境設定は、次のフォルダーに保存されます。

Windows	C:\¥ Documents and Settings ¥ <All Users> ¥ Application Data ¥ EFI ¥ EFI_eXpress ¥ Preferences ¥ <username> ¥ EFI_eXpress.xml
Macintosh	Users/<username>/Library/Preferences/com.efi.eXpress.xml

- ログファイル

EFI eXpress のログファイルは、次のフォルダーに保存されます。ログファイルは EFI サポートによる問題解決に必要な場合があります。

Windows	C:\¥ Documents and Settings ¥ All Users ¥ Application Data ¥ EFI ¥ EFI_eXpress ¥ Log
Macintosh	Users/<username>/Library/Logs/

- 用紙プロファイル
用紙プロファイルは次のフォルダーにインストールされます。

Windows XP/2003	Program Files ¥ EFI ¥ EFI Media Profiles
Macintosh	Macintosh HD/Library/Application Support/EFI/EFI Media Profiles

本書について

本書では、EFI eXpress で利用可能な全機能について説明します。EFI eXpress for Photo あるいは EFI eXpress for Proofing のどちらを使用するかによって、設定が利用できなかったり、機能が利用できないことがあります。両製品の違いについては、[設定](#)で説明しています。

本書は、以下から構成されています。

[ソフトウェアのセットアップ](#)では、インストール後の手順について説明します。EFI eXpress のライセンスを取得し、設定する方法について記述しています。

[ユーザーインターフェイス](#)では、EFI eXpress のユーザーインターフェイスについて説明しています。また、「環境設定」ダイアログボックス / プロパティ・インスペクターを使用した EFI eXpress のワークフロー設定とジョブ設定についても説明しています。

[印刷](#)では、EFI eXpress への印刷方法を説明します。

[カラーマネージメントの概要](#)では、カラーマネージメントの概要を紹介します。カラーを操作するためのプロファイルとレンダリングインテントの使用方法を説明しています。

[設定方法](#)では、EFI eXpress での印刷ジョブワークフローをより効率的に実行可能にする EFI eXpress の諸機能を説明しています。また、EFI eXpress の設定のバックアップ方法や、ソフトウェアのアップデート方法など、EFI eXpress の管理についても記載しています。

[アンインストール](#)では、EFI eXpress のアンインストール方法を説明します。

マニュアルの最後にある[用語集](#)では、EFI eXpress を使用中に表示される用語の一部について説明します。

EFI サポート

EFI eXpress の使用中に問題が起こり、本マニュアルでは解決できない場合、再販売業者または代理店に連絡して技術サポートを受けてください。次のウェブページで、「Support」タブをクリックし、各地域の連絡先を調べてください。

<http://www.efi.com/bestcolor>

再販売業者または代理店に問い合わせる場合は、必ず次の情報を用意してください。

- ソフトウェアのバージョンの名前およびリリース番号
- ライセンス情報
- プリンターモデル
- オペレーティングシステムとバージョン番号
- その他のインストールされているハードウェアおよびソフトウェア (例、ISDN ボード、ウィルススキャナ)

オンラインユーザーフォーラム

オンラインフォーラムは、EFI eXpress のすべてのユーザに開かれています。EFI チームのメンバーに直接 EFI eXpress のあらゆる範囲に関する質問を掲示することができます。また、その他のフォーラムメンバーとのオープンな議論ができ、その他のユーザーと交流するための理想的なプラットフォームとなります。フォーラムにメンバー登録するには、<http://www.efi.com/bestcolor> にアクセスし、「User Forum」リンクをクリックしてください。

表記法



「注意」には、ソフトウェア使用時に発生するエラーを防ぐために重要な情報を記載していますので、必ずお読みください。



「ヒント」は、特定の作業を行う際に役に立つ情報を記載しています。

本書で使用されている画面には、EFI eXpress for Proofing の Windows 版と Macintosh 版から作成されています。EFI eXpress がインストールされているオペレーティングシステムや使用している EFI eXpress 製品によっては、実際の表示と異なる場合があります。EFI eXpress for Photo と EFI eXpress for Proofing の違いについては、[設定](#)を参照してください。

ソフトウェアのセットアップ

ここでは、ライセンスの設定方法とソフトウェアのセットアップについて説明します。

EFI eXpress の起動

インストール中に、EFI eXpress のプログラムアイコンが作成されます。

プログラムアイコン



EFI EXPRESS を起動するには

- 1 Windows では、デスクトップ上のプログラムアイコンをダブルクリックします。
Macintosh では、Dock 内のプログラムアイコンをダブルクリックします。



ライセンス設定が行われるまでは、ソフトウェアはデモモードで動作します。デモモードでは、ジョブの読み込みや処理は可能ですが、印刷するとデモスタンプ付きで出力されます。デモスタンプなしでジョブを出力するには、ソフトウェアのライセンス設定を行う必要があります。

デモモードでは、EFI eXpress for Photo と EFI eXpress for Proofing の両方にアクセスできます。これにより、ライセンスをインストールする前に、どちらの製品がよりお客様のニーズにあったものかを見極めることができます。EFI eXpress を起動したときに製品選択ウィンドウが表示された場合、どちらを使用するか選択してください。

プログラムウィンドウが開きます。

プログラムウィンドウ



製品登録

EFI eXpress では、ライセンス管理システムが利用されています。

製品登録時に、ライセンスファイルが自動的に生成されインストールされます。有効なライセンスなしで EFI eXpress を実行すると、ソフトウェアはデモモードで動作します。この場合、ジョブの読み込みと処理は可能ですが、印刷するとデモスタンプ付きで出力されます。デモスタンプなしでジョブを出力するには、製品登録が必要です。

EFI はハードウェアによる保護システムを取り入れ、ソフトウェアの違法コピーを防止しています。このシステムは、ソフトウェア付属の dongle から固有 ID を抽出することにより動作します。ライセンスファイルはソフトウェアと dongle 間の固定リンクを作成します。

EFI eXpress のライセンス設定

ソフトウェアのインストール時に製品登録を行わなかった場合は、今すぐ行うことができます。

EFI eXpress のライセンス設定は、自動または手動で行うことができます。どちらの方法でライセンス設定を行うかは、ソフトウェアをインストールするコンピューターがインターネットに接続しているかどうかによって異なります。インターネットアクセスが不可能なコンピューターの場合、別のコンピューター上でライセンスファイルを生成してライセンスファイルを手動でインストールする必要があります。

ライセンスファイルを生成するには、製品パッケージに印刷された EAC コードを入力する必要がありますので、これを手元に用意してください。



ライセンスファイルを安全な場所に保管しておき、必要ときにいつでも再インストールできるようにしておくことをお勧めします。別の方法として、アクティベーション用ウェブサイトでも EAC コードを再入力してライセンスファイルをダウンロードすることも可能です。

ライセンスファイルがインストールされると、EFI eXpress のステータスバーにライセンスが表示されます。ライセンスがインストールされていない場合、EFI eXpress はデモモードで実行中であることを示します。



ライセンス設定を行う前に、コンピューターの USB ポートに dongle を接続してください。dongle が認識されるまで 1 分間程度かかることがあります。

ライセンスの自動設定を行うには（要インターネットアクセス）

- 1 「アクション」メニューから「アクティベーション・ウィザード」（Windows）または「アクティベーション・アシスタント」（Macintosh）を選択します。
- 2 「自動」タブをクリックします。

ライセンスの自動アクティベーション

- 3 「EAC コードを入力」欄に EAC コードを入力し、「次のステップ」をクリックして、EFI Activation Server との接続をセットアップします。

EAC コードは大文字と小文字が区別されます。

- 4 製品登録に関する情報をよく読んで、「次のステップ」をクリックします。
- 5 ユーザー登録の詳細情報をオンラインフォームに入力します。

以前に EFI 製品登録を行った場合、E メールアドレスを入力して「確認」をクリックすると、データがフォームに自動的に入力されます。

6 「ライセンスをインストール」をクリックします。

ライセンスファイルが作成され、ご使用のコンピューターの「Licensing」フォルダーにダウンロードされます。

ライセンスファイルのダウンロード中に問題が発生した場合は、<http://activation.efi.com> のウェブサイトアクセスしてください。

7 「完了」をクリックして、アクティベーションウィザード/アシスタントを終了します。**ライセンスを手動で設定するには（インターネットアクセス不要）**

- 1 「アクション」メニューから「アクティベーション・ウィザード」(Windows) または「アクティベーション・アシスタント」(Macintosh) を選択します。
- 2 「マニュアル」タブをクリックします。

ライセンスの手動アクティベーション

- 3 表示された Dongle ID をメモします。または、「ID をコピー」をクリックし、Dongle ID をコピーしてテキストファイルに貼り付けてください。
- 4 インターネットアクセスが可能なコンピューターから <http://activation.efi.com> サイトにアクセスし、画面に表示される指示に従って、ライセンスファイルを作成してダウンロードします。
次の情報を用意しておきます。
 - ・ Dongle ID
 - ・ 製品パッケージに印刷されている EAC (Entitlement Access Code)
- 5 EFI eXpress をインストールするコンピューターの任意の場所（デスクトップ上など）に、ダウンロードしたライセンスファイルをコピーします。

- 6 アクティベーション・ウィザード/アシスタントで、「ライセンスをインストール」をクリックし、ダウンロードしたライセンスファイルを選択します。
- 7 ライセンスを選択し、「開く」をクリックします。
ライセンスファイルが「Licensing」フォルダーにコピーされます。
- 8 「完了」をクリックします。

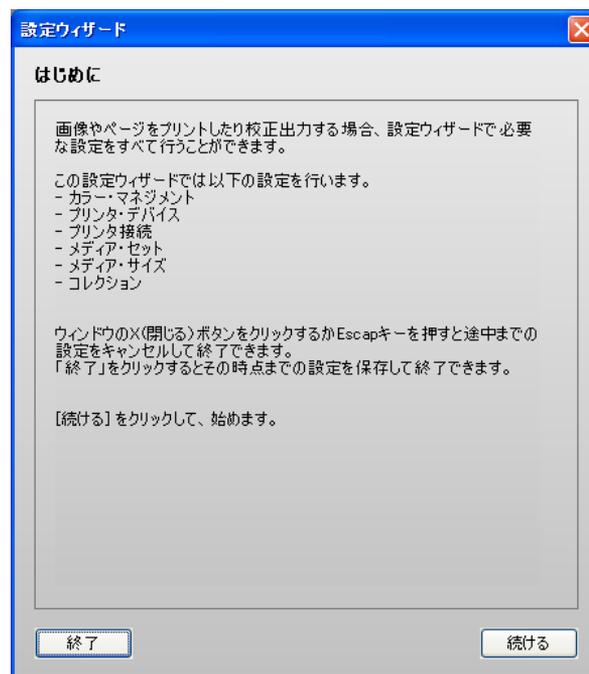
EFI eXpress のセットアップ

EFI eXpress をセットアップし、印刷を開始するまでには、次のステップに実行してください。

EFI eXpress をセットアップするには

- 1 「アクション」メニューから「設定ウィザード」(Windows) または「設定アシスタント」(Macintosh) を選択します。

設定ウィザード



2 「続ける」をクリックします。

カラーマネージメントプリ
セットの選択



3 カラーマネージメントダイアログのドロップダウンリストから、利用者のニーズに最も適したカラーマネージメントプリセットを選択します。

EFI eXpress には、定義済みカラーマネージメントプリセットが提供されています。各プリセットはデフォルトのカラーマネージメント設定が行われており、特定の種類のワークフローにおいて最良のカラー品質を得られるようになっています。



EFI eXpress の使用に慣れていないユーザーの場合は、デフォルトのカラーマネージメントプリセットを使用することをお勧めします。経験を積むにつれ、他の利用可能なカラーマネージメント設定を試したり、自分自身のプリセットを作成できるようになります。

以下から選択します。

- 校正

このプリセットは、プロフェッショナル向け印刷機の CMYK 色域をシミュレートします。適切な印刷生産工程のカラー出力を予測するにはこの設定を選択してください。

- プロダクション

このプリセットは、建築物を包む看板や標識などの大型印刷機向けのものです。

- 写真

このプリセットは、選択されたプリンター上で出力するための画像データを処理します。この設定は、出力デバイスの色域を最大限に使用しますので、写真画質の鮮明なカラー出力が保証されます。

写真などの RGB 画像を印刷する場合にこのプリセットを選択します。

カラー写真を白黒で出力するには、「グレースケールに変換」設定と共に使用します。

- ビジネスグラフィックス

このプリセットは、明るく鮮明なカラーが要求されるプレゼンテーションなどの印刷に最適です。

- グレースケールに変換

カラーのジョブをグレースケールの画像として出力する場合に使用します。5段階のシェードのグレースケールが利用可能であり、黄色っぽい色合い（ウォームブラック）から青っぽい色合い（コールドブラック）までの範囲があります。

- カラーマネージメントなし

このプリセットを使用すると、ジョブの処理中どのプロファイルも適用されません。カラーマネージメントをしないので、ご使用プリンターの正確な色品質が出力結果に反映されます。このプリセットは、独自のメディアプロファイルを作成する場合に必要です。また、RGB またはグレースケールではなく、CMYK 画像を出力する場合にも使用できます。

各プリセットの詳細設定については、カラーマネージメントプリセットを参照してください。



- 4 「続ける」をクリックします。

デバイスタイプの選択

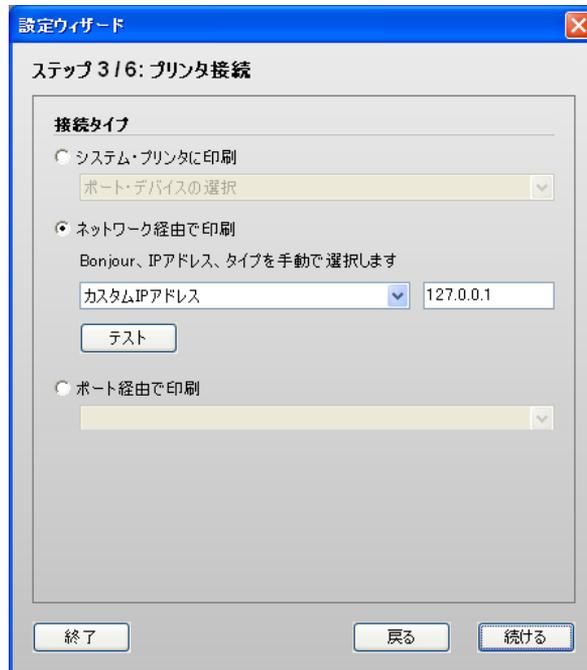


- 5 プリンターデバイスダイアログのドロップダウンリストから、印刷デバイスを選択します。

EFI eXpress は、選択したプリンター用にインストールしたメディアプロファイルの数を表示します。メディアプロファイルがインストールされていない場合、ソフトウェアの DVD から、メディアプロファイルのセットアッププログラムを起動する必要があります。

6 「続ける」をクリックします。

プリンター接続のセットアップ



7 プリンター接続ダイアログで、プリンター接続タイプを選択します。

- 「システム・プリンタに印刷する」を選択すると、Windows でシステムプリンターとして設定されている Windows プリンターに印刷します。ドロップダウンリストボックスには、使用可能なプリンターがリストアップされます。この設定は Windows のみ使用可能です。
- TCP/IP または Bonjour 経由で印刷する場合、ネットワーク経由で印刷するを選択します。
- TCP/IP 印刷については、適切な編集ボックスに IP アドレスを入力します。「テスト」をクリックして、プリンターへの接続が正しく確立されているかどうかを確認することができます。エラーメッセージが表示された場合は、システム管理者に問い合わせてください。
- Bonjour 印刷については、プリンターの名前が自動的に表示されます。

Bonjour は、Macintosh OS X オペレーティングシステムの標準コンポーネントです。ネットワークプロトコル Bonjour をサポートするネットワークプリンターに印刷する場合は、ローカル接続されているプリンターで印刷する場合と同様にプリンターの名前を選択します。IP アドレスは自動的に検出されます。

Windows ユーザーは、次の Apple 社のウェブサイトから Bonjour ソフトウェアをダウンロードできます。

<http://www.apple.com/support/downloads/bonjourforwindows.html>

- 「ポート経由で印刷する」を選択すると、USB 経由で接続しているローカルプリンターに印刷をします。EFI eXpress の起動時にプリンターの電源が入っている必要があります。電源が入っていないと、プリンターは自動検出されません。

詳細は、プリンター接続 を参照してください。



- 8 「続ける」をクリックします。

メディアタイプの選択



- 9 「メディアセット」ダイアログの「インクの種類」ドロップダウンリストから、プリンターに装着されているインクの種類を選択します。
- 10 「メディア名」ドロップダウンリストから、使用するメディアを選択します。

EFI eXpress では、メディア、インク、および解像度の組み合わせに適したメディアプロファイルが提供されています。また、既存プリンター用に作成済みのカスタムメディアプロファイルを適用することもできます。
- 11 「印刷品質」ドロップダウンリストから、カラーモード、解像度、および印刷モードの組み合わせを選択します。

利用可能な印刷品質のリストは、インストールされているメディアプロファイルによって異なります。

12 「続ける」をクリックします。

メディアフォーマットの選択



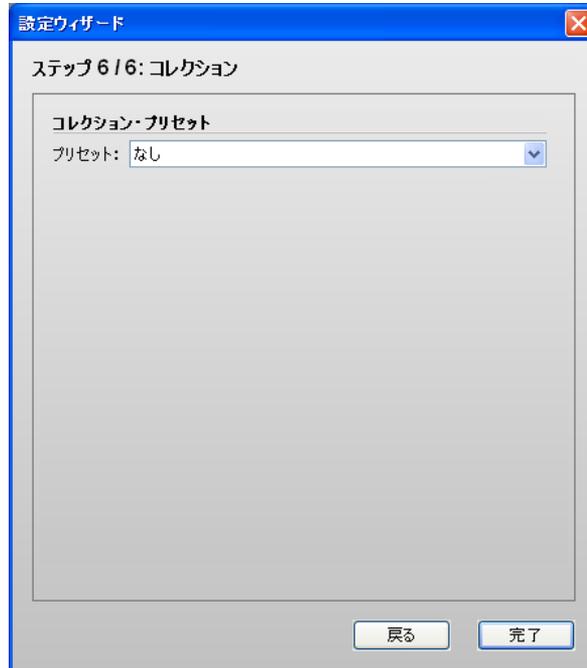
13 「メディアサイズ」ダイアログで、メディア固有の設定を選択します。

利用できる設定は、選択したプリンターによって異なります。

- 「ソース」ドロップダウンリストから、ロール給紙やその他給紙トレイおよび用紙カセットを選択します。
- 「フォーマット」ドロップダウンリストから、メディアサイズを選択します。幅と高さを指定して、カスタムメディアサイズを定義することもできます。
- プリンターでサポートされている場合は、フチなし印刷を選択できます。

- 14 「続ける」をクリックします。

コレクションプリセットの選択



- 15 「コレクション」ダイアログで、プリセットを選択します。

EFI eXpress では、定義済みのコレクションプリセットが提供されています。各プリセットは、デフォルトのレイアウト設定でセットアップされています。独自のプリセットを後で作成する場合は、「なし」を選択してください。

- 16 「完了」をクリックします。

これでプリンターがセットアップされ、EFI eXpress から印刷が可能になりました。

関連参照：

[カラーマネージメントの概要](#)

[カスタム・メディアプロファイルの作成と適用](#)

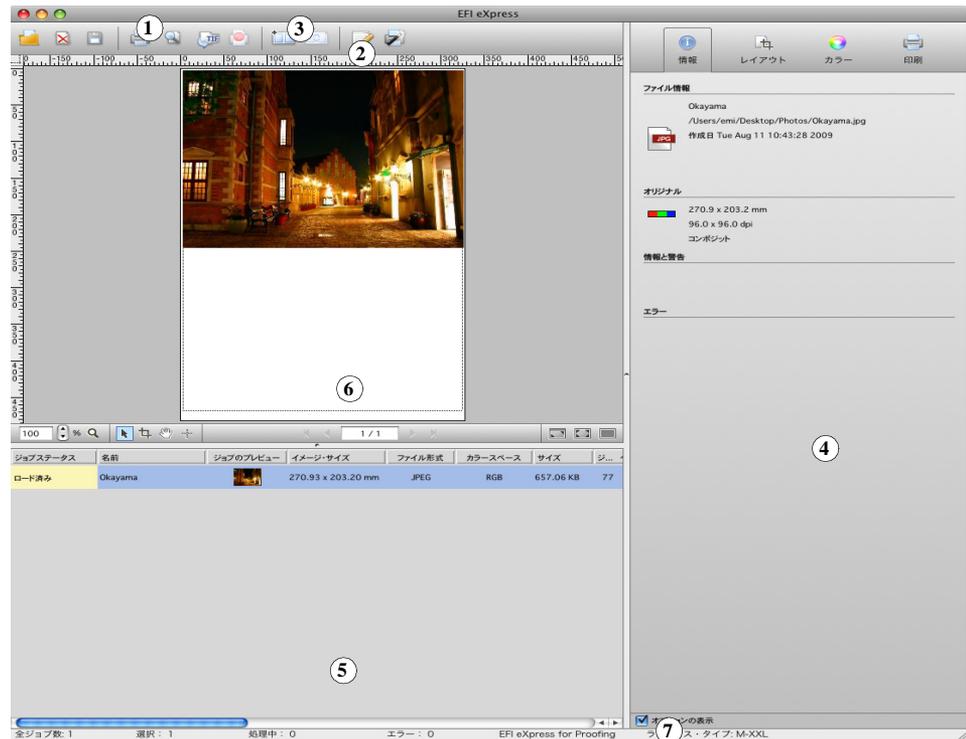
[カスタムのメディアフォーマットの適用](#)

ユーザーインターフェイス

ここでは、EFI eXpress のユーザーインターフェイスについて説明しています。また、「環境設定」ダイアログボックス / プロパティ・インスペクターを使用した EFI eXpress のワークフロー設定とジョブ設定についても説明しています。

ユーザーインターフェイス

- 1 メニューバー
- 2 ツールバー
- 3 「環境設定」ボタン (クリックすると「環境設定」ダイアログボックスが開く)
- 4 プロパティ・インスペクター
- 5 ジョブリスト
- 6 プレビューウィンドウ
- 7 ステータスバー



メニュー

「EFI eXpress」メニュー

注意：このメニューは Macintosh コンピューターでのみ表示されます。

EFI eXpress メニュー



- **About EFI eXpress**
EFI eXpress のバージョンを表示します。
- **環境設定**
「環境設定」ダイアログボックスを表示します。ワークフロー設定を行えます。
- **EFI eXpress を隠す**
EFI eXpress の操作ウィンドウを最小化します。再度表示させるには、Dock の EFI eXpress アイコンをクリックします。
- **EFI eXpress を終了**
EFI eXpress を終了します。

「ファイル」メニュー

「ファイル」メニュー



- **ジョブのインポート**
ファイルを検索するウィンドウを表示してロードするジョブを選択します。

- **ジョブを削除**
ジョブリストからジョブを選択して削除します。
- **変更を保存**
現在の設定を保存します。
- **印刷**
現在の設定を保存し、印刷を開始します。
- **プレビュー**
現在のウィンドウに表示されていない設定も含めてそれまでの設定を保存し、プレビューを表示します。
- **TIFF へエクスポート**
選択したジョブをプリンターに出力せずに TIFF フォーマットで保存します。
- **キャンセル**
ジョブの処理と印刷をキャンセルします。
- **新規コレクション**
ジョブリストで選択した1つまたはそれ以上のジョブを1つの「コレクション」にまとめます。「コレクション」では、まとめられたジョブを1つのジョブとして、一括して出力できます。
- **コレクションの更新**
新しく作成した「コレクション」のプレビューを表示します。また、変更を加えた既存の「コレクション」のページを再配置します。
- **コレクションにジョブを追加**
選択した「コレクション」に新規にジョブを追加します。
- **ジョブをコレクションから移動**
「コレクション」の中のジョブを選択してこのメニューを選択すると、「コレクション」からジョブリストに移動します。
- **Explorer で表示 (Windows)/Finder で表示 (Macintosh)**
選択されているジョブファイルの保存場所や、よく利用するプログラムフォルダーを検索できます。
- **終了 (Windows のみ)**
EFI eXpress を終了します。

関連参照：

[「TIFF エクスポート」タブ](#)

[プレビューウィンドウ](#)

[コレクション](#)

「編集」メニュー

「編集」メニュー

編集(E)	
切り取り	⌘X
コピー	⌘C
貼り付け	⌘V
拡大縮小	▶
サイズ	▶
回転	▶
位置揃え	▶
複製	
複製の削除	
ページの使用	▶
順序	▶
エッジの整列	▶
エッジの分布	▶
ページのリセット	⇧⌘R

- **切り取り**

選択したテキストを切り取ります。

- **コピー**

テキストをクリップボードにコピーします。

- **貼り付け**

テキストをクリップボードから貼り付けます。

- **拡大縮小**

プレビューウィンドウで選択したページのイメージを拡大縮小します。「拡大縮小」を選択して表示されるメニューから、パーセンテージの値を選択できます。「メディアのサイズに合わせる」、「メディアの横幅に合わせる」、「メディアの高さに合わせる」のいずれかを選択すると、メディアのサイズ、横幅、高さに合わせてジョブのサイズを変更できます。「メディアのサイズに合わせる」と「メディアの高さに合わせる」は、ロール紙には使用できません。

「メディアのサイズに合わせる」を選択すると、メディアの短辺サイズとイメージの幅または高さが一致したサイズに拡大縮小されます。イメージ内容の縦横比は変更されず、シートの範囲内で拡大縮小されるのでクロッピングは実行されません。

- **サイズ**

選択したメディアのサイズ内で使用できるデフォルトのサイズを表示します。ユーザーが指定したサイズを表示して選択することもできます。

- **回転**

選択したページのイメージを回転または反転できます。デフォルトで表示されている回転の角度を選択します。または、垂直 / 水平軸に沿ってイメージを反転できます（「左右を反転」 / 「上下に反転」）。「最小限のメディア消費量」を選択すると、EFI eXpress は回転ができるイメージであれば回転を自動的に行い、メディアの消費量を最小限にします。

- **位置揃え**

ページのイメージをシート上にどのように配置するか選択します。メディアがロール紙の場合は、垂直方向の配置（「上」、「垂直方向の中央」、「下」）は使用できません。

- 複製**
 選択したページイメージのコピーを作成します。このコマンドは「コレクション」内のページイメージに対して使用できます。
- 複製の削除**
 作成したコピーを削除します。オリジナルのページイメージは削除されません。
- ページの使用**
 「コレクション」シート内でページイメージを交換します。ページイメージを選択し、このコマンドで別のジョブ No. を指定すると、元のページイメージは指定先のページの位置やレイアウト設定が適用されます。
- 順序**
 「コレクション」シート内で重なり合ったページイメージの順序を指定します。選択したページイメージを別のイメージの前に移動（「前に送る」）または後ろに移動（「後ろに送る」）できます。複数のイメージの最も前面に移動するには「前面に移動する」、最も背面に移動するには「背面に送る」を選択します。この機能では、複数のイメージを一度に移動することもできます。
- エッジの整列**
 「コレクション」内の2つ以上のページイメージを整列します。エッジ（イメージの端）の上・下・左・右のいずれかを選択し、整列することができます。または、「垂直方向の中央」、「水平方向の中央」に配置することもできます。
- エッジの分布**
 「コレクション」内で選択したページイメージをシート内に分布します。このコマンドを選択すると、それぞれのページイメージの中心点が等間隔になるように配置されます。エッジ（イメージの端）の上・下・左・右のいずれかを選択し、イメージを分布させます。または、「垂直方向の中央」、「水平方向の中央」に従って分布させます。
- ページのリセット**
 選択したページイメージをデフォルト設定に戻します。

関連参照：

[「ページレイアウト」タブ](#)
[コレクション](#)

「アクション」メニュー

「アクション」メニュー

アクション (A)	
環境設定...	F1
設定アシスタント...	F2
アクティベーション・アシスタント...	
クリーンアップ	▶
バックアップ...	
復元...	
フォントのダウンロードを開始する...	

- 環境設定**
 「環境設定」ダイアログボックスを開き、ワークフローの設定を行います。

- ・ **設定ウィザード (Windows)/ 設定アシスタント (Macintosh)**

段階を追って出力デバイスの設定に必要な設定を行い、EFI eXpress から画像やページを印刷できるようにします。ここで行った設定は、必要に応じて「環境設定」ダイアログボックスで変更できます。

- ・ **アクティベーション・ウィザード (Windows)/ アクティベーション・アシスタント (Macintosh)**

EFI eXpress のライセンス を取得 します。ライセンスがインストールされていないと、EFI eXpress はデモモード で動作し、印刷結果にはデモスタンプが付与されます。

- ・ **クリーンアップ**

不要になったファイルを削除します。「出力ファイル」、「プレビューファイル」、「一時ファイル」、「ジョブリスト」にロードしたファイル、「ログファイル」を選択して削除できます。すべて削除するには「すべて」を選択します。

- ・ **バックアップ**

個々のワークフロー設定を EBK 形式で保存します。バックアップファイルを保存するダイアログボックスが表示され、名前を入力して保存場所を指定します。

- ・ **復元**

作成したバックアップファイルから、設定を再インストールします。

- ・ **フォントのダウンロードを開始する**

EFI eXpress では、通常 EFI eXpress がインストールされたシステム内のフォントを使用して印刷を実行します。PS フォントを使用して印刷したい場合には、このコマンドを使用してサードパーティー製のフォントを使用可能に設定します。サードパーティー製フォントのインストール方法については、[日本語フォントの使用](#)を参照してください。

関連参照：

[製品登録](#)

[EFI eXpress のセットアップ](#)

[設定のバックアップと復元](#)

[日本語フォントの使用](#)

「表示」メニュー

「表示」メニュー

表示(V)	
拡大	⌘+
縮小	⌘-
サイズを合わせる	▶
移動	▶
スナップ先	▶
表示オプション	▶
プレビューを隠す	F3
ジョブリストの非表示	F4
プロパティの非表示	F5
メイン・ツールバーの非表示	F6
プレビュー・ツールバーの非表示	F7
ステータスバーの非表示	⌘F8
プレビューの最大表示	⇧⌘M
全画面	⇧⌘F

- ・ **拡大**

プレビューのサイズを拡大します。

- ・ **縮小**

プレビューのサイズを縮小します。

- ・ **サイズを合わせる**

プレビュー表示を以下のように変更できます。

- ・ **ウィンドウ**

シートの幅 / 高さがプレビューウィンドウの枠内に収まるようサイズを変更します。

- ・ **選択**

選択したページイメージのみをプレビューウィンドウの枠内のサイズに合わせます。

- ・ **実際のサイズ**

シートおよびページイメージの実際のサイズに合わせてプレビュー内に表示します。

- ・ **移動**

複数ページあるジョブまたは複数シートあるコレクションで、表示させたいページ / シートに移動します。ページ / シートの前後あるいは 1 ページ目 / 1 シート目や最終ページ / 最終シートに移動できます。

- ・ **スナップ先**

ページイメージの整列や配置調整に便利です。「ガイド」、「グリッド」、「オブジェクト」の選択肢があります。それぞれのイメージをドラッグして整列や配置する際に、イメージの端を合わせやすくなります。

「スナップ先」で「オブジェクト」が選択されている場合、「コレクション」設定の「コレクション要素間」のスペース値は維持されます。

- ・ **表示オプション**

サブメニューが表示され、ジョブのイメージ配置をする際に表示 / 非表示するオプションを選択できます。

- ・ **ルーラー**

水平および垂直ルーラーを表示 / 非表示します。ルーラーの目盛りは、「環境設定」で指定した単位に基づいて表示されます。

- ・ **ガイド**

作成し、配置したガイド線を表示 / 非表示します。

- ・ **グリッド**

グリッド線を表示 / 非表示します。グリッド線は水平の線と垂直の線が均等に交わってできる線で、この線は印刷されません。グリッド間の距離は固定されていますが、「拡大」「縮小」オプションを指定するとグリッド線も自動的に拡大縮小されます。

- ・ **ページフレーム**

ページイメージの枠を表示します。「ページフレーム」を表示すると、ページイメージの周りに余分な余白がないか確認でき、その余白が「コレクション」内で他のページイメージと重なっていないかどうか確認できます。

- ・ **オーバーラップ**

ページイメージが他のページイメージと重なり合っているかどうか示します。重なり合っているページはそれぞれ赤枠が表示されます。

- ・ **ページ余白**

プリンターのファームウェアで定義されている印刷範囲外の余白を表示します。

- ・ **コレクション情報**

ページイメージの次の情報を表示 / 非表示します。

- ・ 座標
- ・ 寸法
- ・ ID 番号
- ・ 複製情報

- ・ **ガイドをロック**

すべてのガイドを現在の位置に固定します。

- ・ **ガイドを消去**

作成したガイド線を消去します。ガイド線は印刷されません。「コレクション」内でページイメージを配置する際に便利です。

ほかの方法として、ガイド線をルーラーにドラッグアンドドロップすると消去できます。水平のガイド線は上側のルーラーに、垂直のガイド線は左側のルーラーにドラッグアンドドロップします。

ガイド線を作成するには、まずルーラーを表示させます。「表示」メニューから「表示オプション」を選択し、「ルーラー」と「ガイド」を選択します。

水平のガイド線を作成するには、プレビュー上側に表示されたルーラー上でマウスボタンを押しながら、プレビュー画面の配置したい場所までドラッグします。垂直のガイド線は、左側に表示されたルーラー上でマウスボタンを押しながらプレ

ビュー画面の配置したい場所までドラッグします。配置したガイド線は保存されません。EFI eXpress を終了する際にガイド線はすべて消去されます。

ガイド線を移動するには、ガイド線の x 座標 y 座標が表示される場所までカーソルを移動します。マウスボタンを押しながら移動先へドラッグします。「表示オプション」で「ガイドをロック」を選択している場合は、ガイド線は移動できません。

- **プレビューの表示 / プレビューを隠す**

プレビューウィンドウを表示 / 非表示します。プレビューを隠すとウィンドウがジョブリストに切り替わります。

- **ジョブリストの表示 / ジョブリストの非表示**

ジョブリストを表示 / 非表示します。ジョブリストを非表示にすると、ウィンドウがプレビューに切り替わります。

- **プロパティを表示 / プロパティの非表示**

プロパティ・インスペクターを表示 / 非表示します。

- **メイン・ツールバーの表示 / 非表示**

ツールバーを表示 / 非表示します。

- **プレビュー・ツールバーの表示 / 非表示**

プレビュー・ツールバーを表示 / 非表示します。

- **ステータスバーの表示 / 非表示**

ステータスバーを表示 / 非表示します。

- **プレビューの最大表示**

ジョブリストとプロパティ・インスペクターを非表示にすることで、プレビューウィンドウを最大表示します。このコマンドを再度選択すると、元の画面に戻ります。

- **全画面**

メニューバー、ステータスバーを隠し、Windows の場合は Windows タスクバーも非表示にすることで、EFI eXpress プログラムのウィンドウを全画面に表示します。元の画面に戻すには、プレビュー・ツールバーの「全画面」ボタンをクリックするか、<Ctrl>+<Shift>+<F> (Windows の場合) または <Apple>+<Shift>+<F> (Macintosh の場合) を押します。

関連参照：

[プレビューウィンドウ](#)

「ヘルプ」メニュー

「ヘルプ」メニュー



- ・ **EFI eXpress ヘルプ**
EFI eXpress のオンラインヘルプを表示します。
- ・ **EFI 製品 Web サイト**
EFI のホームページを表示します。
- ・ **EFI サポート Web サイト**
EFI サポート Web サイトを表示します。サポートを受ける方法、各国でサポートを受ける場合のコンタクト先を検索するサイトなどの情報を確認できます。
- ・ **オンライン・アップデート**
ソフトウェア・アップデートおよびプロファイル・アップデートを EFI eXpress が自動的にどのくらいの頻度でチェックするかを設定できます。手動でアップデートをチェックすることもできます。
- ・ **バージョン情報 (Windows のみ)**
プログラムバージョンの詳細を示すウィンドウが表示されます。

関連参照：

[更新プログラムおよびプロファイルのインストール](#)

メインツールバー



ジョブのインポート
ファイルを検索するウィンドウを表示してロードするジョブを選択します。



ジョブの削除
ジョブリストから選択したジョブを削除します。



変更を保存
現在の設定を保存します。



処理・印刷する
現在の設定を保存し、印刷を開始します。



プレビューの計算
現在のウィンドウに表示されていない設定も含めてそれまでの設定を保存し、プレビューを表示します。



TIFF ファイルへエクスポート
「環境設定」 > 「TIFF エクスポート」 タブで指定した設定に従って選択したジョブを TIFF フォーマットにエクスポートします。



処理と印刷をキャンセル
ジョブの処理と印刷をキャンセルします。



新規コレクション
ジョブリストで選択した1つまたはそれ以上のジョブを1つの「コレクション」にまとめます。「コレクション」では、まとめられたジョブを1つのジョブとして、一括して出力できます。



コレクションの更新
新しく作成した「コレクション」のプレビューを表示します。また、変更を加えた既存の「コレクション」のページを再配置します。



環境設定
「環境設定」ダイアログボックスを表示します。ワークフロー設定を行えます。



設定ウィザード (Windows) / 設定アシスタント (Macintosh)
段階を追って出力デバイスの設定に必要な設定を行い、EFI eXpress から画像やページを印刷できるようにします。

関連参照：

「環境設定」ダイアログボックスとプロパティ・インスペクター

「TIFF エクスポート」タブ

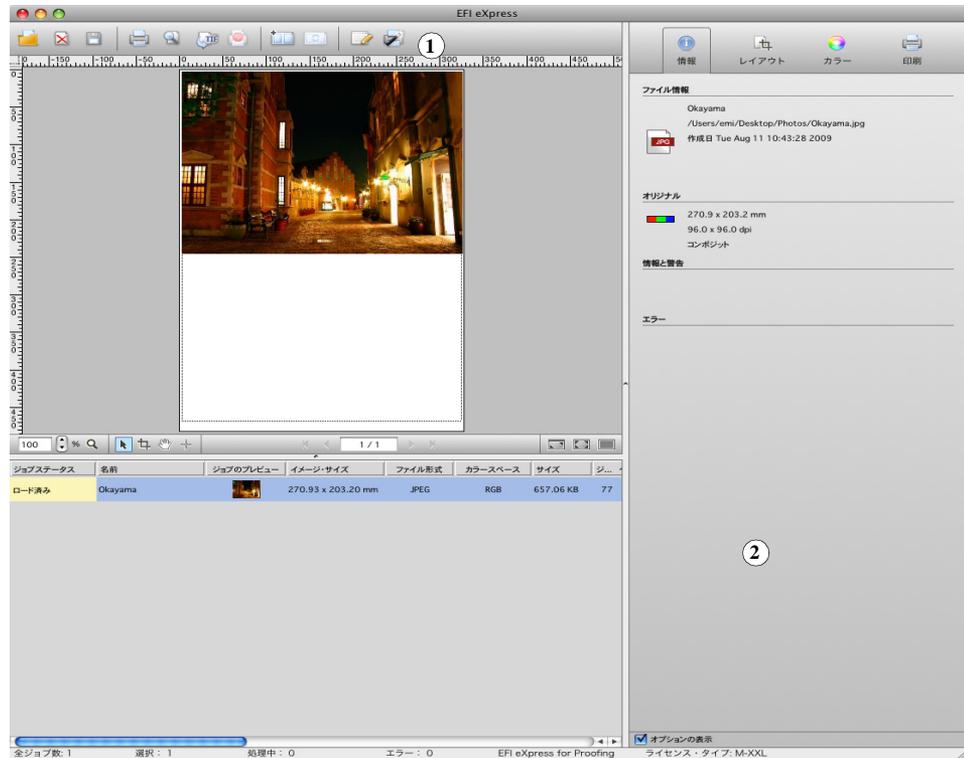
プレビューの表示

コレクション

「環境設定」ダイアログボックスとプロパティ・インスペクター

ユーザーインターフェイス

- 1 「環境設定」ボタン
- 2 プロパティ・インスペクター



EFI eXpress ではワークフロー設定とジョブ設定を区別しています。ワークフロー設定は「環境設定」ダイアログボックスで行い、この設定後に EFI eXpress でロードされたジョブすべてに適用されます。プロパティ・インスペクターで設定したジョブ設定は、それぞれのジョブに固有のものであります。

EFI eXpress をインストール後、最初に起動すると「設定ウィザード」(Windows) / 「設定アシスタント」(Macintosh) が表示され、基本的なワークフロー設定を定義できます。ここでの設定は、「環境設定」ダイアログボックスで変更できます。

「環境設定」ダイアログボックスで有効な設定は、プロパティ・インスペクターに表示される設定とほぼ同じです。特に明記されていない限り、「環境設定」の設定は、EFI eXpress ワークフロー設定と同様にでき、ジョブに適用されます。



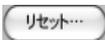
プロパティ・インスペクターで行ったジョブに固有の設定は、「環境設定」ダイアログボックスで指定された設定を上書きします。

「環境設定」ダイアログボックスへのアクセスと設定

「環境設定」ダイアログボックスにアクセスするには、以下の方法があります。

- ・ ツールバーで「環境設定」ボタンをクリックする
- ・ 「アクション」メニューから「環境設定」を選択する
- ・ 「アクション」メニューから「設定ウィザード」(Windows)/「設定アシスタント」(Macintosh)を選択し、段階を追って出力デバイスの設定/ワークフロー設定を行う

「環境設定」ダイアログボックスで指定された設定は、この設定後に EFI eXpress でロードされたジョブすべてに適用されます。



リセット

「環境設定」ダイアログボックスの設定をすべてデフォルト値に戻します。



このボタンを使用する場合、すべてデフォルト設定に戻るので注意してください。

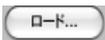


保存

「環境設定」ダイアログボックスで指定した設定を EPF フォーマットで保存します。設定ファイルの名前と場所を指定するダイアログボックスが表示されます。設定ファイルによって1つのプリンター設定から別のプリンター設定に簡単に切り換えることができます。



EPF ファイルは、「環境設定」ダイアログボックスの現在の設定のみを保存します。作成されたメディアプロファイル、スポット・カラー表、視覚的補正ファイルなどは保存しません。これらのファイルも保存するには、バックアップファイルを作成する必要があります。

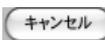


ロード

保存された EPF ファイルから設定を復元します。設定ファイルの場所を検索し、EPF ファイルを選択して「開く」をクリックします。設定ファイルによって1つのプリンター設定から別のプリンター設定に簡単に切り換えることができます。



環境設定の復元時には、必要なファイル（メディアプロファイル、リニアリゼーションファイルなど）が揃っていることを必ず確認してください。ファイルが不足していると設定ファイルをロードする際にエラーメッセージが表示されます。



キャンセル

変更を保存しないで「環境設定」ダイアログボックスを終了します。



OK

新しい設定を保存して「環境設定」ダイアログボックスを終了します。新しい設定は、その後ロードされるジョブすべてに適用されます。



すでにロードされているジョブに新しい設定を適用するには、ジョブを削除して再度ロードするか、またはプロパティ・インスペクターからジョブに固有の設定を行ってください。

関連参照：

[設定](#)

[設定のバックアップと復元](#)

プロパティ・インスペクターへのアクセスと設定

プロパティ・インスペクターは EFI eXpress プログラムウィンドウの右側に表示されます。ジョブリストで選択されているジョブに現在適用されている設定が表示されます。

設定を変更した場合は、「変更を保存」アイコンをクリックするか、「ファイル」メニューから「変更を保存」を選択します。

設定

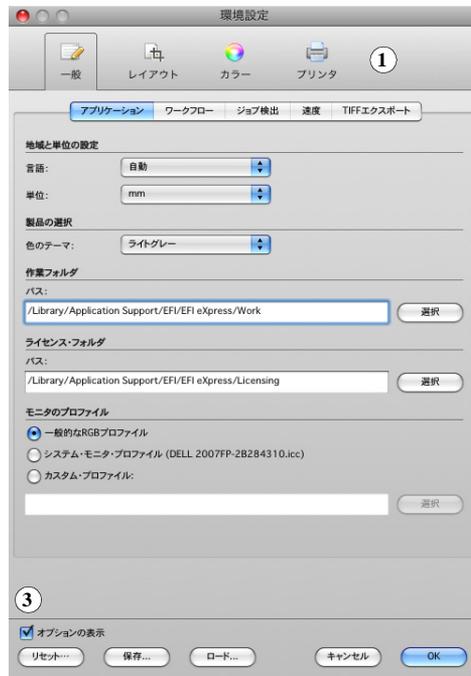
「環境設定」ダイアログボックスおよびプロパティ・インスペクターは、どちらも4つのセクションに分かれています。「環境設定」ダイアログボックス、またはプロパティ・インスペクターの上に表示されているアイコンをクリックして必要な設定を行います。

EFI eXpress には、基本設定と詳細設定があります。基本設定には、良い印刷結果を得るために必要な最小限の設定があります。ジョブの出力結果をさらにコントロールしたい場合には、詳細な設定ができます。詳細設定のオプションを表示するには、「環境設定」ダイアログボックスまたはプロパティ・インスペクターの下にある「オプションの表示」チェックボックスを選択してください。

「オプションの表示」を選択し設定を変更してから「オプションの表示」チェックボックスの選択を解除しても、変更した設定は保存されます。



- 1 「環境設定」ダイアログボックス
- 2 プロパティ・インスペクター
- 3 「オプションの表示」チェックボックス



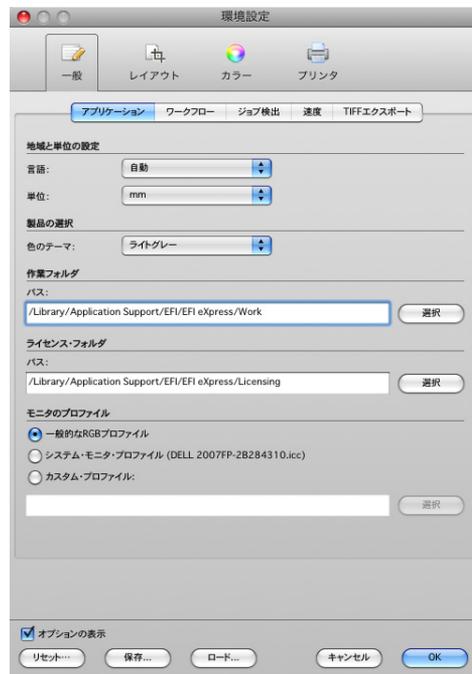
以降のセクションでは、EFI eXpress for Proofing で使用できる設定について説明します。次の表は、EFI eXpress for Photo で制限されている機能を示しています。

機能 / 設定	説明
スポットカラーシミュレーション	サポートされていません
コントロールストリップ /FOGRA メディアウェッジ	サポートされていません
「サイズの設定」オプション	メディアビックス、クロップボックス、ブリードボックス、アートボックス、トリムボックス情報に適用されません。
「プリントエンジン」オプション	「Adobe PDF プリントエンジン」または CPSI の選択ができません。
ジョブリスト	デフォルトのカラムタイトルが限定されます。

一般（「環境設定」ダイアログボックスのみ）

「アプリケーション」タブ

「アプリケーション」タブ



- ・ **地域と単位の設定**

- ・ **言語**

EFI eXpress で表示する言語を選択できます。ドロップダウンリストから使用する言語を選択します。「自動」を選択すると、インストールされているオペレーティングシステムの言語で表示されます。

- ・ **単位**

EFI eXpress では、次の測定単位を使用できます。

- ・ mm (ミリメートル)
- ・ cm (センチメートル)
- ・ m (メートル)
- ・ インチ
- ・ フィート

ドロップダウンリストから使用する単位を選択します。

- ・ **製品の選択 (オプションの表示)**

この設定は、EFI eXpress のライセンスをまだ取得していない場合にのみ指定できます。デモモードではジョブの読み込みや処理は可能ですが、印刷するとデモスタンプ付きで出力されます。デモスタンプなしでジョブを出力するには、ソフトウェアのライセンス設定を行う必要があります。

- ・ **製品のタイプ**

EFI eXpress では EFI eXpress for Proofing と EFI eXpress for Photo の 2 つのバージョンがあります。EFI eXpress for Proofing では、すべてのプログラムの機能にアクセスできますが、EFI eXpress for Photo ではフォト環境に対応した設定にのみアクセスできます。

ドロップダウンリストから選択したプログラムのバージョンによって、プルーフイングかフォトどちらかのワークフロー設定が表示されます。

- ・ **アプリケーション起動時に製品選択ダイアログを表示する**

デフォルトでは、EFI eXpress を起動した際にプロダクトバージョンのどちらかを選択する画面が表示されます。この画面を自動的に表示しないようにするには、チェックボックスの選択を解除してください。

- ・ **作業フォルダ (オプションの表示)**

「作業フォルダ」には、ジョブの処理中に作成される一時ファイルが保存されます。このフォルダにはサブフォルダが含まれており、EFI eXpress はジョブの処理中にサブフォルダを使用します。

表示されているデフォルトフォルダを変更したい場合は、「選択」をクリックして別のフォルダを選択します。ジョブを処理するには、「作業フォルダ」に対する書き込み許可が必要です。

新規にフォルダを指定した場合は、EFI eXpress を一度終了し、再起動する必要があります。この処理中にサブフォルダはデフォルトの「作業フォルダ」からコピーされます。デフォルトの「作業フォルダ」にすでにジョブファイルが含まれている場合は、この作業に多少時間がかかることがあります。

デフォルトの「作業フォルダ」は削除しないでください。デフォルトの「作業フォルダ」には、EFI eXpress が使用するサブフォルダが含まれています。



- ・ **ライセンス・フォルダ**

ソフトウェアをアクティベートすると、ライセンスファイルはデフォルトで「ライセンス・フォルダ」に保存されます。表示されているデフォルトのフォルダを変更したい場合は、「選択」をクリックして別のフォルダを選択します。

- ・ **モニタのプロファイル (オプションの表示)**

EFI eXpress では、コンピューター画面上でのカラー精度を確認できます。これは「ソフト・プルーフィング (色校正)」といいます。ただし、プリンターによってカラー出力が異なる場合があることと同様に、モニターによって表示されるカラーがわずかに異なることがあります。この問題を解決するには、モニターを一定の標準に定期的にキャリブレーションすることが重要です。モニターのキャリブレーションには次の2つのステップがあります。

- ・ **モニター上で輝度設定と制御設定を調整し、値を設定する。**

- ・ **モニターのプロファイルを作成する。それによって白色点、ガンマ値、RGB 蛍光体の設定を定義する。**

EFI eXpress は「一般的な RGB プロファイル」を提供しています。デフォルトで選択されています。

Windows および Macintosh コンピューターは、オペレーティングシステムの一部として標準モニタープロファイルを提供します。「システム・モニタ・プロファイル」に続いて括弧内に、標準モニタープロファイルの名前が表示されています。

「カスタム・プロファイル」を選択して、カスタムモニタープロファイルを適用することもできます。「カスタム・プロファイル」を選択すると、プロファイルを選択するダイアログボックスが表示されるので、選択して「開く」をクリックします。前に指定したプロファイルとは別のカスタムモニタープロファイルを使用するには、「選択」をクリックして別のプロファイルを選択します。

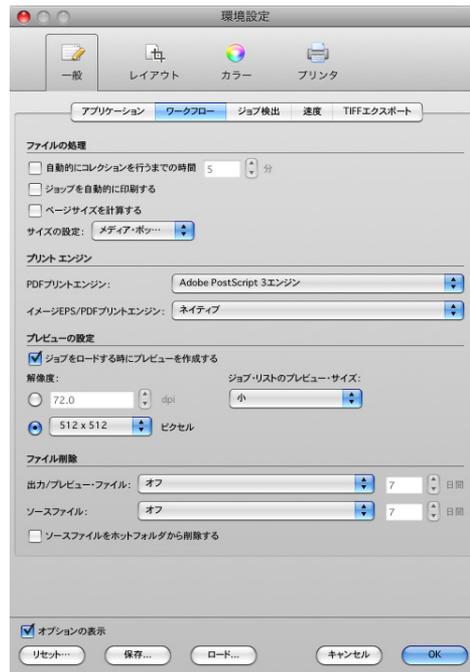
関連参照：

[EFI eXpress フォルダ](#)

[製品登録](#)

「ワークフロー」タブ

「ワークフロー」タブ



- ファイルの処理

- 自動的にコレクションを行うまでの時間

このチェックボックスを選択すると、EFI eXpress が自動的にコレクションを行うまでの時間を指定できます。ファイルはすぐにコレクトされますが、指定した時間を経過しないとジョブの処理は開始されません。

- ジョブを自動的に印刷する

このチェックボックスを選択すると、ジョブはロードされてすぐに自動的に印刷されます。



このオプションを選択すると、ジョブに固有の設定ができません。ジョブ固有の設定をする場合は、ジョブの処理をキャンセルする必要があります。

- ページサイズを計算する

このチェックボックスを選択すると、EFI eXpress はページサイズを計算します。全ドキュメントを低解像度で RIP することで計算されます。バウンディングボックスからページサイズを抽出するよりも時間はかかりますが、より正確な結果を得られます。このオプションを選択することで、グラフィックアプリケーションから印刷する際の画像のひずみを防ぐことができます。

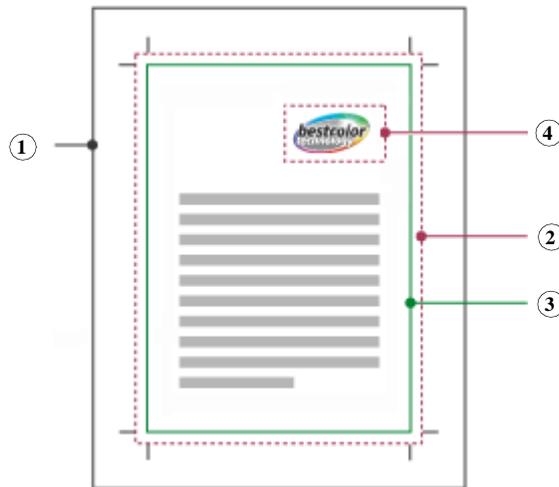
・サイズの設定（オプションの表示）

ページサイズを計算する際に、どの PDF 設定を適用するか指定できます。

メディア・ボックス	出力用紙のサイズを示します。印刷ダイアログボックスに表示されます。ほかのすべてのボックスは小さくなっており、メディアボックス内にあります。
クロップ・ボックス	表示または印刷時に切り取られるページ内容の範囲を定義します。ほかのボックスと異なり、クロップボックスには物理的なページ配置あるいは使用方法といった点において、決まった意味があるわけではありません。単に、ページがどこで切り取られるかを示すものです。
ブリード・ボックス	出力が生産環境におかれた場合、ページ内容が切り取られる境界を示します。
アート・ボックス	ページに有用な内容を定義します。空白も含まれることがあります。
トリム・ボックス	トリム後の仕上がりページの寸法を定義します。これは、ページ順を編成する面付けアプリケーションで使用されます。

PDF ボックス

- 1 メディア・ボックス
- 2 ブリード・ボックス
- 3 トリム・ボックス
- 4 アート・ボックス



- ・ **プリントエンジン (オプションの表示)**

- ・ **PDF プリントエンジン**

ジョブは、デフォルトで「Adobe PostScript 3 エンジン (CPSI、Configurable PostScript Interpreter)」を使用して処理されます。PostScript level 3 ファイルおよび PDF ファイルを処理できます。ジョブの処理中にソースファイルは PostScript フォーマットに変換されます。

ジョブが PDF フォーマットである場合は、「Adobe PDF プリントエンジン (APPE)」を選択できます。PDF ファイルを PostScript に変換せずに処理します。APPE は、同時に複数の PDF ファイルを処理できるという利点があります。

APPE では、セパレーションが 32 までのジョブを処理できますが、CPSI では 255 までサポートしています。ジョブに 32 以上のセパレーションがある場合は、自動的に CPSI が使用されます。



- ・ **イメージ EPS/PDF プリントエンジン**

「ネイティブ」の設定は、EPS および PDF Photoshop ファイルを認識します。CPSI の PostScript 変換によって処理する代わりに、ピクセルデータを直接処理します。Photoshop のピクセルデータに直接アクセスするので、処理が早く出力品質も良くなります。

「Adobe PostScript 3 エンジン」の設定は、イメージファイルをネイティブのプラグイン (Photoshop ファイルを直接認識するプラグイン) ではなく、CPSI によって処理します。ジョブに 2 つ以上の PDF イメージがある場合、この設定が自動的に適用されます。

- ・ **プレビューの設定 (オプションの表示)**

「ジョブをロードする時にプレビューを作成する」を選択すると、ジョブをロードする際にプレビューを作成し、処理する前に確認できます。プレビューイメージはプレビューウィンドウとジョブリストに表示されます。

プレビューウィンドウには、ジョブリストで選択したジョブのイメージ内容が表示されます。プレビューの表示解像度を「dpi」または「ピクセル」で指定できます。

ジョブリストには、ロードされたジョブのサムネイルイメージが表示されます。「ジョブ・リストのプレビュー・サイズ」ドロップダウンリストから、ジョブリストのサムネイルイメージの大きさを変更できます。

- ・ ファイル削除 (オプションの表示)

- ・ 出力 / プレビュー ・ ファイル

EFI eXpress は、ジョブの処理中に各ジョブの印刷ファイルを作成して出力フォルダーに保存します。「プレビューの設定」が選択されている場合は、プレビューファイルも「プレビューフォルダ」に保存されます。

ドロップダウンリストから、保存された印刷ファイルをいつ削除するか選択できます。「印刷の直後」または「…後に削除する」を選択し、「…後に削除する」を選択した場合は、右側の編集ボックスで日数を指定します。印刷ファイルおよびプレビューファイルを削除しないで保持するには、「オフ」を選択します。



すでにソースファイルを削除する設定を行っている場合、自動的に出力 / プレビュー ・ ファイルも削除される設定が適用されます。出力 / プレビュー ・ ファイルの削除のみを有効にするには、ソースファイルは削除しないよう「オフ」を指定してください。

- ・ ソースファイル

ソースファイル (例: ジョブリスト内のファイル) は、ドロップダウンリストから、保存された印刷ファイルをいつ削除するか選択できます。「印刷の直後」または「…後に削除する」を選択し、「…後に削除する」を選択した場合は、右側の編集ボックスで日数を指定します。印刷ファイルおよびプレビューファイルを削除しないで保持するには、「オフ」を選択します。



ジョブは、EFI eXpress にロードされる際、オリジナルファイルへのリンクを作成します。ソースファイルが削除されると、JobFolder に保存されたファイルのみが削除され、オリジナルファイルは削除されません。

ソースファイル削除の設定は、自動的に出力 / プレビュー ・ ファイルにも適用されます。ソースファイルのみの削除はできません。



デフォルトのホットフォルダは、デフォルトのスプールフォルダでもあります。デフォルトのホットフォルダにコピーされたファイルは、ソースファイルと共に自動的に削除されます。ソースファイルを削除してもホットフォルダにコピーしたファイルを残すには、新しいホットフォルダの場所を指定します。

- ・ ソースファイルをホットフォルダから削除する

このオプションを選択すると、ホットフォルダにコピーされたジョブファイルは削除されます。

関連参照:

[EFI eXpress フォルダー](#)

[ホットフォルダを使用した印刷](#)

[プレビューウィンドウ](#)

[コレクション](#)

「ジョブ検出」タブ

「ジョブ検出」タブ



・ ジョブ検出

・ ホットフォルダを設定

EFI eXpress をコンピューターにインストールしていないユーザーは、ホットフォルダを使ってネットワーク上 / ローカルハードドライブ上の共通のフォルダにジョブをコピーできます。仮想プリンターとして EFI eXpress に印刷したい場合、ホットフォルダを設定する必要があります。

・ ホットフォルダ・パス

「ホットフォルダを設定」を選択したあとに、「選択」をクリックしてホットフォルダとして使用するフォルダの場所を指定します。ホットフォルダは、ネットワーク上またはローカルハードドライブ上の任意の場所に置くことができます。

・ スプーラ (オプションの表示)

ワークフローで使用する仮想プリンターを設定します。どのアプリケーションからも「プリント (印刷)」ダイアログボックスで仮想プリンターを選択でき、EFI eXpress に直接印刷することができます。

仮想プリンターを設定するには、「仮想プリンタの作成」を選択します。「仮想プリンタ名」にプリンター名を入力します。このプリンター名がアプリケーションのプリンター一覧に表示されます。

- **AppleTalk スプーラ (オプションの表示)**

「AppleTalk スプーラを起動」チェックボックスを選択し、「AppleTalk スプーラ名」を入力すると、Macintosh アプリケーションから EFI eXpress へ直接印刷できます。ソフトウェア DVD に格納されている PPD を使用します。



このオプションは、デフォルト設定では Windows XP および Windows Vista 対応コンピュータ上で選択できません。Windows のオペレーティングシステムでは、AppleTalk をサポートしていないためです。ただし、EFI eXpress では、EFI AppleTalk ドライバーを提供しており、Windows XP からの AppleTalk 印刷を可能にしています。

Macintosh 対応コンピュータでは、「システム環境設定」の「ネットワーク」で AppleTalk が有効になっていることを確認してください。

- **Unidriver**

「Unidriver からジョブの送信が可能」チェックボックスを選択すると、ほかのユーザーが Unidriver 経由で EFI eXpress へジョブを送信できます。チェックボックスの選択を解除することで、ほかのユーザーが自分の EFI eXpress にログオンしたり印刷ジョブを送信したりできないようにします。

関連参照：

[Unidriver を使用した印刷](#)

[ホットフォルダを使用した印刷](#)

[仮想プリンターを使用した印刷](#)

[EFI AppleTalk ドライバーのインストール](#)

「速度」タブ

「速度」タブ



- 速度

- ・双方向（選択した出力装置でサポートされている場合）

使用するプリンターが双方向印刷をサポートしている場合、このオプションを選択すると、印刷速度を上げることができます。双方向印刷は、プリンターのヘッドが左右に移動する都度印刷を行うので、単方向印刷よりも印刷速度は速くなります。ただし、印刷結果の画質は単方向印刷よりも劣ります。

- ・RIP して即時に印刷

このオプションを選択すると、ジョブの処理を開始してすぐに印刷を開始します。このオプションが選択されていない場合は、ジョブの処理がすべて完了するまで印刷は開始されません。

処理と印刷を同時に行うと、プリンターが時々停止する場合があります。その場合は、出力結果に不要な縞がはいることがあります。

- ・解像度の設定（オプションの表示）

スライダーを使用して処理速度と品質のどちらを優先するか指定します。印刷ジョブが処理されるときに解像度を下げることで、出力速度を上げます。ただし、以下のことに注意してください。

低解像度でジョブを処理すると、出力結果がドラフト品質になる可能性があります。高解像度で印刷すると時間はかかります。

出力解像度よりも高い解像度でジョブを処理することはできません。

日本語のフォントオプションがインストールされている場合、低解像度のフォントを使用すると、PostScript ベースのファイルの RIP 解像度は 1200 dpi に制限されます。



「TIFF エクスポート」タブ

「TIFF エクスポート」タブ



このタブでは、イメージファイルの印刷をプリンターに出力するのではなく、TIFF フォーマットにファイル出力します。適切なソースプロファイルを選択することでイメージのカラー品質を確実にチェックできます。たとえば、次の処理を行うために TIFF ファイルを広告代理店に送信する場合に便利です。



ジョブがロードされてすぐに自動的に印刷が開始されるようにワークフローを設定している場合は、ジョブはすぐに処理されてしまいます。それを避けるには、「ワークフロー」タブで「ジョブを自動的に印刷する」のチェックを外すか、ジョブの処理をキャンセルしてください。

- **TIFF ヘエクスポート**

TIFF ファイルをデフォルトのフォルダーではなく別のフォルダーに保存する場合は、「選択」をクリックして保存するフォルダーを指定します。

- **プロファイル (オプションの表示)**

TIFF ファイルにイメージを保存し適用させるプロファイルを選択します。

- **圧縮 (オプションの表示)**

圧縮方法をドロップダウンリストから選択します。次の選択肢があります。

- **なし**

ファイルの展開時にデータを損失する可能性はありませんが、イメージデータのサイズによっては、転送データが膨大な量になる場合があります。

- **PACKBITS**

Packbits は、ランレングス圧縮の特殊なタイプです。データを損失せずに、ソリッドカラーを広範囲に含むイメージファイルのサイズを縮小します。

ただし、ソリッドカラーを広範囲に含まないイメージファイルを圧縮する場合は、この圧縮方法は適していません。場合によってはファイルサイズが増えることもあるので注意が必要です。

- **ZIP**

データを損失せずにデータを圧縮し、再度オリジナルの形式で展開することができます。

- **解像度オプション (オプションの表示)**

- **入力解像度を維持**

EFI eXpress では、受信した PS ファイルや PDF ファイルの解像度を正しく復元したり変換することが難しい場合があります。EFI eXpress の内部処理が原因で、解像度の端数が切り捨てられるエラーが発生することがあります。ピクセル数が減り、その結果としてイメージの右端と下端に沿って白い縁が出力される原因となります。イメージからの入力解像度を維持することで、解像度の端数切り捨てのエラーを回避できます。

- **解像度**

出力解像度を 18 から 2500 dpi の範囲で指定します。解像度を増やすとデータのサイズも増えるので注意が必要です。

- **サイズ・オプション (オプションの表示)**

このオプションでは、TIFF ファイルの出力幅または高さを定義できます。幅を定義すると、イメージの高さは自動的に比例して拡大縮小されます。高さを定義すると、幅も自動的に比例して拡大縮小されます。ソースファイルと同じ寸法でジョブを保存したい場合は、「入力サイズを維持」を選択します。

関連参照：

[メインツールバー](#)

「情報」タブ（プロパティ・インスペクターのみ）

「情報」タブ



- **ファイル情報**

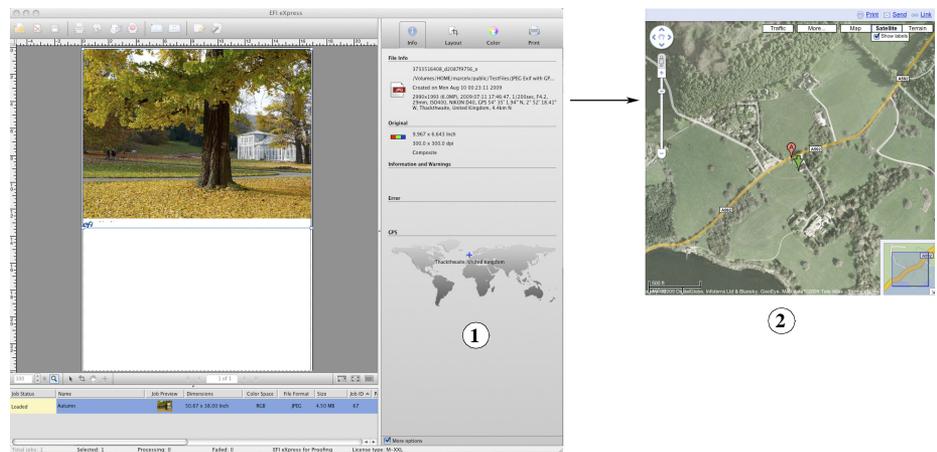
ロードしたファイルの名前、場所、作成日を表示します。

写真画像にエグジフ (Exif) 標準形式で定義されたメタデータ・タグが含まれている場合は、それも表示されます。エグジフデータから写真撮影に使用されたカメラのモデルや撮影時の設定情報を確認できます。

有効な GPS 座標を持った GPS データがイメージファイルに保存されていると、撮影場所が世界地図の縮小版に表示されます。そこには、国や都市の名前とエグジフ情報がハイパーリンクの形で表示されます。ハイパーリンクをクリックするとブラウザが開き、Google マップで場所が確認できます。EFI eXpress では、国や都市名を調べるためにインターネットをインストールする必要がありません。エグジフ設定については「**フッター**」タブを参照してください。

「情報」タブと GPS データ

- 1 世界地図での場所
- 2 Google マップでの場所



- **オリジナル**

ジョブのサイズ、解像度、カラースペース、コンポジットかセパレート済みのどちらかを表示します。

- **情報と警告**

現在選択されているジョブに関連する情報と警告が表示されます。

- **エラー**

ジョブの処理中に発生したエラーの原因を表示します。

レイアウト

「ページレイアウト」タブ

「ページレイアウト」タブ



・ 拡大縮小

ドロップダウンリストから以下の拡大縮小のオプションを選択します。

・ 拡大縮小なし

ジョブはオリジナルサイズで印刷されます。メディアのサイズと合わないページを印刷しようとする、警告メッセージが「情報」タブに表示されます。

・ メディアのサイズに合わせる

ジョブイメージが拡大縮小されるので、印刷可能なメディアの高さ / 幅に合わせてジョブイメージの高さと幅が調整されます。このオプションはロール紙には使用できません。

・ メディアの横幅に合わせる

ジョブイメージが横方向に拡大縮小されるので、印刷可能なメディアの幅に合わせてジョブイメージの幅が調整されます。ただし、このオプションを使用するとジョブイメージの高さが切り取られる場合があります。プレビューで、この設定の結果を確認し、選択したメディアサイズに正しく配置されているか確認してください。

- ・メディアの高さに合わせる

ジョブイメージが縦方向に拡大縮小されるので、印刷可能なメディアの高さに合わせてジョブイメージの高さが調整されます。ただし、このオプションを使用するとジョブイメージの幅が切り取られる場合があります。プレビューで、この設定の結果を確認し、選択したメディアサイズに正しく配置されているか確認してください。このオプションはロール紙には使用できません。

- ・パーセンテージで拡大 / 縮小する

このオプションで拡大率または縮小率を指定できます。100 を超える値では、ページサイズが大きくなります。100 未満の値では、ページサイズが小さくなります。

「パーセンテージで拡大 / 縮小」を選択して倍率を指定します。ドロップダウンリストから、10% から 500% の範囲で表示されている数値から選択できます。または、ドロップダウンリストの下の編集ボックスで直接入力することもできます。指定した倍率は、幅と高さのどちらにも適用されます。

- ・数値で拡大 / 縮小する

このオプションでジョブイメージの高さと幅を数値で定義できます。高さを変更するとその高さの数値に合わせて自動的に幅が変更されます。幅を変更すると同様に高さも自動的に変更されます。ジョブイメージの高さと幅の比率を変えることはできません。

「数値で拡大 / 縮小する」を選択して高さや幅の数値を指定します。ドロップダウンリストから、表示されている数値（幅×高さ）から選択できます。または、ドロップダウンリストの下の編集ボックスで直接入力することもできます。その新しい数値の入力後「+」ボタンをクリックすると、プリセットとして一覧に追加できます。

数値で拡大 / 縮小して保存された「プリセット」は「コレクション」内のページにも適用でき、コンタクトシートを作成できます。

- ・回転

ジョブイメージを回転して出力します。回転角度は 90 度、180 度、270 度のいずれかを選択できます。「最小限のメディア消費量」を選択すると、EFI eXpress は自動的にページを回転させ、メディアの消費量を最小限におさえます。

- ・左右を反転 / 上下に反転（オプションの表示）

ジョブイメージを縦軸または横軸に沿って反転させます。

- ・クロップ（オプションの表示）

ページの上下左右のマージンを指定し、ページの端をトリミング（切り取り）できます。

・ 位置揃え（オプションの表示）

このオプションを使うと、メディア上のジョブイメージの位置を決められます。メディアの左右 / 上下の端に対してどう配置するか指定します。水平方向（左、右、中央）または垂直方向（上、下、中央）に位置を揃えることができます。水平方向の左 / 右あるいは垂直方向の上 / 下を選択し、数値を指定すると、より正確にジョブイメージの位置を設定できます。

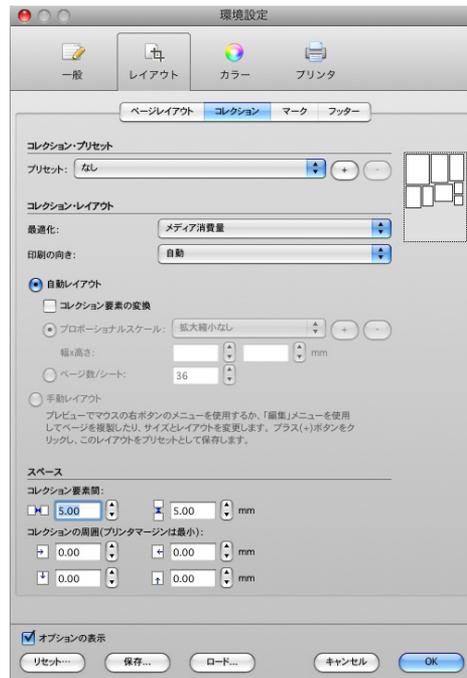
プリンターの印刷不可能領域はプレビューウィンドウに表示されます。適切なマージンの数値を指定することで、プリンターの制限のために予期しないページ端の切り取りが発生することを防ぎます。



「位置揃え」オプションは、同じタブ内の「拡大縮小」設定と連動しています。たとえば、「拡大縮小」で「メディアの横幅に合わせる」を指定すると、水平方向の位置揃えは使用できません。同様に「メディアのサイズに合わせる」を指定すると、「位置揃え」オプションは使用できなくなります。

「コレクション」タブ

「コレクション」タブ



コレクションでは、複数のジョブイメージを1つのジョブとして、一括出力できます。

- ・ コレクション・プリセット

EFL eXpress では、定義済みのコレクション・プリセットを多数提供しています。そのほかに、ユーザーが新たにコレクション・レイアウトを作成し、プリセットとして保存して今後のジョブに適用できます。コレクション・プリセットには以下の設定を保存できます。

- ・ 「ページレイアウト」、「コレクション」、「マーク」、「フッター」それぞれのタブで指定された設定

「ページレイアウト」の「回転」オプションは含まれません。「コレクション」タブの「印刷の向き」が代わりに適用されます。

- ・ 複製の設定

- ・ シート上のページの変更およびページの配置。この設定は、プロパティ・インスペクターの「手動レイアウト」で作成したコレクション・プリセットにのみ適用されません。

設定が完了したら「+」ボタンをクリックして新たにプリセット名を入力します。次回からコレクションを作成し、「プリセット」の一覧から作成したプリセットを選択すると、その設定が適用されます。

ページ数を固定してそのページ数に対応するプリセットを作成した場合、そのページ数を超えるコレクションにそのプリセットを適用すると、自動的に2枚目のシートが作成されます。



- ・ コレクション・レイアウト

- ・ 最適化

この「最適化」でシート上のページのレイアウトを設定します。シート上にできる限り少ないスペースを使ってページを配置 / 位置揃えできます。そうすることで、印刷した際に水平 / 垂直のカッティング数を可能な限り減らしてカットできるようになります。

- ・ 印刷の向き

「印刷の向き」ドロップダウンリストから「縦」または「横」を選択して全ページの出力の向きを指定できます。「自動」を選択すると、シートのスペースを有効活用できるようにページを自動的に回転させます。

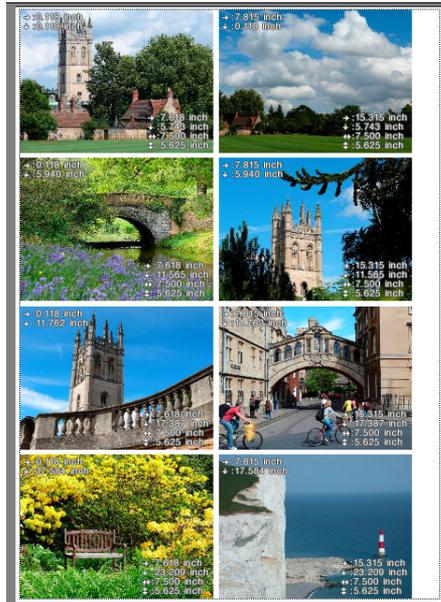
- ・ 自動レイアウト

このオプションを選択すると、指定した「最適化」および「印刷の向き」の設定に従ってシート上にページが配置されます。

「コレクション要素の変換」を選択すると、コレクションに含まれる全ページを均一の大きさに揃えて配置します。このチェックボックスを選択することで、「ページレイアウト」タブで個々のページに指定した「拡大縮小」の設定は無効になるので注意してください。「クロップ」と「反転」は影響されません。

「プロポーションスケール」オプションは、ジョブを均一のサイズに拡大縮小します。写真のコンタクトシートを作成する場合に便利な設定です。ドロップダウンリストには、デフォルトのページサイズと、カスタムサイズが入っています。カスタムサイズでは、幅×高さのサイズを編集ボックスに入力し、「+」ボタンをクリックすることで、別のカスタムサイズを作成できます。

「プロポーションスケール」を選択した場合



ドロップダウンリスト内の「カットなしの全シート」を選択すると、シートの最大限の幅または高さまで各ページを拡大します。この設定では、縦／横どちらかの端に白い縁（マージン）が残ります。「カットのある全シート」を選択すると、この白い縁を削除してページを拡大します。上下または左右どちらかの端が、同じ幅のマージンでトリミングされる結果になります。この設定はロール紙には使用できません。

全シート設定（「印刷の向き」が「自動」の場合）

- 1 拡大縮小なし
- 2 カットなしの全シート
- 3 カットのある全シート



「ページ数/シート」オプション（「オプションの表示」を選択して表示されます）は、指定したページ数がシート上に収まるようにジョブイメージを拡大縮小します。ページにフッターがある場合は、そのフッターも含めて拡大縮小されます。この設定はロール紙には使用できません。

1 ページ/シート、3 ページ/シート、8 ページ/シートの例



・手動レイアウト

このオプションを選択すると、ロードしたジョブをプレビューで配置することや、カスタムレイアウトをプリセットとして保存できます。ジョブの位置、変更、複製などの設定もプリセットに保存され、今後のコレクションに適用できます。



コレクションシートでページに変更を加えると、「自動レイアウト」から「手動レイアウト」に自動的に変更されます。「リセット」ボタンをクリックすると、変更前の設定に戻ります。

・スペース

・コレクション要素間

コレクション要素のページ間の間隔を数値で指定します。水平および垂直の間隔の数値を編集ボックスに入力します。

・コレクションの周囲（プリンタマージンは最小）

コレクション周囲の白い縁（マージン）の数値を指定します。プリンターによる印刷不可能領域も含めて、ここで指定したマージンが設定されます。必要な数値を編集ボックスに入力します。

関連参照：

[コレクション](#)

「マーク」タブ

「マーク」タブ



単体のページまたはコレクションにクロープマークを付けて出力できます。「ページマーク」または「コレクションマーク」のタブどちらかをクリックします。

- ・ クロープマーク

ドロップダウンリストに表示される数種類のクロープマークから選んで出力できます。

- ・ クロープ・マークのオプション（オプションの表示）

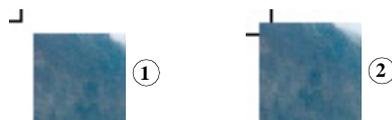
「クロープマーク」で選択した種類によってこのオプションを使用できます。

各クロープマークの線の太さ、線の長さ、オフセットの数値を指定できます。

さらに、ページとの関連でクロープマークの位置を変更できます。「ブリード」の編集ボックスに正の値を入力することで、ページとクロープマークとの間にスペースを作れます。負の値を入力すると、指定したマージンの幅でページの各端がトリミングされます。たとえば、ページの不要な領域を取り除く、ページのサイズを減らす、などのために負の値を入力できます。

「ブリード」設定

- 1 正の値を入力
- 2 負の値を入力



この「ブリード」オプションは、「オフセット」の設定も含めて適用されます。たとえば、クロープマークをジョブから 10 mm の位置に指定していた場合、「ブリード」を 10mm に指定するとクロープマークはページから 20 mm の位置に付けられます。

「フッター」タブ

「フッター」タブ



単体のページまたはコレクションにコントロールストリップおよびジョブチケットを付けて出力できます。コレクション内では、コントロールストリップとジョブチケットは、個々のコレクション要素に表示できますが、フッター情報は同じものが全要素に表示されます。

用紙白シミュレーションとレンダリング・intentを選択している場合、ジョブチケットとコントロールストリップにもその設定は適用されます。

ファイルに印刷する際に、ジョブチケットとコントロールストリップは TIFF フォーマットにエクスポートされません。

- ・ コントロールストリップ

コントロールストリップは 1 行または複数行のカラーパッチで構成されています。カラーパッチは分光光度計（カラー値を測定する計測器）を使用して測定されています。

EFI eXpress に付属のコントロールストリップの 1 つ、または自分で選択したコントロールストリップを使用できます。コントロールストリップは「ControlStrip」フォルダーに保存されています。EFI eXpress は、分版ファイル以外のサポートしているファイル形式を処理できます。サイズ制限はありません。

「環境設定」ダイアログボックスで、右矢印「>」ボタンをクリックすると、コントロールストリップが保存されているフォルダーが表示されます。

印刷会社や代理店の中には、品質を保証する目的で独自のコントロールストリップを使用するところもあります。EFI は、カスタマイズされたコントロールストリップを作成するサービスを提供しています。詳細は、proofing-support@efi.com に問い合わせてください。



- ・ ジョブチケット

ジョブチケットには印刷ジョブ関連の情報が含まれています。

- ・ ISO 準拠 (12647-7/8)

この設定を選択した場合、自動的にファイル名、印刷の日付と時間についての情報、カラーとプリンター特有の情報がジョブチケットに含まれます。

- ・ Exif

EFI eXpress は、写真画像に保存されているエグジフ (Exif) データを処理できます。この設定を選択すると、デフォルトのエグジフデータがジョブチケットに含まれます。GPS データを表示する方法については、「[情報](#)」タブ ([プロパティ・インスペクターのみ](#)) を参照してください。

- ・ カスタム

「カスタム」を選択すると、ジョブチケットにどのエグジフ設定を含めるか指定できます。また、ファイル名、印刷の日付と時間についての設定を含めないこともできます。

プレビューにはデフォルトのジョブチケットが表示されます。ジョブチケットの全情報は、出力結果から確認できます。

- ・ ジョブ・チケットのオプション (オプションの表示)

ジョブチケットの情報に会社のロゴマークなどテキストやイメージを追加できます。

「カスタム・テキスト」に入力する文字数には制限がありません。フォントのサイズは 6 pt ~ 72 pt が使用できます。

「イメージ」は JPEG または TIFF フォーマットである必要があります。サイズは 5 x 5 cm 以下である必要があります。サイズが小さい場合は、適切なサイズまで拡大されます。「イメージ」を追加するには、「選択」をクリックして必要なイメージファイルを検索します。ロゴマークはジョブチケットとコントロールストリップの左側に表示されます。

「イメージ」を追加する際ファイルのコピーが自動的に Logo フォルダーに作成されます。「-」ボタンをクリックすると、選択したイメージをジョブチケットから削除できます。Logo フォルダーからもイメージは削除されます。

「環境設定」ダイアログボックスで右矢印「>」ボタンをクリックすると、ロゴファイルが保存されているフォルダーのウィンドウが表示されます。

ジョブからジョブチケットまでのデフォルトの間隔は 5 mm (0.197 インチ) です。この間隔は広げることも狭めることもできます。その場合は、「オフセット」の編集ボックスに数値を入力します。数値は 0 ~ 1,000 mm (39.37 インチ) の間で指定できます。

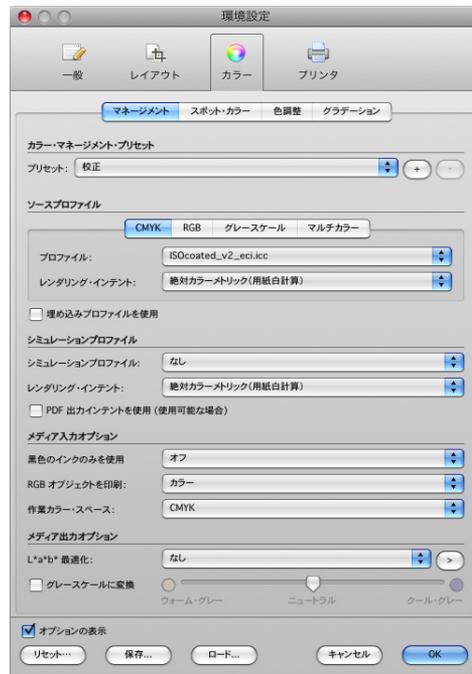
関連参照：

[「コレクション」タブ](#)
[クロープマークの位置](#)

カラー

「マネージメント」タブ

「マネージメント」タブ



「マネージメント」タブで行う設定は、ジョブのカラー再現に直接影響します。ドロップダウンリストには、あらかじめ定義されている設定が含まれています。使用可能なプリセットは、それぞれ特定のワークフローシナリオ用に設計されています。

- ・ カラー・マネージメント・プリセット

EFI eXpress は、あらかじめ定義されているカラー・マネージメント・プリセットを提供しています。各プリセットは、デフォルトのカラーマネージメント設定で構成されています。このカラーマネージメント設定は、ワークフローシナリオの特定のタイプについて最良のカラー品質が得られるよう設計されています。

カラーマネージメントについて初心者の場合は、デフォルトのカラー・マネージメント・プリセットを使用して開始することをお勧めします。慣れていくに従って、多種多様なカラーマネージメント設定を使用できるようになり、独自のプリセットを作成できます。



以下のデフォルトカラー・マネージメント・プリセットを使用できます。

・校正

設定	オプションの組み合わせ
CMYK	ISOcoated_v2_eci.icc と絶対カラーメトリック
RGB	AdobeRGB1998.icc と知覚
グレースケール	EFI Gray Profile.icc と相対カラーメトリック
マルチカラー	プロファイルなしと相対カラーメトリック
作業カラー・スペース	CMYK
埋め込みプロファイルを使用	非選択

・プロダクション

設定	オプションの組み合わせ
CMYK	ISOcoated_v2_eci.icc と知覚
RGB	AdobeRGB1998.icc と知覚
グレースケール	EFI Gray Profile.icc と知覚
マルチカラー	プロファイルなしと相対カラーメトリック
作業カラー・スペース	CMYK
埋め込みプロファイルを使用	非選択

・写真

設定	オプションの組み合わせ
CMYK	ISOcoated_v2_eci.icc と知覚
RGB	AdobeRGB1998.icc と知覚
グレースケール	EFI Gray Profile.icc と知覚
マルチカラー	プロファイルなしと相対カラーメトリック
作業カラー・スペース	RGB
埋め込みプロファイルを使用	選択

・ビジネスグラフィックス

設定	オプションの組み合わせ
CMYK	ISOcoated_v2_eci.icc と彩度
RGB	AdobeRGB1998.icc と彩度
グレースケール	EFI Gray Profile.icc と彩度
マルチカラー	プロファイルなしと彩度
作業カラー・スペース	RGB
埋め込みプロファイルを使用	非選択

・グレースケールに変換

設定	オプションの組み合わせ
CMYK	ISOcoated_v2_eci.icc と相対カラーメトリック
RGB	AdobeRGB1998.icc と知覚
グレースケール	EFI Gray Profile.icc と相対カラーメトリック
マルチカラー	プロファイルなしと相対カラーメトリック
作業カラー・スペース	CMYK
埋め込みプロファイルを使用	非選択
グレースケールに変換	ニュートラル

・カラー・マネージメントなし

設定はグレー表示され、選択できません。

このタブ上で、オプションを自由に組み合わせで独自のカラー・マネージメント・プリセットを作成できます。新たにオプションを組み合わせで設定を作成した場合は、「+」ボタンをクリックします。表示されたダイアログボックスにプリセット名を入力して「OK」をクリックします。

デフォルトのプリセットは上書きや削除ができません。プリセット名に誤ってデフォルトのプリセット名を入力すると、EFI eXpress は警告メッセージを表示します。名前を定義しない場合は、EFI eXpress は自動的にオリジナルプリセット名のコピーとしてプリセット名を付けて保存します。同様に、オリジナルのデフォルトプリセットは削除できません。

- ・ ソースプロファイル

EFI eXpress は多様なソースプロファイルを提供しています。プリンターとは関係なく、ソースプロファイルはジョブに含まれているカラーを表現します。EFI eXpress はソースプロファイルのカラー定義を取得し、メディアプロファイル（使用するプリンター）とカラー定義を一致させるので、ソースプロファイルを変更することでカラー出力をコントロールできます。

EFI eXpress と共に提供されたソースプロファイル、または入力デバイスと共に提供されたソースプロファイルを適用できます。ソースプロファイルは Profiles フォルダにコピーする必要があります。コピーしないとソースプロファイルは検知されません。

- ・ CMYK/RGB/ グレースケール/ マルチカラー

ジョブの入力カラースペースを表すタブをクリックし、ドロップダウンリストからソースプロファイルを選択します。

CMYK タブのプロファイルで「フル・ガモット」を選択すると、プリンターのカラーガモットを十分に活用した印刷結果になります。出力カラーは、非常に彩度のあるものとなります。ソースプロファイルとメディアプロファイルの標準的な適合は無視されるため、ソースプロファイルで定義されたカラー特性は適用されません。

「マルチカラー」タブでは独自のカラープロファイルを 6～7 種類ロードできます。標準のマルチカラープロファイルは提供されていません。

- ・ レンダリング・インテント

ドロップダウンリストから、レンダリング・インテントを選択します。

- ・ 埋め込みプロファイルを使用

複数のページから成るジョブについて、それぞれのページは自動的に埋め込みプロファイルを使用して処理されます。この設定は以下の場合にのみ適用されます。

- ・ TIFF ファイル、JPEG ファイル。PS ファイルには適しません。
- ・ PDF/X-3 シミュレーションプロファイル（出力インテント）

以下の表は、設定によるカラー出力の違いを示しています。

ソースファイル	「埋め込みプロファイルを使用」の選択 / 非選択	EFI eXpress での動作
TIFF ファイル 埋め込み sRGB プロファイル	選択	sRGB プロファイルはソースプロファイルとして適用されます。このタブで選択されたソースプロファイルは使用されません。
	非選択	このタブで選択されたソースプロファイルが適用されます。
TIFF ファイル 埋め込みプロファイルなし	選択 / 非選択	このタブで選択されたソースプロファイルが適用されます。「埋め込みプロファイルを使用」の選択 / 非選択は関係ありません。

・ シミュレーションプロファイル

シミュレーションプロファイルと適切なレンダリング・インテントを適用することで、特定の出力デバイス（印刷機）での出力をシミュレートできます。

EFI eXpress が提供しているシミュレーションプロファイルをロードできます。または、たとえば印刷業者から提供されたシミュレーションプロファイルをロードすることもできます。独自のシミュレーションプロファイルを使用するには、Reference フォルダにプロファイルをコピーします。

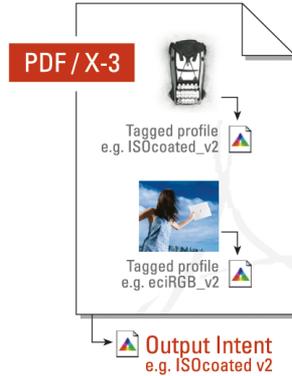


EFI では数多くのカスタマイズされたプロファイルを提供しています。このプロファイルは Reference Additional フォルダに保存されています。これらのプロファイルを使用するには、使用したいプロファイルを Reference フォルダにコピーしてください。EFI eXpress では、Reference フォルダに保存されているプロファイルのみ選択できます。

・ PDF 出力インテントを使用（使用可能な場合）

このオプションを選択すると、出力インテントが PDF/X-3 ファイルに埋め込まれている場合、PDF 出力インテントがシミュレーションプロファイルとして適用されます。

PDF/X-3 ファイルの出力インテント



この設定は PDF ファイルと PostScript ファイルにのみ使用できます。

オプション	選択 / 非選択	説明
PDF 出力インテントを使用	選択	PDF/PostScript ファイルに使用可能な出力インテントが適用されます。選択したシミュレーションプロファイルは無視されます。
PDF 出力インテントを使用	非選択	PDF/PostScript ファイルに選択したシミュレーションプロファイルが適用されます。シミュレーションプロファイルが何も選択されていない場合は、RIP の作業カラー・スペースに従って選択されたソースプロファイルが適用されます。

・ メディア入力オプション (オプションの表示)

・ 黒色のインクのみを使用

純粋な黒色として定義されているオブジェクトを黒色インクのみ使用して印刷するように指定します。ドロップダウンリストから「テキストとイメージ」を選択すると、黒色インクのみを使用して最少 K=1% で構成されているドットが印刷されます。「テキスト」を選択すると、黒色インクのみを使用して、最小 K=99% で構成されているドットのみが印刷されます。「オフ」を選択すると、ブラック領域は使用可能な CMYK インクで印刷されます。

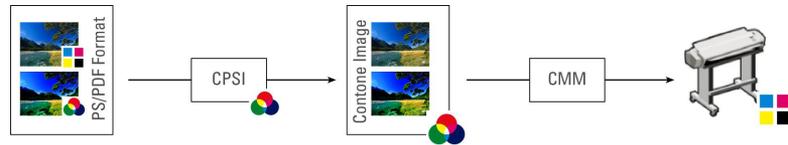
・ RGB オブジェクトを印刷

ジョブに RGB イメージが含まれているか検証します。RGB データが検知されると、その RGB イメージはドロップダウンリストで選択した色 (カラー / グレースケール / オレンジ) で印刷されます。

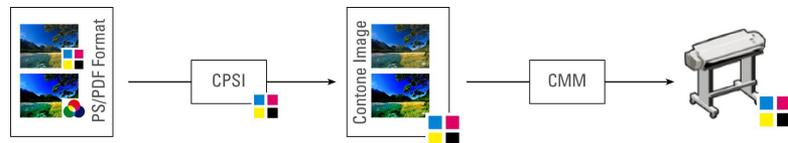
・ 作業カラー・スペース

入力データのカラーモードを指定します。たとえば、PDF ファイルがおもに RGB 画像からなる場合は、「RGB」を選択します。この場合、選択した RGB ソースプロファイルは自動的に PDF 全体に適用されます。

「RGB」作業カラー・スペースを選択した場合の効果



「CMYK」作業カラー・スペースを選択した場合の効果



・ メディア出力オプション (オプションの表示)

・ L*a*b* 最適化

L*a*b* 最適化ファイルはより正確なプリンター調整を行います。EFI XF で作成した最適化ファイルは、Balance フォルダーにコピーすることで実装することができます。Balance フォルダーにコピーされた 3cc ファイルのみがドロップダウンリストに表示され選択できます。

「環境設定」ダイアログボックスの右矢印「>」ボタンをクリックすると、L*a*b* 最適化ファイルの保存場所が表示されます。

・ グレースケールに変換

このオプションを選択すると、付属の L*a*b* 最適化ファイルを適用せずにグレースケールの影を定義できます。ウォーム・グレー (黄色っぽい色合い) からクール・グレー (青っぽい色合い) までの 5 段階で指定できます。チェックボックスを選択し、スライダーを必要な位置に移動します。

グレースケールのバリエーション



関連参照：

[EFI eXpress のセットアップ](#)
[カラーマネージメントの概要](#)

「スポットカラー」タブ

「スポットカラー」タブ



- 色分解

- In-RIP セパレーション

外部 DTP プログラムから取り込まれた RIP 設定がジョブにすでに含まれている場合、この設定を適用するかどうか指定できます。

「無効」を選択すると、コンポジットジョブや RIP 内で色分解されたジョブを常にコンポジットファイルとして印刷します。分版ファイルは個別に処理されます。

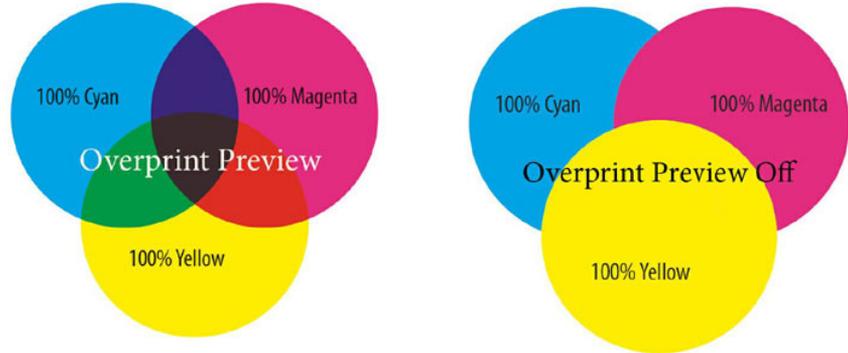
「有効」を選択すると、使用可能な in-RIP 情報をジョブに適用します。印刷ジョブで in-RIP 情報が検出されない場合、ファイルは自動的にコンポジットとして出力されます。PostScript ファイルには、色分解の詳細情報（プロセスカラーとスポットカラー）だけではなく、開始コード情報も含まれている必要があります。DTP プログラムの種類によっては、生成される PostScript ファイルに開始コードが含まれないことがあります。その場合は、in-RIP 情報を適切に解釈できないため、ファイルはコンポジット出力されます。

「強制」を選択すると、ファイルはすべて分版ファイルとして処理されます。

・コンポジットジョブでのオーバープリントをシミュレートする

グラフィックアプリケーションでオーバープリントを指定して作成されたジョブを印刷時にもオーバープリントを適用するか指定できます。通常、色が異なる2つのオブジェクトが重複している場合は、ノックアウト（くり抜き）効果により各オブジェクトはお互いの上に印刷されません。あるインク層を別のインク層の上に意図的に印刷することをオーバープリントといいます。オーバープリントは、隣接するカラー間のギャップを回避する場合に使用されます。

オーバープリント



このオプションを選択すると、コンポジットジョブのオーバープリントをシミュレートできます。コンポジットジョブはオーバープリントをサポートしていないので、このオプションを選択しないとシミュレートできません。

このチェックボックスを選択して設定を保存後プレビューを確認すると、印刷前にオーバープリント設定をチェックできます。

この設定は、RIP 内で色分解されたジョブやセパレート済みジョブには有効ではありません。

・不明なスポットカラー（オプションの表示）

「不明なスポットカラーを警告色で置き換え」を選択すると、未定義のスポットカラーを判別しやすいグリーンの色合いで出力します。そうすると、印刷出力の際にすぐ確認できます。ほかに、編集ボックスに CMYK 値を入力すると独自の警告色を定義できます。

・スポット・カラー・プリセット

ドロップダウンリストからスポットカラープリセットを選択します。新規でスポットカラープリセットを作成するには、このタブ上で設定し、プラス「+」ボタンをクリックします。

「環境設定」ダイアログボックスで右矢印「>」ボタンをクリックすると、bct スポットカラーファイルの保存場所が表示されます。bct ファイルは、別のコンピューターの EFI eXpress にコピーできます。簡単に設定を複製できます。

- ・ スポットカラーの定義（オプションの表示）

EFI eXpress はロードされたジョブにスポットカラーが含まれているかを自動的に検出し、プロパティ・インスペクターの表に表示します。EFI eXpress で前回定義され、スポットカラープリセットとして保存されたスポットカラーは、名前、カラースペース、カラー値と共に表示されます。定義されていないスポットカラーについては、「不明」と表示されます。

不明なスポットカラーが含まれるジョブを処理するには、次のいずれかを行う必要があります。

- ・ スポットカラーを定義し、スポットカラープリセットとして保存する
- ・ チェックボックスを選択し、置換カラーを指定する

関連参照：

[スポットカラー](#)

「色調整」タブ

このタブでの設定は、EFI eXpress でロードしたジョブのカラー再現に影響します。「色調整」はコントロールストリップには適用されません。

「色調整」タブ



- ・ 色調整プリセット

ドロップダウンリストから色調整プリセットを選択します。新規に色調整プリセットを作成するには、このタブで設定したあと「+」ボタンをクリックします。

色調整を行ったイメージと色調整をしていないイメージの結果をプロパティ・インスペクターで比較できます。「コレクション」に同じイメージを2つロードし、1つは色調整を行い、1つは色調整を行わず比較します。

- ・ アンシャープ / シャープ

スライダーを左右に移動するか、または編集ボックスに数値を入力してイメージのシャープさを指定します。

- ・ 明度 / コントラスト / 彩度

スライダーを左右に移動するか、または編集ボックスに数値を入力してイメージの明度、コントラスト、彩度を調整します。

- ・ カラー補正 (オプションの表示)

スライダーを左右に移動するか、または編集ボックスに数値を入力して CMYK イメージ / RGB イメージの色を補正します。

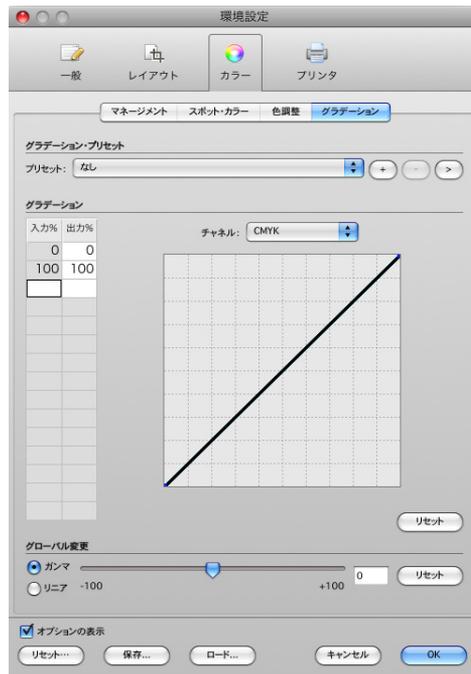
プロパティ・インスペクターでは、EFI eXpress がインポートされたジョブのカラースペースを自動的に認識するので、必要ないカラーチャンネルは使用できなくなります。

スポットカラーが含まれているジョブには、この設定は使用できません。CMYKRGB ファイルまたは CMYKOG ファイルにも、カラー補正は適用されません。



「グラデーション」タブ

「グラデーション」タブ



- ・ グラデーション・プリセット

ドロップダウンリストからグラデーションプリセットを選択します。新規にグラデーションプリセットを作成するには、このタブ上で設定を変更し、「+」ボタンをクリックします。

「環境設定」ダイアログボックスでは、右矢印「>」ボタンをクリックすると vcc グラデーションプリセットが保存されているフォルダーが表示されます。vcc ファイルは別のコンピューターの EFI eXpress にコピーできます。簡単に設定を複製できます。

- ・ **グラデーション (オプションの表示)**

ドロップダウンリストから調整したいカラーチャンネルを選択します。選択したプリンターがサポートしているインクのカラーによって使用できるチャンネルは異なります。

「入力%/出力%」の表には、最初は0%と100%の値のみ表示されています。以下の方法で変更できます。

- ・表に直接「入力%/出力%」の数値を入力する
- ・ダイアグラム (図表) でグラデーション・カーブを修正する
- ・「グローバル変更」でガンマ/リニアのスライダーを利用する

- ・ **グローバル変更 (オプションの表示)**

- ・「ガンマ」設定は、入力値 50%に対する出力のインク %を増減します。この設定を適用すると、すべてのカラー値 (特に中間トーンのカラー) の明るさに影響します。
- ・「リニア」設定は、入力値 100%の出力インク%を減らします。そして 100%未満のすべての値はリニア線に沿って調整されます。この設定を適用すると、すべてのカラー値の明るさに均等に影響を及ぼします。

関連参照：

[ビジュアル・リニアリゼーション補正](#)

プリンター (「環境設定」ダイアログボックス) / 印刷 (プロパティ・インスペクター)

「デバイス」タブ

「デバイス」タブ



- **デバイスタイプ**

ドロップダウンリストには、サポートされている出力デバイスが入っています。リストから使用するプリンターを選択します。



適切なメディアプロファイルがインストールされていることを確認してください。インストールされていない場合は出力デバイスを設定できない可能性があります。必要に応じてソフトウェア DVD からメディアプロファイルを追加インストールできます。

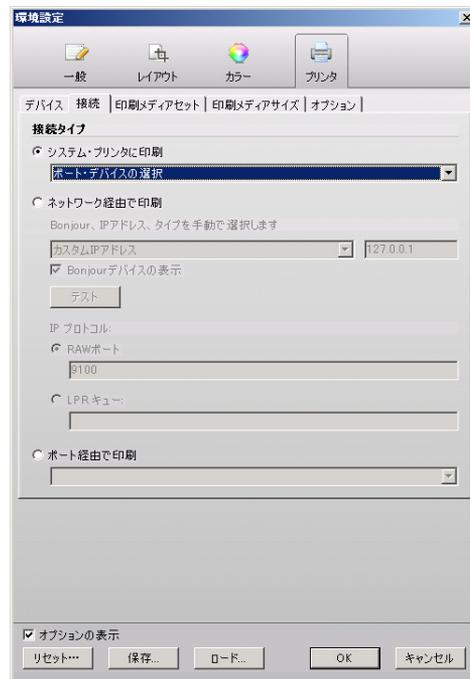
- **印刷**

複数ページあるジョブの全ページを印刷するには「すべて」を選択します。特定のページを印刷する場合は「ページ/シート」を選択して印刷するページ番号、またはページ範囲を入力します。たとえば、2、6、10、11、12、13 ページのみ印刷するには、「2,6,10-13」と入力します。

印刷する「部数」を入力します。3 ページあるジョブを3部印刷する場合は次の順序でページが出力されます。1、1、1、2、2、2、3、3、3。部単位でソートされるように印刷する場合は、「複製の並べ替え」チェックボックスを選択します。その場合は次の順序でページが出力されます。1、2、3、1、2、3、1、2、3。

「接続」タブ

「接続」タブ



- **システム・プリンタに印刷 (オプションの表示)**

このオプションを選択すると、システムプリンターとして設定されている Windows プリンターに印刷します。使用できるプリンターはドロップダウンリストに表示されます。この設定は Windows でのみ使用できます。

- ・ ネットワーク経由で印刷

ネットワークプリンターに印刷するには、このオプションを選択します。TCP/IP または Bonjour を経由して接続を設定できます。

- ・ カスタム IP アドレス

ドロップダウンリストから「カスタム IP アドレス」を選択します。横の編集ボックスにネットワークプリンターの IP アドレスを入力します。プリンターの TCP/IP アドレスは、決められたプリンター名または「10.1.149.33」のような一連の番号で指定します。プリンターの TCP/IP アドレスが不明な場合は、システム管理者に問い合わせてください。

- ・ Bonjour

Bonjour は Macintosh OS X オペレーティングシステムの標準コンポーネントです。ネットワークプリンターがネットワークプロトコル Bonjour をサポートしており、そのプリンターに印刷する場合は、ローカル接続されているプリンターで印刷するときと同様にプリンター名を選択します。IP アドレスは自動的に検出されます。

Windows ユーザーは、Apple のウェブサイト (<http://www.apple.com/jp/ftp-info/reference/bonjourforwindows.html>) から Bonjour ソフトウェアをダウンロードできます。

「Bonjour デバイスの表示」(オプションの表示) のチェックボックスを選択解除すると、Bonjour 経由で接続したプリンターを隠すことができます。

「テスト」をクリックすると、プリンターへ正しく接続されているか確認できます。接続をテストするには、プリンターに電源が入っている必要があります。エラーメッセージが表示された場合は、システム管理者に問い合わせてください。

プリンターがデータ転送に使用する TCP/IP プロトコルのタイプを選択します (オプションの表示)。

- ・ RAW ポート

プリンターが RAW 印刷をサポートする場合は、このオプションを選択します。ほとんどのプリンターはポート 9100 への RAW 印刷をサポートしています。ただし、この設定はプリンターで行われたネットワーク設定に依存するため、ポート番号が異なる場合があります。

- ・ LPR キュー

プリンターが LPR 印刷をサポートする場合は、このオプションを選択します。編集ボックスにキュー名を入力します。

通常、キュー名を入力する必要があるのは、Unix システム経由または複数のインターフェイスをもつプリントサーバー経由で印刷する場合に限られます。ほとんどの場合は、キュー名を入力せずに編集ボックスをブランクのままにできます。詳細は、プリンターに付随する取扱説明書を参照してください。

- ・ ポート経由で印刷

USB 経由で接続されているプリンターに印刷する場合は、このオプションを選択します。ドロップダウンリストからプリンター名を選択します。その場合、EFI eXpress の起動時にプリンターの電源が入っている必要があります。電源が入っていないと、プリンターは自動的に検出されません。

関連参照：

[EFI eXpress のセットアップ](#)



「印刷メディアセット」タブ

「印刷メディアセット」タブ



- 印刷メディアプロファイル

- インクの種類

使用するプリンターに装着されているインクの種類を選択します。

- メディア名

印刷するメディアの種類を選択します。

- 印刷品質

選択したプリンターに対するカラースペース / 解像度 / 印刷品質の組み合わせを選択します。「印刷品質」の設定は、選択するメディアプロファイルによって異なります。



メディアプロファイルはすべて EFI Media Profiles フォルダーに保存されている必要があります。新規にカスタムメディアプロファイルを作成した場合、またはサードパーティーのプロバイダーからメディアプロファイルを入手して使用する場合は、正しい場所に保存されていることを確認してください。

「環境設定」ダイアログボックスで右矢印「>」ボタンをクリックすると、メディアプロファイルとそれに関連付けられたリニアリゼーション（epi ベース）が保存されているフォルダーが表示されます。

- ・ **キャリブプレート (オプションの表示)**

プリンターのキャリブレーションは「環境設定」ダイアログボックスでのみ行うことができます。

- ・ **キャリブプレート**

通常のキャリブレーションにより、プリンターのカラー再現が一定に保たれます。内部カラーセンサーおよび自動クローズドループ・キャリブレーション機能が搭載されているプリンターを使用する場合のみ「キャリブプレート」ボタンが使用できます。

- ・ **プロファイルの接続 (オプションの表示)**

以下の設定は、カスタムメディアプロファイルを搭載するためのもので、「環境設定」ダイアログボックスからのみ設定できます。ユーザーが作成したメディアプロファイル、またはサードパーティーのプロバイダーから入手したメディアプロファイルを搭載できます。

- ・ **新しいメディア名**

カスタムメディアプロファイルを搭載するには、メディア名を定義します。メディア名を入力すると、EFI eXpress でそのメディア名が表示されます。

- ・ **プロファイル・パス**

「選択」をクリックしてカスタムメディアプロファイルの場所を検索します。選択したプロファイル・パスが表示されます。

- ・ **新しいメディアをプロファイルに接続**

有効な epl ファイルを選択し、メディア名とプロファイル・パスを定義するとこのオプションが使用できます。「新しいメディアをプロファイルに接続」をクリックして、メディアプロファイルと epl ファイル間に確実なリンクを設定します。epl ファイルには選択されたインク、メディアタイプ、メディア品質の詳細が含まれています。新しいプロファイルは、EFI Media Profiles フォルダー内の My Profiles フォルダーに保存されます。

関連参照：

[カスタム・メディアプロファイルの作成と適用](#)

「印刷メディアサイズ」タブ

「印刷メディアサイズ」タブ



- ・ ソース

メディアのロール紙かシート紙か選択します。シート紙の場合は、メディアが給紙されるカセットを選択します。

- ・ フォーマット

プリンターに装着されているメディアのフォーマットを選択します。新たに独自のフォーマットを定義するには、「幅」と「高さ」の数値を入力し、「+」ボタンをクリックします。

- ・ フチなしで印刷（オプションの表示）

フチなし印刷をサポートするプリンターを使用する場合に選択できます。ただし、適用できないメディアフォーマットもあります。

この設定を「拡大縮小」と組み合わせて使用すると、出力はシートのサイズに拡大縮小されます。



「拡大縮小」なしで、印刷するページがメディアサイズよりも大きい場合は、切り落とし（クリッピング）が発生します。ページがメディアサイズよりも小さい場合は、ページのまわりに白いフチが付いて印刷されます。

- ・ 印刷メディアの長さ補正（オプションの表示）

印刷されたメディアの長さが目的の長さとは一致しない場合に補正します。これは、使用しているプリンターとメディアの組み合わせが特有の組み合わせになったときに起こる場合があります。

通常、ジョブの長さとお出力結果の長さは同じです。予期していた長さよりも出力結果が長すぎたり短すぎたりした場合に、このオプションでお出力結果の長さを補正します。

このオプションでは「Lineal_01.ps」ファイルが提供されています。印刷されたイメージには 0.5 x 0.5 m 目盛りのルーラーが表示されます。ファイルを出力し、ルーラーの目盛りの長さを測ります。測った数値が異なる場合は「目的の長さ」と「実際の長さ」に数値を入力して長さを補正できます。

この設定は、プリンターのコントロールパネルで設定したハードウェア設定に影響されません。

関連参照：

[カスタムのメディアフォーマットの適用](#)

「オプション」タブ

「オプション」タブ



この「オプション」タブで表示される設定は、プリンター固有の設定で「デバイス」タブで選択したプリンターによって異なります。プリンター固有の機能の詳細は、プリンターに付随する取扱説明書を参照してください。

ジョブリスト

表示内容

ジョブリストには、ロードされているジョブの概要が表示されます。

ジョブリスト

ジョブステータス	名前	ジョブのプレビュー	イメージ・サイズ	ファイル形式	カラースペース	サイズ	ジ...
ロード済み	Okayama		270.93 x 203.20 mm	JPEG	RGB	657.06 KB	77
処理中 (10%)	Peace and quiet		1286.93 x 965.20...	JPEG	RGB	4.69 MB	78
キャンセル	Landscape painting		1286.93 x 965.20...	JPEG	RGB	4.43 MB	79
エラー	45066597_PSSR_EFIGS.i		215.90 x 279.40 mm	PDF	CMYK	2.16 MB	80

ジョブリストには以下の情報が表示されます。

タイトル	説明	EFI eXpress for Proofing でのデフォルト表示	EFI eXpress for Photo でのデフォルト表示
ジョブステータス	それぞれのジョブステータスは特定の色で表示されています。ジョブのステータスによって色分けされているため識別しやすくなっています。	X	X
名前	ジョブの名前です。	X	X
ジョブのプレビュー	ロードされたジョブのサムネイルイメージが表示されます。	X	X
イメージ・サイズ	ジョブの寸法です。	X	
カラースペース	RGB/CMYK/CMYK+	X	X
ファイル形式	ジョブのファイル形式です。	X	
サイズ	ジョブのサイズ (KB/MB で表示) です。	X	
ジョブ ID	ジョブに付けられた連続した ID 番号です。	X	
ページ	ジョブのページ数です。	X	
日付と時刻	ジョブが印刷のために送信された日付と時刻です。	X	

タイトル	説明	EFI eXpress for Proofing でのデフォルト表示	EFI eXpress for Photo でのデフォルト表示
プリンタ	選択された出力デバイスです。	x	
メディア・セット	適用されたメディアセットです。	x	
最終エラー	最近表示されたエラーです。	x	

上記はデフォルトのタイトルです。カラムのタイトル行で右クリックすると、表示されたメニュー（コンテキストメニュー）からカラムを追加したりデフォルトのカラムを削除できます。「ジョブステータス」と「名前」は削除できません。

コンテキストメニューには、「すべて」/「なし」/「デフォルト」の選択項目もあります。1回のクリックのみでジョブリストのカラムを変更できます。「なし」を選択すると、「ジョブステータス」と「名前」のみが表示されます。

カラムの順序を変更できます。カラムのタイトルでマウスボタンを押したまま左右どちらかにドラッグして新しい位置に移動します。「ジョブステータス」と「名前」の位置は変更できません。

さらに、ジョブリストに表示されているジョブの順序を、カラムのタイトルに従って並べ替えることができます。カラムのタイトル上でクリックするとジョブは昇順に並べ替えられます。再度同じカラムのタイトル上でクリックすると降順に並べ替えられます。

コンテキストメニュー

コンテキストメニューから、よく使用するコマンドを選択することができます。

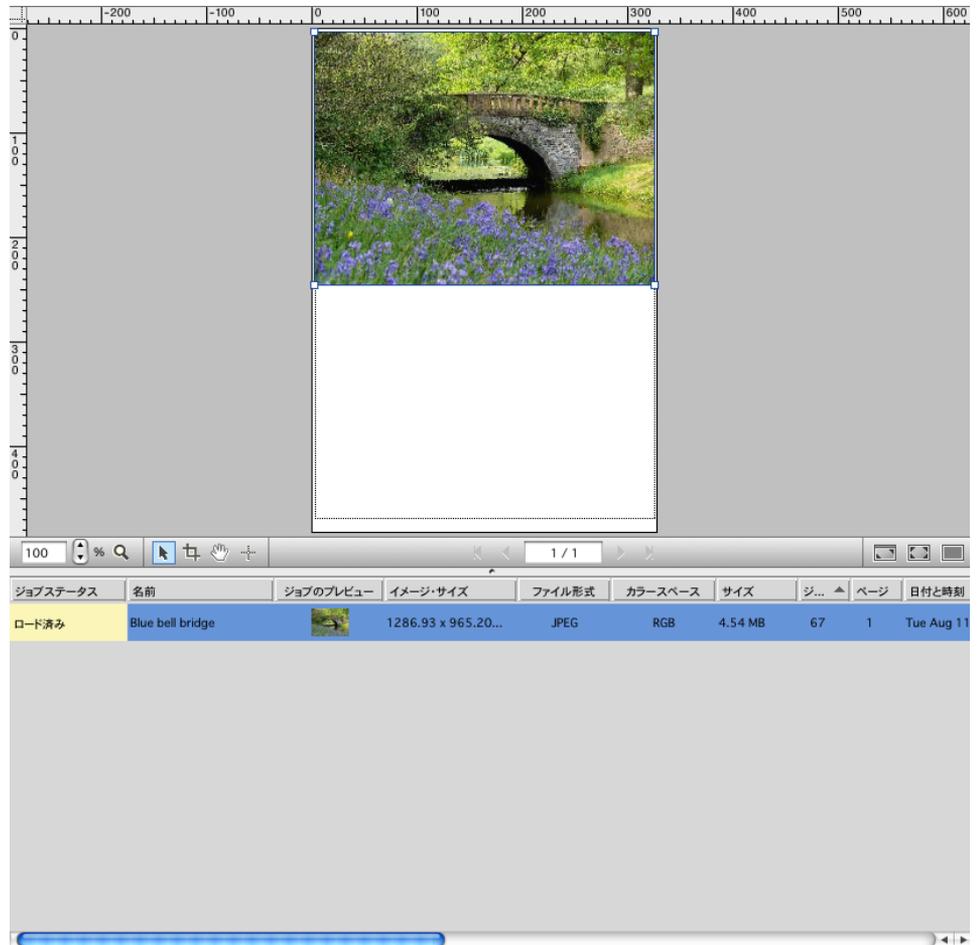
コマンド	右クリックする場所			
	ジョブリスト内の領域	ジョブ	コレクション	コレクション内のジョブ
ジョブのインポート	x	x	x	x
ジョブを削除	—	x	x	x
変更を保存	—	x	x	x
印刷	—	x	x	x
プレビュー	—	x	x	x
TIFF へエクスポート	—	x	x	x
キャンセル	—	x	x	x
新規コレクション	—	x	—	—
コレクションの更新	—	—	x	x
コレクションにジョブを追加	—	—	x	x
ジョブをコレクションから移動	—	—	—	x

コマンド	右クリックする場所			
	ジョブリスト内の領域	ジョブ	コレクション	コレクション内のジョブ
Explorer/Finder で表示	X	X	X	X
プレビューのサイズ	X	X	X	X

プレビューウィンドウ

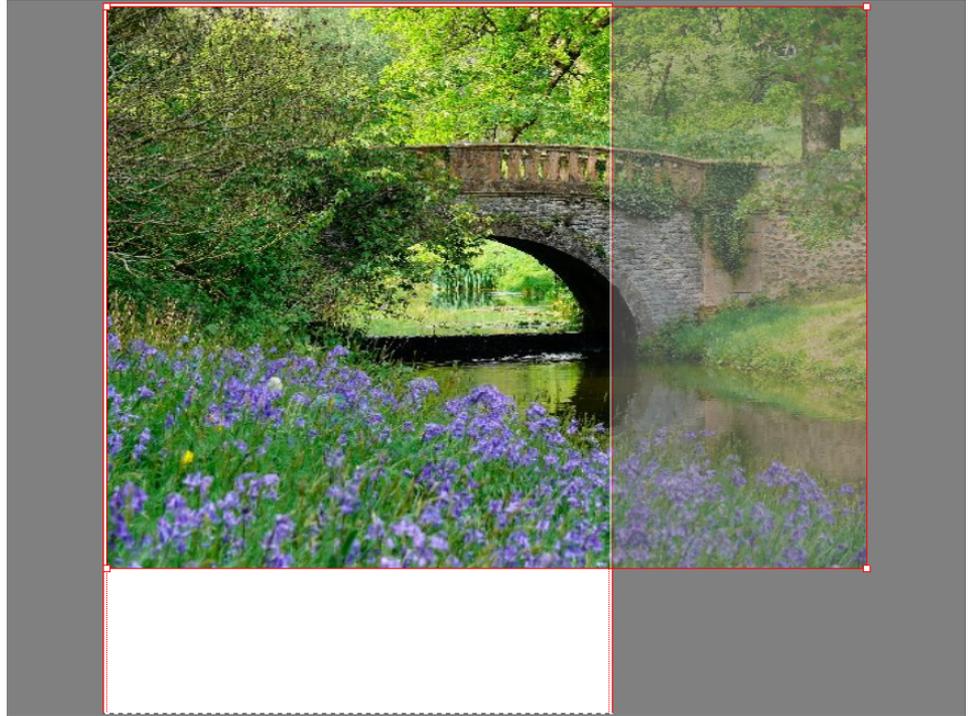
プレビューウィンドウには、ジョブリスト内で選択されているジョブのイメージが表示されます。

「プレビュー」ウィンドウ



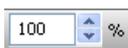
プレビューウィンドウでは、ページがメディアのサイズに合っているかどうかを確認できます。ロードしたジョブのページが赤い境界線で表示され、メディアサイズより大きい場合は切り取られる部分が半透明で表示されます。この場合は、適切なメディアサイズを選択するか、またはメディアサイズに合うようにページを拡大縮小してください。

ロードしたページがメディアサイズより大きい場合



プレビューツールバー

以下のツールで、プレビューウィンドウの表示を変更できます。



プレビューウィンドウ内のイメージサイズを拡大 / 縮小します。上下矢印をクリックするか、編集ボックスに直接数値を入力します。



プレビュー上で拡大します。ツールをクリックし、プレビューウィンドウ内でクリックまたはドラッグします。



ページを選択します。複数のページを選択するには、<Shift> キーを押しながら選択します。選択したページで右クリックするとコンテキストメニューが表示され、ページのレイアウトを変更できます。



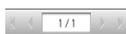
クロップ・ツールです。プレビューウィンドウ内で特定の領域を選択し、クロッピング（切り取り）できます。



プレビューウィンドウ内でプレビューを移動します。プレビューウィンドウよりプレビューが大きい場合、スクロールバーが左側と下側に表示されます。マウスの左ボタンを押しながら「プレビュー」ウィンドウの中でプレビューを移動させます。



十字線を表示します。十字線のカーソルの座標が表示されるので、イメージの正確な位置を決めたり、クロッピングや拡大縮小する場合に便利です。



矢印を使って複数ページのジョブまたは複数ページのコレクションをスクロールします。



メインツールバー、ジョブリスト、プロパティ・インスペクター、ステータスバーを非表示にしてプレビューウィンドウを最大に表示します。このアイコンを再度クリックすると、元の表示に戻ります。



メニューバー、ステータスバー、Windows のタスクバーを非表示にして EFI eXpress プログラムのウィンドウを最大に表示します。このアイコンを再度クリックすると、元の表示に戻ります。



色の一覧が表示され、「プレビュー」領域の背景の色を変更できます。

ページポジションツール

多くの視覚的ツール（ガイド線、グリッド線、ルーラーなど）は、ページの位置を正確に決める場合に使用できます。

キーボードショートカット

以下の表は、「プレビュー」ウィンドウ内でページを操作する際に使用できます。基本的に、一般的なグラフィックプログラムで使用しているショートカットキーと一致しています。

個々のページに適用できるショートカットキーの多くは、コレクション内の複数のページに対しても適用できます。

・ 一般

機能	ショートカットキー (Windows)	ショートカットキー (Macintosh)
「環境設定」ダイアログボックスの表示	<Ctrl>+<F1>	<F1>
「設定ウィザード」の表示 (Windows) / 「設定アシスタント」の表示 (Macintosh)	<Ctrl>+<F2>	<F2>
プレビューウィンドウの表示 / 非表示	<F3>	<F3>
ジョブリストの表示 / 非表示	<F4>	<F4>
プロパティ・インスペクターの表示 / 非表示	<F5>	<F5>
メインツールバーの表示 / 非表示	<F6>	<F6>
プレビューツールバーの表示 / 非表示	<F7>	<F7>
ステータスバーの表示 / 非表示	<F8>	<F8>
プレビューウィンドウの最大化	<Ctrl>+<Shift>+<M>	<Apple>+<Shift>+<M>
全画面表示	<Ctrl>+<Shift>+<F>	<Apple>+<Shift>+<F>

機能	ショートカットキー (Windows)	ショートカットキー (Macintosh)
選択したページのコンテキストメニューを表示（「編集」メニュー）	ページ上で右クリック	ページ上で右クリック
ページの選択	ページ上でクリック	ページ上でクリック
ページのリセット	<Ctrl>+<Shift>+<R>	<Apple>+<Shift>+<R>
複数ページあるドキュメントの次ページへ移動	<Ctrl>+<Page down>	<Apple>+<Page down>
複数ページあるドキュメントの前ページへ移動	<Ctrl>+<Page up>	<Apple>+<Page up>
複数ページあるドキュメントの最初のページへ移動	<Ctrl>+<Home>	<Apple>+<Alt>+<Page down>
複数ページあるドキュメントの最終ページへ移動	<Ctrl>+<End>	<Apple>+<Alt>+<Page up>
ジョブリストの全ジョブを選択	<Ctrl>+<A>	<Apple>+<A>
プレビュー内で選択したページを移動	ページを選択してドラッグ	ページを選択してドラッグ
ジョブリストで上にスクロール	<Ctrl>+ 上矢印キー（↑）	<Apple>+ 上矢印キー（↑）
ジョブリストで下にスクロール	<Ctrl>+ 下矢印キー（↓）	<Apple>+ 下矢印キー（↓）

- ・ コレクション

機能	ショートカットキー (Windows)	ショートカットキー (Macintosh)
コレクションにページを追加 / 削除	<Shift>+ ページ上でクリック	<Shift>+ ページ上でクリック
クロップされた領域のジョブを選択	マウスをクリックし、投げ縄ツールをドラッグ	マウスをクリックし、投げ縄ツールをドラッグ
コレクションのリフレッシュ	<Ctrl>+<Alt>+<R>	<Apple>+<Alt>+<R>

- ・ 拡大 / 縮小

機能	ショートカットキー (Windows)	ショートカットキー (Macintosh)
拡大 / 縮小	<Ctrl>+<+>/<-> <Alt>+ ホイールを上 / 下にスクロール	<Apple>+<+>/<-> <Alt>+ ホイールを上 / 下にスクロール
シートをウィンドウに合わせる	<Ctrl>+<0>	<Apple>+>0>
実際のサイズに合わせる	<Ctrl>+<Alt>+<0>	<Apple>+<Alt>+>0>
選択部分をウィンドウに合わせる	<Ctrl>+<F>	<Apple>+<F>
選択した領域を拡大 / 縮小	<Ctrl>+ 投げ縄ツールをドラッグ	<Apple>+ 投げ縄ツールをドラッグ

- ・ ルーラーとグリッド

機能	ショートカットキー (Windows)	ショートカットキー (Macintosh)
ルーラーの表示 / 非表示	<Ctrl>+<R>	<Apple>+<R>
グリッドの表示 / 非表示	<Ctrl>+<G>	<Apple>+<G>

コンテキストメニュー

プレビューウィンドウのジョブ上で右クリックするとコンテキストメニューが表示され、「編集」メニューのコマンドを使用できます。

関連参照：

[「編集」メニュー](#)

プレビューの表示

「環境設定」の「ジョブをロードする時にプレビューを作成する」オプションはデフォルトで選択されています。このオプションを非選択にすると、ジョブをロードした際にプレビューにはグレーの四角形が表示されます。その場合は、以下の方法で選択したジョブ / コレクションのプレビューを表示させることができます。

- ・ ツールバーで「プレビューの計算」アイコンをクリックする。
- ・ 「ファイル」メニューから「プレビュー」を選択する。
- ・ ジョブリスト内でジョブ上で右クリックをする。表示されたコンテキストメニューで「プレビュー」を選択する。

上記のコマンドを使用すると、プレビューのアップデートもできます。回転、反転、拡大縮小設定は即時に反映されますが、カラー出力に影響する変更はすぐに表示されません。その場合はプレビューを更新する必要があります。

ステータスバー

ステータスバー

全ジョブ数: 1 選択: 1 処理中: 0 エラー: 0 EFI eXpress for Proofing ライセンス・タイプ: M-XXL

プログラムウィンドウの下に表示されているステータスバーから、合計ジョブ数とその詳細を確認できます。

- ・ ジョブリストにロードされたジョブ数
- ・ ジョブリストで選択されているジョブ数
- ・ 処理中のジョブ数
- ・ 処理中にエラーメッセージを発生したジョブ数

ほかに、実行中の EFI eXpress 製品と、プログラムがライセンスをインストールしているかデモモードで実行しているかを表示します。

Windows では、ロードされたジョブの合計数と印刷に失敗したジョブの数が、システムトレイにあるプログラムアイコンのツールチップに表示されます。

印刷

ここでは、EFI eXpress への様々な印刷方法を紹介します。これは、EFI eXpress に直接ファイルをロードして印刷するものから、アプリケーションを使用して EFI eXpress に印刷するものまでを含みます。



ここでは、EFI eXpress はすでにインストールされ設定されていることを想定しています。まだ EFI eXpress がインストールされていない場合には、先にインストールを済ませてください。

EFI eXpress には多くの印刷設定オプションがあります。最初は、ここに記載されたシンプルな設定での印刷を試してみることをお勧めします。印刷が実行され、EFI eXpress が確実に機能していることを確認された上で、業務上必要な設定を施したジョブの印刷に進んでください。



最初のテスト印刷では、シンプルなイメージファイルの使用をお勧めします。たとえば、テスト印刷でスポットカラーを含むジョブを印刷した場合、正しく印刷するには EFI eXpress でそれにあわせた設定をする必要があります。していないと印刷できないことがあります。この場合、問題の切り分けが困難になります。



EFI eXpress の使用では、ライセンスをインストールしておく必要があります。ライセンスをインストールしていない場合、印刷物には EFI eXpress がデモバージョンであることを示すスタンプが印刷されます。

関連参照：

[製品登録](#)

[EFI eXpress のセットアップ](#)

[サポートされるファイル形式](#)

サポートされるファイル形式

EFI eXpress は、次のファイル形式をサポートしています。

ファイル形式	EFI eXpress for Proofing	EFI eXpress for Photo
JPG	サポート	サポート
JPG2000	サポート	サポート
TIFF (RGB, L*a*b*, CMYK)	サポート	サポート
TIFF (インデックスカラー)	サポート	サポート
PS (コンポジットおよび色分解)	サポート	
PDF (コンポジットおよび色分解)	サポート	
ImagePDF	サポート	サポート
EPS (単一ファイル DCS)	サポート	

ファイル形式	EFI eXpress for Proofing	EFI eXpress for Photo
ImageEPS	サポート	サポート
PSD	サポート	サポート
BRP、RPF (EFI リモートプルーフコンテナファイル)	サポート	
RAW	サポート	サポート

EFI eXpress からの直接印刷

インストール時に「設定ウィザード」に従って設定を済ませている場合、EFI eXpress からの直接印刷の準備はすでにできています。

次の手順に従って、テスト印刷を実行してみてください。

EFI eXpress から直接印刷するには

- 1 プリンターに用紙をセットします。
- 2 EFI eXpress を起動します。
- 3 次のいずれかの方法でジョブをインポートします。
 - ツールバーの「ジョブのインポート」をクリックし、印刷するファイルを指定します。
 - 「ファイル：ジョブのインポート…」を選択し、印刷するファイルを指定します。
 - ジョブリストにマウスカーソルを移動し、右クリックをします。表示されたメニューから、「ジョブのインポート」を選択し、印刷するファイルを指定します。
 - 印刷するファイルをジョブリスト内にドラッグアンドドロップします。追加できるのは次のファイルやフォルダです。：
 - 画像ファイル
 - 画像ファイルを含むフォルダ
 - 画像ファイルや画像ファイルを含むフォルダのショートカット
 - Macintosh では、ドック上の EFI eXpress アイコンにファイルをドラッグアンドドロップすることもできます。
- 4 ジョブリストで、インポートしたジョブを選択し、次のいずれかの方法で印刷をします。
 - ツールバーの「処理・印刷する」アイコンをクリックします。
 - 「ファイル：印刷」を選択します。
 - ジョブリストでインポートしたジョブを選択した状態で右クリックをします。「印刷」を選択します。

ジョブがインポートされたらすぐに印刷されるようワークフローを設定しておく方法もあります。ワークフロー設定について詳細は、「ワークフロー」タブを参照してください。

関連参照：

[EFI eXpress のセットアップ
ユーザーインターフェイス](#)

Unidriver を使用した印刷

Unidriver を使用すると、Windows または Mac OS クライアントコンピューター上のアプリケーションから EFI eXpress に印刷できます。

Windows 版 Unidriver のインストール

Windows コンピューターに Unidriver をインストールして設定するには、次の手順に従ってください。

UNIDRIVER をインストールするには

Unidriver のインストーラーは、本製品付属のソフトウェア DVD 内に格納されています。

- 1 「EFI Unidriver.exe」 ファイルをコンピューターのデスクトップにコピーします。
- 2 「EFI Unidriver.exe」 ファイルをダブルクリックします。
- 3 画面に表示される指示に従って Unidriver をインストールしてください。

印刷前に、Unidriver を設定する必要があります。この設定は、すべての印刷ジョブのデフォルトとなります。アプリケーションから印刷する際に、設定を個別に変更することもできます。

UNIDRIVER を設定するには

次の設定を実行する前に、サーバーとなる EFI eXpress が起動していることを確認してください。

- 1 「プリンタと FAX」 で、「EFI eXpress Unidriver」 を選択して右クリックし、「プロパティ」 を選択します。

「EFI eXpress Unidriver のプロパティ」 ダイアログボックスが表示されます。

- 2 「全般」 タブで、「印刷設定」 をクリックします。

次のダイアログが表示されます。:

ログオンダイアログ



- 3 「タイプ」 で 「EFI eXpress」 が選択されていることを確認します。

- 4 EFI eXpress がインストールされているコンピューターの IP アドレスを入力し、「接続」をクリックします。



EFI eXpress が Unidriver からの印刷を許可しないように設定されていることがあります。この場合、エラーメッセージが表示され、以降の設定ができません。EFI eXpress の管理者に設定変更を依頼してください。

Unidriver の環境設定ダイアログボックスが開きます。

Unidriver 環境設定ダイアログ



最初にこのダイアログを開いた状態では、各タブには EFI eXpress でのデフォルトのオプション設定値が表示されています。各オプションをクライアントで使用したい値に変更してください。変更終了後、「自分の設定を使用する」チェックボックスを選択します。

- 5 「OK」をクリックして Unidriver の環境設定ダイアログを閉じます。
- 6 必要に応じて Unidriver を「通常使うプリンターに設定」してください。

アプリケーションからの印刷

以下で紹介する手順は一般的なものであり、実際にはアプリケーション毎に若干メニュー名や手順が異なる場合があります。

- 1 アプリケーションで、「ファイル」メニューから「印刷」または「プリント」などの印刷で使用するコマンドを選択します。
- 2 印刷ダイアログボックスで、出力先のプリンターとして「EFI eXpress Unidriver」が選択されていることを確認してください。

3 次のどちらかを実行します：

- ・ 印刷設定を変更する必要のない場合は、このまま通常通りの印刷を実行してください。
- ・ Unidriver の印刷設定を変更する場合、「プロパティ」を開き印刷設定をしてから印刷を実行します。



EFI eXpress に接続できないことを知らせるメッセージが表示されたら、「OK」をクリックしてそのダイアログを閉じます。EFI eXpress が起動していることを確認後、「Unidriver を設定するには」を参照して Unidriver と EFI eXpress の接続を確認します。

EFI eXpress が Unidriver からの印刷を許可していない場合には、EFI eXpress の管理者に印刷を許可するよう依頼してください。

Macintosh 版 Unidriver のインストール

Macintosh コンピューターに Unidriver をインストールして設定するには、次の手順に従ってください。

UNIDRIVER をインストールするには

Unidriver のインストーラーは、本製品付属のソフトウェア DVD 内に格納されています。

- 1 EFI Unidriver ファイルをコンピューターのデスクトップにコピーします。
- 2 EFI Unidriver ファイルをダブルクリックします。
- 3 画面に表示される指示に従って Unidriver をインストールしてください。

印刷前に、Unidriver を設定する必要があります。この設定は、すべての印刷ジョブのデフォルトとなります。アプリケーションから印刷する際に、設定を個別に変更することもできます。

UNIDRIVER を設定するには

次の設定を実行する前に、サーバーとなる EFI eXpress が起動していることを確認してください。

- 1 「プリンターとファクス」で、プラス (+) ボタンをクリックします。
- 2 「ほかのプリンター」タブ内のドロップダウンメニューで、「EFI eXpress Unidriver」を選択します。
- 3 「自動」タブで EFI eXpress のインストールされたコンピューターの IP アドレスを選択し、「追加」をクリックします。

EFI eXpress の IP アドレスが表示されない場合は、「手動」をクリックして EFI eXpress の IP アドレスを手入力し、「追加」をクリックしてください。

これで EFI eXpress Unidriver がインストールされ、印刷時に選択可能になります。

アプリケーションからの印刷

以下で紹介する手順は一般的なものであり、実際にはアプリケーション毎に若干メニュー名や手順が異なる場合があります。

- 1 グラフィックアプリケーションで、印刷またはプリントコマンドを実行します。
- 2 プリンターとして「EFI eXpress Unidriver」を選択します。

3 プルダウンメニューから、「EFI eXpress Unidriver」を選択します。

EFI eXpress Unidriver 選択画面の例



4 「設定の変更」 ボタンをクリックします。

Unidriver の環境設定画面が表示されます。

Unidriver 環境設定ダイアログ



最初にこのダイアログを開いた状態では、各タブには EFI eXpress でのデフォルトのオプション設定値が表示されています。各オプションをクライアントで使用したい値に変更してください。変更終了後、「自分の設定を使用する」チェックボックスを選択します。

5 「OK」 をクリックします。

印刷ジョブが EFI eXpress に送信されます。

ホットフォルダを使用した印刷

EFI eXpress Unidriver を使用しない場合は、ホットフォルダを使用し、ネットワーク経由でファイルを EFI eXpress に送信して印刷する方法があります。HotFolder に入れられたジョブは、あらかじめ HotFolder で設定されているオプション設定に従って EFI eXpress にインポートされます。

HOTFOLDER を設定するには

EFI eXpress の環境設定ダイアログで、以下を設定します。

- 1 「一般」 タブで、「ジョブ検出」 タブをクリックします。
- 2 「ホットフォルダを設定」 を選択します。
- 3 「ホットフォルダパス」 で「選択」 をクリックし、「フォルダの参照」 でホットフォルダとして使用するフォルダのパスを入力します。

フォルダは、ネットワーク上のどこにあってもかまいません。ただし、ホットフォルダを利用するユーザーが全員アクセス権利を持っているフォルダである必要があります。

- 4 「OK」をクリックします。
- 5 「一般」タブで、「ワークフロー」タブをクリックします。
- 6 印刷後のソースファイルの処理について以下の設定をします。

ソースファイルをホットフォルダから削除する - 印刷後、ホットフォルダに入れたジョブを削除するかを指定できます。

ここで言及している「ソースファイル」は、ホットフォルダに入れた処理前のファイルのことを指します。各クライアントワークステーションにあるオリジナルのファイルではありません。

- 7 出力ファイル、プレビューファイルの印刷後の処理についても設定します。

出力 / プレビューファイル - 「印刷の直後」を選択します。または、「...後に削除する」を選択し、保存する日数を指定します。

- 8 「OK」をクリックして「環境設定」ダイアログを閉じます。
- 9 ホットフォルダにジョブを投入します。

ホットフォルダ経由でインポートされたジョブは、EFI eXpress のジョブリストに表示され、環境設定ダイアログで指定された設定に従って処理されます。

関連参照：

[「ワークフロー」タブ](#)

[「ジョブ検出」タブ](#)

仮想プリンターを使用した印刷

クライアントコンピューターから EFI eXpress に印刷するには、仮想プリンターを使用する方法もあります。EFI eXpress を仮想プリンターとして設定した場合、クライアントコンピューター上のアプリケーションから仮想プリンターを選択できるようになります。



EFI eXpress がネットワーク上でプリンターとして表示されるには、EFI eXpress がインストールされているコンピューターに必要なプロトコルがすべてインストールされ、動作している必要があります。EFI eXpress を仮想プリンターとして設定するまえに、必要なプロトコルがインストールされていることを確認してください。

サポートプロトコル

次の表は、オペレーティングシステム毎のサポートプロトコルを示しています。

サポートプロトコル	Windows 2003/2008 Server	Windows XP	Windows Vista	Macintosh OS X
AppleTalk	はい*	はい*	はい*	はい
TCP/IP	はい*	はい*	はい*	はい
SMB	はい	はい	はい	いいえ

* デフォルト状態では使用できないことがあります。この場合、サービスを追加インストールする必要があります。

次の表では、使用している OS とプロトコルによって、仮想プリンターが使用可能かどうかを示しています。

Windows XP/Windows Vista クライアント 使用プロトコル	EFI eXpress 仮想プリンター OS			
	Windows 2003/2008 Server	Windows XP	Windows Vista	Macintosh OS X
AppleTalk	印刷不可	印刷不可	印刷不可	印刷不可
TCP/IP	印刷可能	印刷可能	印刷可能	印刷可能
SMB	印刷可能	印刷可能	印刷可能	印刷不可

Windows 2003 クライアント 使用プロトコル	EFI eXpress 仮想プリンター OS			
	Windows 2003/2008 Server	Windows XP	Windows Vista	Macintosh OS X
AppleTalk	印刷可能	印刷不可	印刷不可	印刷不可
TCP/IP	印刷可能	印刷可能	印刷可能	印刷可能
SMB	印刷可能	印刷可能	印刷可能	印刷不可

Macintosh OS X クライアント 使用プロトコル	EFI eXpress 仮想プリンター OS			
	Windows 2003/2008 Server	Windows XP	Windows Vista	Macintosh OS X
AppleTalk	印刷可能	印刷可能	印刷可能	印刷可能
TCP/IP	印刷可能	印刷可能	印刷可能	印刷可能
SMB	印刷可能	印刷可能	印刷可能	印刷不可

Macintosh OS 9 使用プロトコル	EFI eXpress 仮想プリンター OS			
	Windows 2003/2008 Server	Windows XP	Windows Vista	Macintosh OS X
AppleTalk	印刷可能	印刷可能	印刷可能	印刷可能
TCP/IP	印刷不可	印刷不可	印刷不可	印刷不可
SMB	印刷不可	印刷不可	印刷不可	印刷不可

EFI AppleTalk ドライバーのインストール

Windows XP Professional および Windows XP Home では、デフォルトでは AppleTalk をサポートしていません。本製品では、Windows XP 上で AppleTalk 印刷をサポートする、EFI AppleTalk ドライバーをソフトウェア DVD で提供しています。

EFI AppleTalk ドライバーをインストールすると、Mac OS から Windows XP にインストールされた EFI eXpress に印刷できるようになります。

EFI APPLE TALK ドライバーをインストールするには

- 1 Windows XP で「コントロールパネル」を開き、「ネットワーク接続」をダブルクリックします。現在使用している接続を選択して右クリックし、「ローカルエリア接続のプロパティ」を選択します。
- 2 「全般」タブで「インストール」をクリックします。
「ネットワークコンポーネントの種類を選択」が開きます。
- 3 「プロトコル」をダブルクリックします。
「ネットワークプロトコルの選択」画面が開きます。
- 4 「ディスク使用」をクリックし、EFI eXpress ソフトウェア DVD 内にある「netefiatalk.inf」を検索します。
- 5 「netefiatalk.inf」を選択し、「開く」をクリックします。画面に表示される指示に従ってドライバーのインストールを完了してください。
- 6 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面に戻り、「この接続は次の項目を使用します」をスクロールして、「EFI AppleTalk driver」が追加されていることを確認します。
- 7 「EFI AppleTalk driver」を選択し、「プロパティ」をクリックして「デフォルトアダプタ」に正しいネットワークカードが表示されていることと、「デフォルトゾーン」に AppleTalk ユーザが接続している AppleTalk ゾーンが割り当てられていることを確認してください。
- 8 すべてのダイアログを閉じて、Windows コンピューターを再起動します。

EFI AppleTalk ドライバー使用時には、次の注意事項に留意してください。

- 上記の手順7は必ず実行してください。「デフォルトアダプタ」として PC にインストールされているネットワークカードが設定されていない場合、EFI AppleTalk ドライバーは、正しく機能しないことがあります。
- EFI AppleTalk ドライバーのインストール後は、必ず Windows XP コンピューターを再起動してください。再起動を行わないと、EFI eXpress は EFI AppleTalk ドライバーを検出できません。
- 再起動後は、EFI eXpress はフォントダウンロードスプーラを実行可能になり、またホットフォルダを AppleTalk プリンターとして設定可能になります。フォントをダウンロードする場合は、ホットフォルダを AppleTalk プリンターとして設定する前に実行することをお勧めします。
- EFI eXpress は、EFI AppleTalk ドライバーのみをサポートしています。他の AppleTalk ドライバーが動作している場合には、アンインストールしてから EFI AppleTalk ドライバーをインストールすることをお勧めします。

関連参照：

[インストールフォルダー](#)

EFI eXpress の設定

クライアントコンピューターから EFI eXpress に印刷するには、EFI eXpress で設定を実行します。設定項目は、使用するプロトコルによって異なります。

EFI eXpress を仮想プリンターとして使用

TCP/IP または SMB プロトコルが EFI eXpress コンピューターにインストールされている場合、EFI eXpress は仮想プリンターとして使用できます。

EFI eXpress を仮想プリンターとして設定するには

「環境設定」ダイアログで以下の設定を実行します。

- 1 「一般」タブで、「ジョブ検出」をクリックします。
- 2 「ホットフォルダを設定」チェックボックスを選択し、ホットフォルダパスを指定します。
- 3 「仮想プリンタの設定」チェックボックスを選択し、「仮想プリンタ名」を指定します。

ここに指定した名前が、アプリケーションでの印刷時に「プリンタ名」として表示されます。デフォルトの名前 (EFI_eXpress) をそのまま使用するか、任意の名前を入力してください。



仮想プリンター名には、スペースは使用できません。

- 4 「OK」をクリックして「環境設定」ダイアログボックスを閉じます。
- 5 EFI eXpress が、共有プリンターに設定されていることを確認します。

- Windows の場合：

「プリンタとFAX」で EFI eXpress プリンターを選択し、右クリックして「プロパティ」を開きます。「共有」タブをクリックして「このプリンタを共有する」が選択されていることを確認します。

その後、プリンターがネットワーク上でユーザから見えることを確認します。

- Macintosh:

「プリントとファクス」で、仮想プリンターが表示され選択されていることを確認します。共有タブをクリックして「これらのプリンターを他のコンピューターと共有する」が選択されていることを確認します。

EFI eXpress 設定後には、クライアント側のコンピューターの設定が必要になります。詳細は、[TCP/IP または SMB 印刷をする場合](#) を参照してください。

EFI eXpress を AppleTalk スプーラとして使用

EFI eXpress を AppleTalk スプーラとして使用するには、AppleTalk プロトコルがコンピューターにインストールされている必要があります。AppleTalk は、Macintosh コンピューターで使用されるプロトコルです。EFI eXpress に印刷をするアプリケーションが Macintosh 上にインストールされており、印刷で AppleTalk プロトコルを使用する場合に AppleTalk スプーラを設定します。



Windows XP では、デフォルトでは AppleTalk をサポートしていません。EFI eXpress が Windows XP 上で動作をしている場合、EFI AppleTalk ドライバーをインストールする必要があります。インストール方法について詳細は、「[EFI AppleTalk ドライバーのインストール](#)」を参照してください。または、印刷に TCP/IP を使う方法もあります。

EFI eXpress を APPLE TALK スプーラとして使用するには

「環境設定」ダイアログで以下の設定を実行します。

- 1 「一般」タブで、「ジョブ検出」をクリックします。
- 2 「ホットフォルダを設定」チェックボックスを選択し、ホットフォルダパスを指定します。
- 3 「AppleTalk スプーラを起動」チェックボックスを選択し、「AppleTalk スプーラ名」に AppleTalk プリンター名を入力します。

ここに指定した名前が、アプリケーションでの印刷時に「プリンター名」として表示されます。デフォルトの名前 (EFI_eXpress) をそのまま使用するか、任意の名前を入力してください。

- 4 「OK」をクリックして「環境設定」ダイアログボックスを閉じます。

5 AppleTalk スプーラが、共有プリンターに設定されていることを確認します。

- Windows:
 - 「プリンタと FAX」 ダイアログボックスを開きます。
 - 「プリンタの追加」 をダブルクリックし、「プリンタの追加ウィザード」 で「次へ」 をクリックします。
 - 「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」 を選択し、「次へ」 をクリックします。
 - 「次のポートの使用」 を選択し、ドロップダウンリストから使用するポートを選択して「次へ」 をクリックします。
 - 「プリンタソフトウェアのインストール」 画面の「製造元」 で「EFI」 を選択します。次に、「プリンター」 から「EFI eXpress」 を選択して、次へをクリックします。
 - 「ディスク使用」 をクリックし、「フロッピーディスクからインストール」 で「参照」 をクリックします。
 - 本製品の DVD 内を検索し、Windows XP/Vista/Server 2003/Server 2008 用のドライバーが保存されているフォルダを開きます。
 - 「EFI_PRINT.inf」 ファイルを選択して「開く」 をクリックします。「OK」 をクリックして、「フロッピーディスクからインストール」 画面を閉じます。
 - 「プリンタソフトウェアのインストール」 で、「プリンタ」 リストから「EFI eXpress」 を選択し、「次へ」 をクリックします。
 - 「既存のドライバを使う」 ダイアログボックスが表示されたら、「現在のドライバを使う (推奨)」 を選択して、「次へ」 をクリックします。
 - 「プリンタ名」 に EFI eXpress プリンターの名前を入力します。
ここに入力した名前が、印刷ダイアログに表示されます。デフォルトのまま使用してもかまいませんし、特定の名称に変更することもできます。
 - 「このプリンタを通常使うプリンタとして使いますか？」 で適切なオプションを指定し、「次へ」 をクリックします。
 - 「プリンタ共有」 で、EFI eXpress が共有プリンターとして設定されていることを確認し、「次へ」 をクリックします。
 - 「場所とコメント」 で、必要に応じて EFI eXpress プリンターの場所と機能を定義します。「次へ」 をクリックします。
 - 「テストページの印刷」 で、必要に応じてテストページを印刷します。
 - 「完了」 をクリックします。
- Macintosh:
 - システム環境設定で「プリントとファクス」 をダブルクリックします。
 - 「印刷」 タブでプラス (+) ボタンをクリックし、プリンターブラウザダイアログを開きます。
 - 「ほかのプリンター」 をクリックします。
 - プルダウンメニューから、「AppleTalk」 を選択します。
 - プルダウンメニューから、使用する AppleTalk ゾーンを選択します。
 - プリンターリストで使用する AppleTalk スプーラを選択し、「追加」 をクリックします。

- ・「共有」タブを選択し、「これらのプリンタを他のコンピュータと共有する」チェックボックスが選択されていることを確認します。また、AppleTalk スプーラの横のチェックボックスも選択されていることを確認します。
- ・ダイアログをすべて閉じます。

EFI eXpress 側での設定終了後は、クライアント側の設定も必要になります。詳細については、[AppleTalk 印刷を実行する場合のクライアント設定](#)を参照してください。

関連参照：

[EFI AppleTalk ドライバーのインストール](#)

[クライアントコンピューター設定](#)

[ホットフォルダを使用した印刷](#)

クライアントコンピューター設定

EFI eXpress への印刷を開始する前に、クライアントコンピューターでの設定も実行する必要があります。以下では、Windows XP と Macintosh OS X 10.5 クライアントを例に取り、設定方法を説明しています。他のオペレーティングシステムでの設定については、メニュー名など若干異なる場合がありますが、概ね、以下の設定方法が使用できます。

関連参照：

[アプリケーションからの印刷](#)

TCP/IP または SMB 印刷をする場合

以下の設定をする前に、EFI eXpress で仮想プリンターの設定を済ませていることを確認してください。

WINDOWS クライアントから WINDOWS 上で動作している EFI eXpress に印刷するには？

EFI eXpress がインストールされている OS は？ -> Windows XP

クライアントコンピューターの OS は？ -> Windows XP

Windows 上に EFI eXpress をインストールした場合、共有プリンターが自動的に作成され、これを利用した印刷が可能になります。

- 1 「プリンタと FAX」ダイアログを開きます。
- 2 「プリンタの追加」をダブルクリックし、「次へ」をクリックします。
- 3 「ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 4 「ディレクトリ内のプリンターを検索する」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 5 「名前」に EFI eXpress のプリンター名を入力し「検索開始」をクリックします。
- 6 リスト内で EFI eXpress プリンターをダブルクリックします。
- 7 「このプリンタを通常使うプリンタとして使いますか？」で、任意のオプションを選択し、「次へ」をクリックします。
- 8 「完了」をクリックします。

これでクライアントからの印刷時に EFI eXpress をプリンターとして選択できるようになりました。

MAC OS X クライアントから MAC OS X 上で動作している EFI eXPRESS に印刷するには？

EFI eXpress がインストールされている OS は？ -> Mac OS X 10.5

クライアントコンピューターの OS は？ -> Mac OS X 10.5

この場合、設定は必要ありません。Mac OS X クライアント上のアプリケーションから、直接 EFI eXpress に印刷が可能です。

MAC OS X クライアントから WINDOWS 上で動作している EFI eXPRESS に印刷するには？

EFI eXpress がインストールされている OS は？ -> Windows XP

クライアントコンピューターの OS は？ -> Mac OS X 10.5

この場合は、Mac OS X に EFI eXpress.ppd ファイルをインストールする必要があります。

- 1 「システム環境設定」で「プリントとファクス」をダブルクリックします。
- 2 プラス (+) ボタンをクリックします。
- 3 「Windows」タブで Windows ドメイン名を選択し、続いて EFI eXpress がインストールされた Windows コンピューター名を選択します。
Windows ログオン画面が表示されます。
- 4 EFI eXpress がインストールされた Windows コンピューターのユーザ名とパスワードを入力し、「接続」をクリックします。
- 5 使用する仮想プリンターの名前を選択します。
- 6 「ドライバ」プルダウンメニューから「使用するドライバを選択」を選択し、「EFI eXpress」を検索します。「EFI eXpress」を選択し「追加」をクリックします。

EFI eXpress が使用可能プリンターリストに追加されます。これで、アプリケーションからの印刷時に EFI eXpress をプリンターとして選択できるようになります。

WINDOWS クライアントから MAC OS X 上で動作している EFI eXPRESS に印刷するには？

EFI eXpress がインストールされている OS は？ Mac OS X 10.5

クライアントコンピューターの OS は？ Windows XP

- 1 「プリンタと FAX」ダイアログを開きます。
- 2 「プリンタの追加」をダブルクリックし、「次へ」をクリックします。
- 3 「ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 4 「インターネット上または自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する」を選択します。
- 5 「URL:」に EFI eXpress がインストールされた Macintosh コンピューターの IP アドレスを入力し、ポート番号 631 を付与します。

たとえば次のように入力します。

http:// <EFI eXpress の IP アドレス> :631/printers/<仮想プリンター名>

- 5 LaserWriter 8 プリンターを選択します。

PostScript プリンターの一覧が表示されます。

- 6 一覧から EFI eXpress プリンターを選択します。

EFI eXpress を AppleTalk スプーラとして設定した際のプリンター名で選択します。

- 7 「作成」をクリックします。

PPD 選択画面が開きます。

- 8 手順 1 でコピーしておいた EFI eXpress 用の PPD をダブルクリックします。

PPD ファイルがグレー表示されていて選択できない場合、FileTyper または FileXaminer などのアプリケーションを使用してファイル属性を修正してください。

- 9 「セレクト」を閉じます。

EFI eXpress が使用可能なプリンターの一覧に追加され、アプリケーションで選択できるようになります。



MAC OS X10.5 クライアントから WINDOWS 上で動作している EFI EXPRESS に印刷するには？

EFI eXpress がインストールされている OS は？	Windows XP
クライアントコンピューターの OS は？	Mac OS X 10.5

- 1 EFI eXpress がインストールされた Windows で、Unix プリントサービスが稼働していることを確認します。

- ・「コントロールパネル」から、「プログラムの追加と削除」を起動します。
- ・「Windows コンポーネントの追加と削除」をクリックし、「Windows コンポーネントウィザード」を表示します。
- ・「コンポーネント」から「そのほかのネットワークファイルと印刷サービス」を選択して、「詳細」ボタンをクリックします。
- ・「UNIX 用印刷サービス」を選択して「OK」をクリックします。
- ・「次へ」をクリックして UNIX 用印刷サービスのインストールが終了するのを待ち、完了したら「完了」をクリックします。

- 2 「システム環境設定」で「プリントとファクス」をダブルクリックします。

- 3 プラス (+) ボタンをクリックします。

- 4 「AppleTalk」タブで印刷に使用する AppleTalk ゾーンを選択します。

- 5 一覧から EFI eXpress プリンターを選択します。

EFI eXpress を AppleTalk スプーラとして設定した際のプリンター名で選択します。

- 6 「追加」をクリックします。

EFI eXpress が使用可能なプリンターの一覧に追加され、アプリケーションで選択できるようになります。

アプリケーションからの印刷

アプリケーションから印刷するには、EFI eXpress が仮想プリンターまたは AppleTalk スプーラとして設定されている必要があります。

アプリケーションから印刷するには

1 EFI eXpress を起動します。



EFI eXpress が TCP/IP または SMB 印刷用に設定されている場合、EFI eXpress が起動していないとネットワーク内に EFI eXpress がプリンターとして表示されません。AppleTalk 印刷用に設定されている場合は、アプリケーションからプリンターを選択することはできませんが、プリンターが現在使用不可能であることを示すメッセージが表示されます。

2 アプリケーションで印刷するファイルを開き、印刷 / プリントコマンドを実行します。

3 プリンターとして EFI eXpress を選択し、必要に応じてオプションを指定し、「OK」をクリックします。

ジョブが EFI eXpress に送信され、ジョブリストに表示されます。

関連参照：

[TIFF へエクスポート](#)

[「TIFF エクスポート」タブ](#)

[仮想プリンターを使用した印刷](#)

カラーマネージメントの概要

本書ではカラーマネージメントの基本概念を紹介します。また、EFI eXpress 提供のカラーマネージメントシステムの仕組みを説明し、最良のカラー出力結果を得るためには適切なプロファイルの選択が重要であることを説明します。

カラーマネージメントの必要性

色の再現はデバイスに依存します。同じファイルを2つの異なるデバイスで出力すると、通常は異なるカラーで出力されます。同じ機種のパリンターでも、異なる出力となることがあります。

この問題を解決し、デバイス間の統一した色の再現を達成するために、プリプレス業界の50を超えるハードウェアおよびソフトウェア製造元で構成されている組織のICC (International Color Consortium) は、カラー管理システムの公認標準を定めています。この標準は、画像の作成から出力までの色の再現を管理するための一連のプロファイルに基づいています。

カラーマネージメントの詳細については、www.color.org を参照してください。

プロファイル

ICC 標準に準拠した正確なカラー出力を得るために、EFI eXpress ではメディアプロファイル、ソースプロファイル、シミュレーションプロファイルの3種類のプロファイルを使用します。

メディアプロファイル

メディアプロファイルは、印刷に使用するデバイスの色の再現の特性を記述しています。できるだけ広い色の範囲が使用できるように設定されています。

EFI eXpress では各プリンター用に数種類のメディアプロファイルが提供されています。「メディアセット」タブで特定のインクの種類、メディア名、印刷品質を選択すると、これらの設定に基づいて EFI eXpress は自動的に適切なメディアプロファイルを適用します。

メディアプロファイルはベースリニアリゼーションに基づいています。メディアプロファイルが作成された時のカラーの量（すなわち、最小のインク量で最大のカラー濃度を得るためのカラー値）の詳細が記述されています。

各メディアプロファイルは、特定のベースリニアリゼーション・ファイルに関連付けられています。ベースリニアリゼーション・ファイルはメディアプロファイルと一緒に自動的にロードされます。

ソースプロファイル

ソースプロファイルは、入力デバイスの色の再現の特性を記述しています。EFI eXpress では次のソースプロファイルが提供されています。

- CMYK ソースプロファイル

CMYK ソースプロファイルは印刷機の色を記述しています。適切な CMYK ソースプロファイルを選択することにより、従来の印刷機でのカラー出力結果がどのようなものになるかを確認することができます。

EFI eXpress では、次のプロファイルをロードすることができます。

- EFI eXpress で提供されている任意の ICC プロファイル
- ジョブを印刷する印刷会社により供給されている、特定の印刷機用の ICC プロファイル
- RGB ソースプロファイル

RGB ソースプロファイルを使用することにより、鮮明な品質の高いカラー出力を得ることができます。RGB ソースプロファイルは、より大きな色の範囲を適用してジョブを処理します。

CMYK ソースプロファイル

EFI eXpress では、次の CMYK ソースプロファイルが提供されています。

- ISO プロファイル

最新の ISO プロファイルについての詳細は、www.eci.org を参照してください。
ISOnewsmedia プロファイルについての詳細は、www.ifra.com を参照してください。

- PSR プロファイル

最新の PSR プロファイルについての詳細は、www.eci.org を参照してください。

- Indigo_HP3000Glos_exp05.icc

このプロファイルは HP Indigo 3000 印刷機用に作成されています。

RGB ソースプロファイル

EFI eXpress では、次の RGB ソースプロファイルが提供されています。

- ECI-RGB.V1.0.icc/ECI-RGB.v2.icc

このプロファイルは、ECI (European Color Initiative) の標準 RGB 色空間を記述しています。ECI-RGB は、CIELAB カラーデータを処理する際に発生する実際的な問題を避けるために、メディアに依存しないデータを格納している色の空間です。

このプロファイルについての詳細は、www.eci.org を参照してください。

- sRGB Color Space Profile.icm

このプロファイルを sRGB データの出力用に作成されています。sRGB は Microsoft 社および Hewlett-Packard 社の標準カラーシステムの RGB 色空間で、原色を定義しています。このプロファイルは sRGB データの出力に最適ですが、スキャナーやデジタルカメラからの一般的な RGB データの出力にも適しています。

- AdobeRGB1998.icc
このプロファイルは、アドビ社定義のデフォルトの RGB 作業用カラー空間を記述しています。
- PhotoGamutRGB_avg6c.icc
このプロファイルは、デジタルカメラやスキャナーからのファイルの印刷用に作成されています。レンダリングインテントの「相対カラーメトリック」と合わせて使用することにより、最良の出力結果が得られます。ただし、非常に大きな色空間を持ち、彩度の高いカラーを含むファイルの場合は、レンダリングインテントの「知覚」を選択するとよりよい印刷結果が得られることがあります。また、黒色点の補正が提供されている場合は、その機能を使用することをお勧めします。
このプロファイルについての詳細は、photogamut.org を参照してください。
- ProPhoto.icm
ROMM RGB としても知られている ProPhoto RGB 色空間は、Kodak 社定義の RGB 色空間で、特に広い色の範囲を持ち、写真の出力用にデザインされています。ProPhoto RGB 色空間は、CIE L*a*b* 色空間の表面カラーの 90% 以上を占め、現実世界の表面カラーのほぼ 100% を占めており、アドビ社定義の Wide Gamut RGB 色空間よりも広いものになっています。

マルチカラー・ソースプロファイル

EFI eXpress ではマルチカラー・ソースプロファイルは提供されていませんが、必要に応じて、所有しているマルチカラー・ソースプロファイルを使用してください。

シミュレーション (参照) プロファイル

シミュレーションプロファイルは、ユーザーのサイトのインクジェットプリンターで印刷機をシミュレートして印刷する場合の、シミュレート対象の印刷機のカラー特性を記述しています。EFI eXpress では一般的なプロファイルのセットが提供されています。

レンダリングインテント

EFI eXpress は、まずジョブに指定ソースプロファイルを適用して処理し、次にメディアプロファイルを適用してプリンターに出力します。この処理過程では、ジョブのカラーデータのある色空間から別の色空間への変換が行われます。

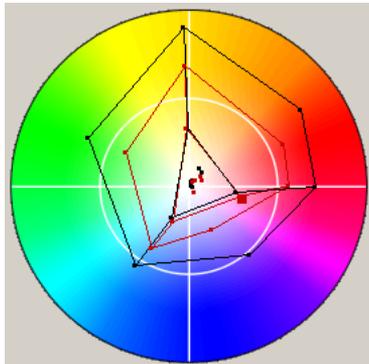
入力ファイルが CMYK 形式または RGB 形式で作成されたかどうかにかかわらず、EFI eXpress は、まずカラー値を L*a*b* に変換してから、ユーザーが使用するプリンターの CMYK 色空間に変換します。ここでの変換方法は、レンダリングインテントでの設定により異なります。

L*a*b* 色空間は、デバイスに依存しない色空間で、各カラーを数学的な値で表します。

それぞれの色空間は異なる色の範囲で定義されています。たとえば、RGB 色空間は CMYK 色空間に比べて、より広い色の範囲で定義されています。RGB 色空間は、より広い範囲のカラーを表示することができます。このため、写真などの RGB 画像は CMYK 色空間で作成した画像よりも鮮明なカラーで表示されます。

カラーを異なる色空間に変換すると、ソース色空間のカラーのうちで、ターゲット色空間の色の範囲外にあるカラーは表示されない可能性があります。

L*a*b* 色空間



この問題は、適切なレンダリングインテントを選択することにより、解決することができます。レンダリングインテントは、ソース色空間のカラーがターゲット色空間の色の範囲のカラーに変換される方法を定義します。

たとえば、ソース色空間のカラーを変換する際に、ターゲット色空間の色の範囲内にあるカラーをそのままにしておくか、色の範囲全体を縮小してターゲット色空間に合わせ、再現する色の範囲全体を保持するかどうかを定義することができます。

各出力デバイスは異なる色の範囲を持つため、同じ機種のパリンターでもカラーの出力は異なります。

EFI eXpress では、使用しているプリンターの色の範囲を調整して、シミュレーション対象の参照プリンター（または印刷機）の色の範囲に変換するためにレンダリングインテントを使用します。

EFI eXpress では、次のレンダリングインテントが提供されています。

- 相対カラーメトリック（用紙白無視）

「相対カラーメトリック」は、ソース色空間の白色点とターゲット色空間の白色点を比較し、すべてのカラーを調整します。ターゲット色空間の色の範囲内にあるすべてのカラーは正確に再現されます。ターゲット色空間の色の範囲外にあるカラーは、色の範囲内の最も近いカラーで置換されます。

このレンダリングインテントは、用紙は用紙白のない画像のプルーフに適しています

- 絶対カラーメトリック（用紙白計算）

「絶対カラーメトリック」では、ターゲット色空間の色の範囲にあるカラーは変更されないため、ターゲット色空間内のカラーの正確さが保持されます。ただし、ターゲット色空間の色の範囲がソース色空間の色の範囲よりも小さい場合、ソース色空間の二つの異なるカラーがターゲット色空間内の同じカラーにマッピングされる可能性もあります。

このレンダリングインテントは、用紙白シミュレーションのプルーフに適しています。

用紙白シミュレーションでは、参照メディアのカラーもシミュレートされます。たとえば、「絶対カラーメトリック」を選択して新聞紙用のプロファイルを選択すると、新聞紙のカラーをシミュレートしたグレーの背景に画像が印刷されます。

- 知覚

「知覚」では、人間の目で自然に見えるカラーの関係を保持し、すべてのソース色空間のカラーはターゲット色空間の色の範囲に入るように縮小されます。すべてのカラーに影響が及ぶため、ターゲット色空間の色の範囲内にあり、通常は正しく再現されるカラーも縮小されます。このレンダリングインテントでは、シャドウの詳細が保持されます。

このレンダリングインテントは、たとえば写真の印刷など、カラーの正確な出力よりも、できるだけ広い色の範囲を確保することが重要とされる場合に最適です。正確なカラーの出力が要求されるプルーフにはお勧めできません。

- 彩度

「彩度」では、カラーの出力の正確さよりも、鮮明なカラーの保持が重要となります。ソース色空間のカラーはターゲット色空間の色の範囲に合わせて縮小されますが、色相よりも相対的な彩度が優先されます。そのためターゲット色空間がソース色空間よりも小さい場合、色合いが少しシフトする可能性があります。

このレンダリングインテントは、主にビジネスグラフィック用にデザインされています。ビジネスグラフィックでは、写真画像などで重要とされるカラー間の正確な関係よりも、明るく彩度の高いカラーが重要となります。

- 相対カラーメトリックおよび絶対カラーメトリックと黒色点の補正

ソース色空間の黒色点がターゲット色空間の黒色点と大きく異なる場合は、「相対カラーメトリック」および「絶対カラーメトリック」レンダリングインテントに加えて黒色点の補正を適用することができます。

黒色点の補正では、ソース色空間のダイナミックな色の範囲がターゲット色空間のダイナミックな色の範囲にマッピングされます。ただし、ソース色空間の黒色点がより暗いカラーに設定されている場合は、変換によりコントラストが失われてしまうことがあります。

黒色点の補正機能を使用すると、グレーのシャドウが現れることがあります。ただしこの機能は、ソース色空間の暗い黒色点に適用すると良い結果が得られることがあります。

ソース色空間の最も暗い黒色点がターゲット色空間の黒色点よりも暗い場合、黒色点補正を適用すると、より詳細なシャドウを表示することができ、色の範囲のクリッピングを避けることができます。ただし、黒色点の違いをシャドウ部分の詳細な表示で校正すると、ターゲット色空間のシャドウエリアから離れてしまうため、印刷結果は視覚的にはより良く見えますが、測定したカラー値は期待通りのものでないことがあります。

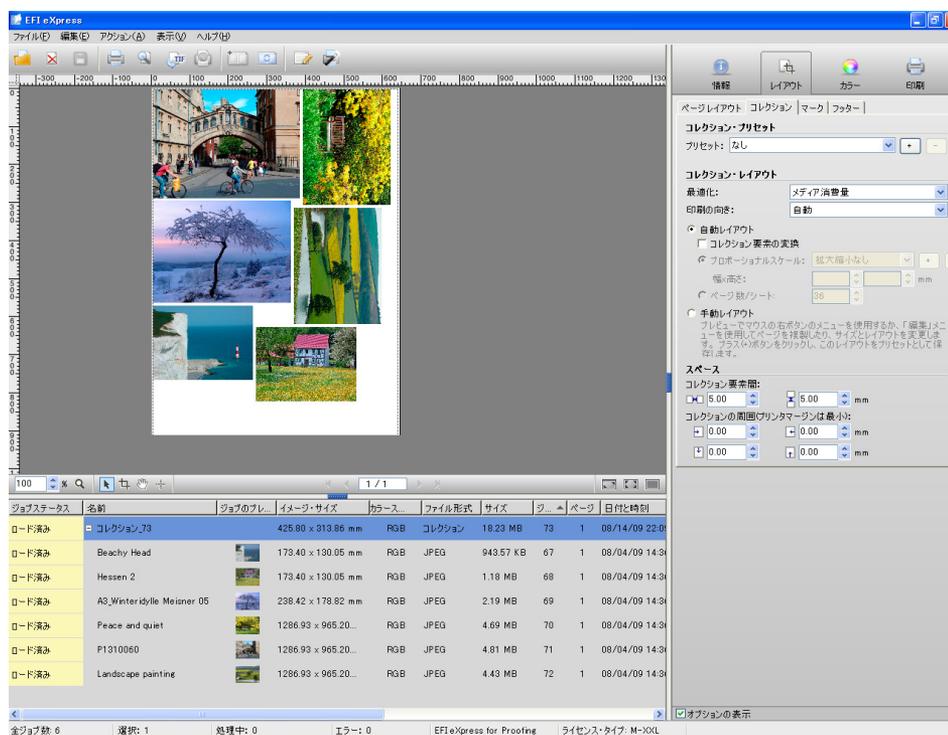
設定方法

本書では、EFI eXpress が提供している重要な機能の設定方法を説明しています。

コレクション

コレクション機能を使用すると、シート上に複数のジョブを配置して一つのジョブとして出力することができます。

コレクションジョブ



ジョブを集めてコレクションジョブとして出力する場合の利点は、次の通りです。

- メディアを節約できます。
- 一つの大きな印刷ジョブにまとめて、夜中など都合のいい時間に出力することにより、ジョブの印刷が仕事の流れの妨げになるのを回避できます。

コレクション機能の設定

EFI eXpress のコレクション機能では、次の作業を行うことができます。

- ロード済みジョブを集めてコレクションジョブを作成します。
- 自動コレクションのワークフローを設定します。

ロード済みジョブからコレクションジョブを作成するには

- 1 一つまたは複数のジョブを EFI eXpress にロードします。

コレクションジョブには、EFI eXpress でサポートされているどのファイル形式のジョブでも含めることができます。

- 2 ジョブ一覧で、コレクションジョブに含めるジョブを選択します。

- 3 次のいずれかを行います。

- 「ファイル」メニューから「新規コレクション」を選択します。
- ツールバーで「新規コレクション」アイコンをクリックします。
- ジョブを右クリックし、メニューから「新規コレクション」を選択します。

ジョブ一覧にコレクションジョブが作成されます。コレクションジョブのファイル名は、「コレクション_ (連番)」(たとえば、コレクション_42) と表示されます。コレクションジョブを開いて内容を表示したり、閉じたりすることもできます。非表示にしている場合、コレクションジョブのファイル名は表示されますが、ジョブ内のページは表示されません。ジョブ内のページを表示するには、コレクションジョブ名の左の「+」ボタンをクリックしてください。

コレクションジョブのページは、最初はデフォルトのコレクション設定に従って配置されますが、「プリセット」メニューから既定のコレクション・プリセットを選択して異なる配置で表示することもできます。また、ユーザー定義のレイアウトをコレクション・プリセットとして保存しておいて使用することもできます。コレクション設定についての詳細は、「[コレクション](#)」タブを参照してください。

自動コレクションのワークフローを設定するには

ジョブ一覧のすべてのジョブをコレクションジョブとして出力したい場合は、自動コレクションワークフローを設定しておくことができます。

「環境設定」ダイアログボックスで次の設定を行います。

- 1 「一般」>「ワークフロー」タブをクリックします。
- 2 「自動的にコレクションを行うまでの時間」にチェックマークを付け、コレクションが始まるまでの時間 (分) を設定します

「2」と入力すると、2分間以内にロードされたジョブが、コレクションジョブとして出力されます。2分経過後にロードされたジョブは、次のコレクションジョブに含まれます。

- 3 必要に応じて、「ジョブを自動的に印刷する」を選択します。

このオプションを選択しておくで、設定時間が経過すると自動的にコレクションジョブの印刷が開始します。この項目を非選択にすると、ジョブの印刷を行う前にプロパティ・インスペクターでジョブ固有の設定やコレクションジョブの設定を変更することができます。

- 4 「レイアウト」>「コレクション」タブをクリックします。

「コレクション」タブでは、各ジョブの配置など詳細な設定を行うことができます。

- 5 「OK」をクリックして「環境設定」ダイアログボックスを閉じます。

- 6 EFL eXpress に一つまたは複数のジョブをロードします。

「環境設定」ダイアログボックスでの設定に基づいて、コレクションジョブが自動的に作成されます。

複製ページの作成

複製ページ機能を使用すると、コレクションジョブのページの複製を作成することができます。各複製ページに異なるジョブのプロパティを設定し、コレクション・プリセットとして保存しておくこともできます。

複製ページを作成するには

- 1 コレクションジョブ内で、一つまたは複数の複製ページを選択します。

- 2 次のいずれかを行います。

- 「編集」メニューから「複製」を選択します。
- ジョブを右クリックし、メニューから「複製」を選択します。

複製ページが表示されます。

- 3 必要に応じてジョブ設定を変更し、プレビューを更新します。

- ツールバーで「コレクションの更新」アイコンをクリックします。
- 「ファイル」メニューで「コレクションの更新」を選択します。



複数の複製ページ設定を含む、コレクション・プリセットを保存しておくこともできます。

複製ページを削除するには

- 1 コレクションジョブ内で、一つまたは複数のページを選択します。

- 2 次のいずれかを行います。

- 「編集」メニューから「複製の削除」を選択します。
- ジョブを右クリックし、メニューから「複製の削除」を選択します。

選択した複製ページが削除されます。



オリジナルページを削除すると、そのページに関連したすべての複製ページも削除されます。

- 3 プレビューを更新します。

- ツールバーで「コレクションの更新」アイコンをクリックします。
- 「ファイル」メニューで「コレクションの更新」を選択します。

ページの整列・分布および位置揃え機能の使用

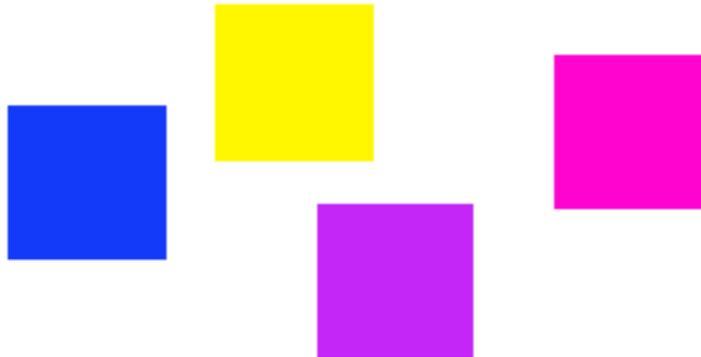
ページの整列・分布および位置揃え機能を使用して、コレクションジョブ内のページのエッジや中央を揃えて配置することができます。

ページを揃えて配置するには

1 複数のページを選択します。

プレビュー画面で <Shift> キーを押しながら、またはジョブ一覧で <Ctrl> キーを押しながらページをクリックして複数のページを選択します。

ランダムに配置されたページ

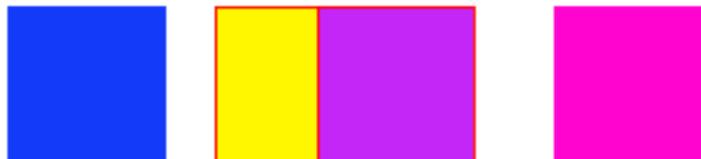


2 「編集」メニューから整列または分布タイプを選択します。

ロール紙を使用する場合は、縦の整列・分布（上、下、中央）は選択できません。

次の図では、ページの上エッジを揃えた配置を示しています。

上エッジを揃えた配置



3 配置を更に変更するには、変更するページを選択します。

4 「編集」メニューから位置揃えタイプを選択します。

位置揃えタイプでは、ページの中央を揃えて配置します。

次の図は、ページの中央を横に揃えた配置を示しています。

ページ中央を横に揃えた配置



コレクション設定の変更

コレクションを作成した後で、ジョブを印刷する前に、レイアウトを変更したりページを追加または削除することができます。



自動コレクションを設定しているジョブの設定を変更する場合は、まずツールバーの「処理と印刷をキャンセル」アイコンをクリックして、処理を中止する必要があります。

コレクションのレイアウトを変更するには

- 1 ジョブ一覧でコレクションジョブを選択します。
- 2 「レイアウト」>「コレクション」タブを選択します。
印刷の向きやレイアウトなどの設定を変更します。
- 3 コレクションのプレビューを更新します。
 - ツールバーで「コレクションの更新」アイコンをクリックします。
 - 「ファイル」メニューで「コレクションの更新」を選択します。

コレクションにジョブを追加するには

- 次のいずれかを行います。
 - ジョブ一覧でコレクションジョブを右クリックし、メニューから「コレクションにジョブを追加」を選択します。
 - ジョブ一覧でジョブを選択し、コレクションジョブまでドラッグしてドロップします。
 - ネットワーク上またはローカルのハードディスク上でファイルを選択し、ジョブ一覧のコレクションジョブまでドラッグしてドロップします。
- プレビューは自動的に更新されます。

コレクション内のページの順序を変更するには

シート上のページは、別のページと差し替えることができます。差し替えページは、差し替え先のページの位置とレイアウト設定に関する属性も引き継ぎます。

- 1 「レイアウト」>「コレクション」タブで「手動レイアウト」を選択します。
 - 2 「表示」メニューで「表示オプション」を選択し、サブメニューから「コレクション情報」を選択して、コレクション内のジョブの ID 番号を表示します。
 - 3 1 つ以上のページを含むコレクションシートでページを選択します。
1 ページ以上選択しないように注意してください。
 - 4 次のいずれかを行います。
 - 「編集」メニューで「ページの使用」を選択し、置換するジョブの ID 番号を選択します。
 - 選択したページを右クリックし、メニューから「ページの使用」を選択してから置換するジョブの ID 番号を選択します。
- プレビューは自動的に更新されます。

コレクションからジョブを削除するには

1 次のいずれかを行います。

- ジョブ一覧で削除するジョブを右クリックし、メニューから「ジョブを削除」を選択します。
- ジョブ一覧で削除するジョブを選択し、ツールバーで「ジョブの削除」アイコンをクリックします。
- ジョブ一覧で削除するジョブを選択し、「ファイル」メニューから「ジョブを削除」を選択します。

2 確認画面で「はい」をクリックします。

プレビューは自動的に更新されます。



ジョブを削除せずにコレクションジョブから除去することもできます。ジョブ一覧でジョブを右クリックし、メニューから「ジョブをコレクションから移動」を選択します。ジョブはジョブ一覧内でコレクションジョブの外に移動します。

コレクションを削除するには

1 次のいずれかを行います。

- ジョブ一覧でコレクションを右クリックし、メニューから「ジョブを削除」を選択します。
- ジョブ一覧でコレクションを選択し、ツールバーで「ジョブの削除」アイコンをクリックします。
- ジョブ一覧でコレクションを選択し、「ファイル」メニューから「ジョブを削除」を選択します。

2 確認画面で「はい」をクリックします。

クロッピング

クロッピング（切り取り）機能を使用すると、ページ全体を印刷せずにある特定の領域のみを出力することができます。

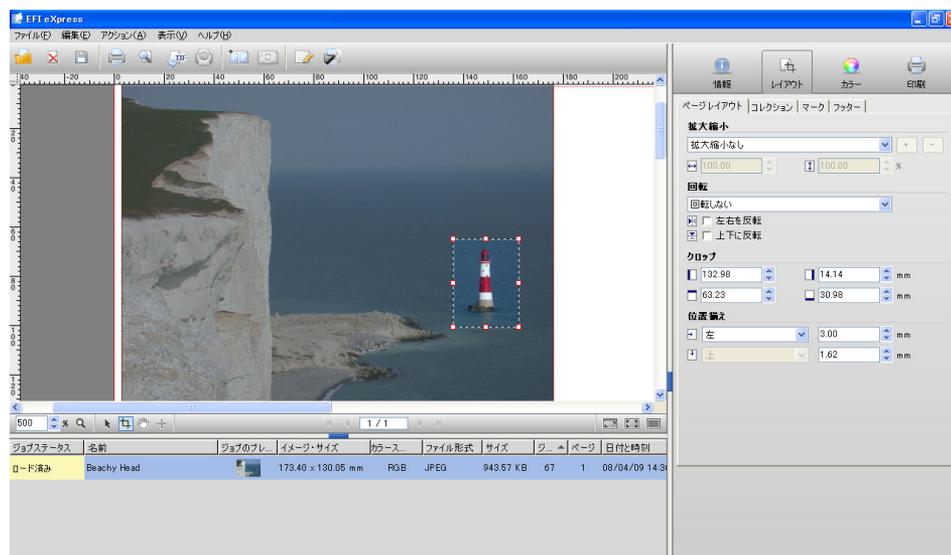
関連参照：

[コレクション・レイアウト](#)

クロップツールの使用

ページ上の特定の領域をクロップするには、まずプレビュー画面下のツールバーで「クロップツール」ツールをクリックします。それから、プレビュー画面でマウスボタンを押してカーソルをドラッグし、切り取る領域を設定します。「十字線の表示」ツール、ガイド、スナップ機能などを使用するとより正確に領域を選択することができます。

クロップ領域の定義



クロップ領域の位置を変更するには

- クロップ領域の内側をクリックし、カーソルをドラッグします。

クロップ領域のサイズを変更するには

- ページの端のノードにカーソルを持っていき、カーソルをドラッグします。

クロップ領域の選択をキャンセルするには

- 次のいずれかを行います。

- <Esc> キーを押します。
- 「編集」メニューで「ページのリセット」を選択します。
- クロップ領域を右クリックし、メニューから「クロップのキャンセル」を選択します (Windows)。
- <Ctrl> キーを押し、メニューから「クロップのキャンセル」を選択します (Mac OS)。

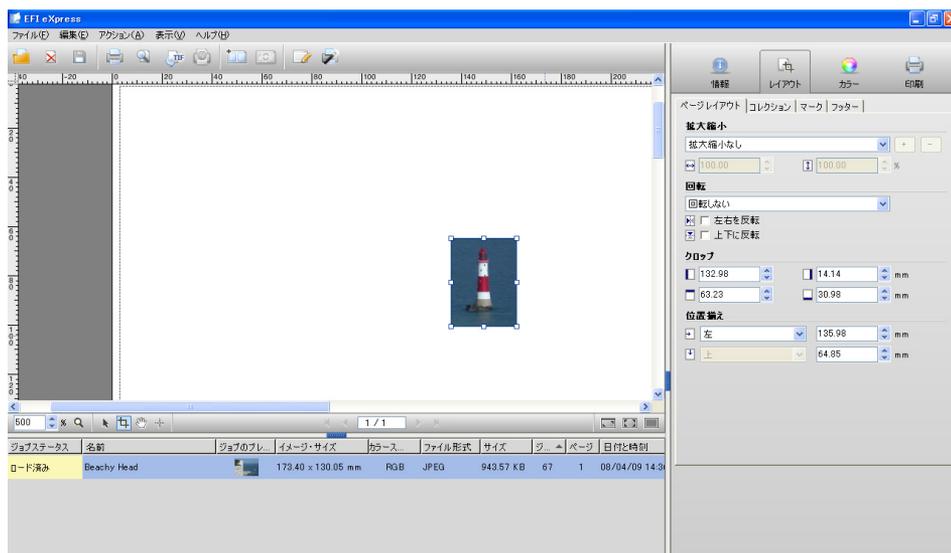
クロップ領域のサイズと位置が決まったら、ページのクロップを行います。

ページをクロップするには

- 次のいずれかを行います。
 - <Enter> キーを押します。
 - クロップ領域でマウスボタンをダブルクリックします。
 - クロップ領域でマウスを右クリックし、メニューから「クロップの適用」を選択します (Windows)。
 - <Ctrl> キーを押し、メニューから「クロップの適用」を選択します (Mac OS)。

クロップマークは、新しくクロップされた領域にも表示されます。

クロップ適用済みページ



クロップを適用した後で結果が思い通りではない場合は、ページをリセットしてクロップをキャンセルすることができます。

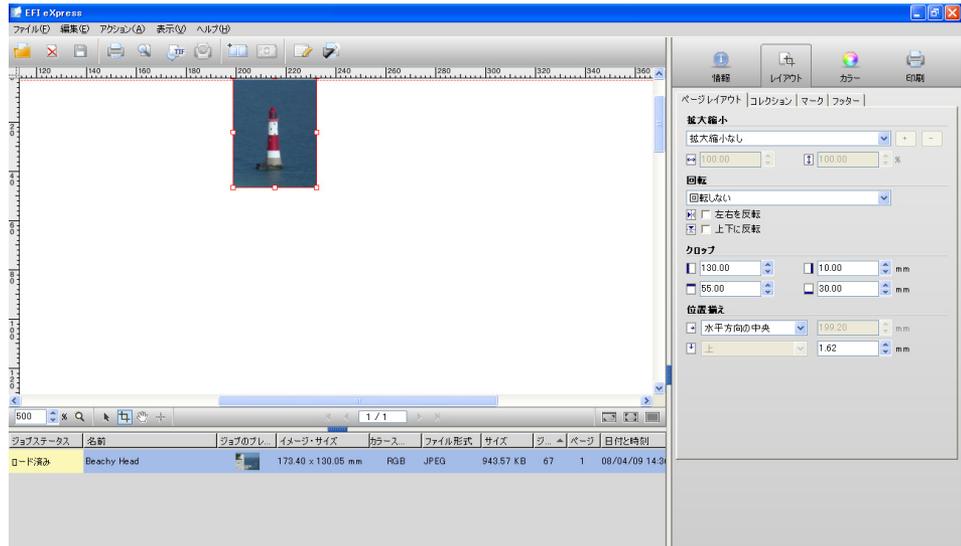


また、クロップ領域のハンドルの一つを選択してカーソルをドラッグすることによって、クロップサイズを変更することもできます。

クロープマーゼンの定義

「レイアウト」>「ページレイアウト」タブでは、上下左右のマーゼンを定義してページのクロープを行うことができます。

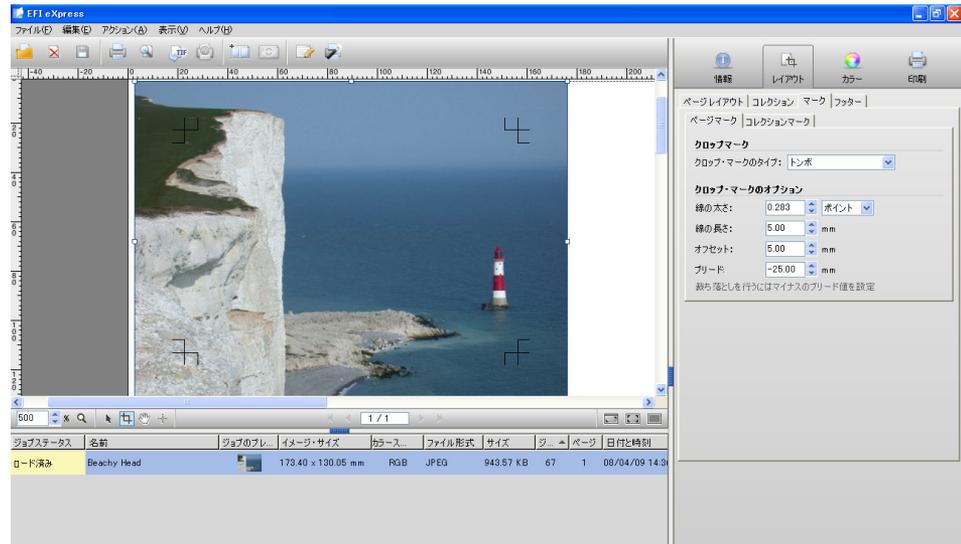
クロープマーゼンの定義



クロープマーケの位置

「レイアウト」>「マーク」タブで負のブリード値を定義すると、印刷後にページのふちを裁ち落とすように設定し、クロープマーケを配置することができます。

クロープマーケの定義



この方法では、ページがフルサイズで印刷されます。上下左右に異なる幅のマーゼンを定義することはできません。

スポットカラー

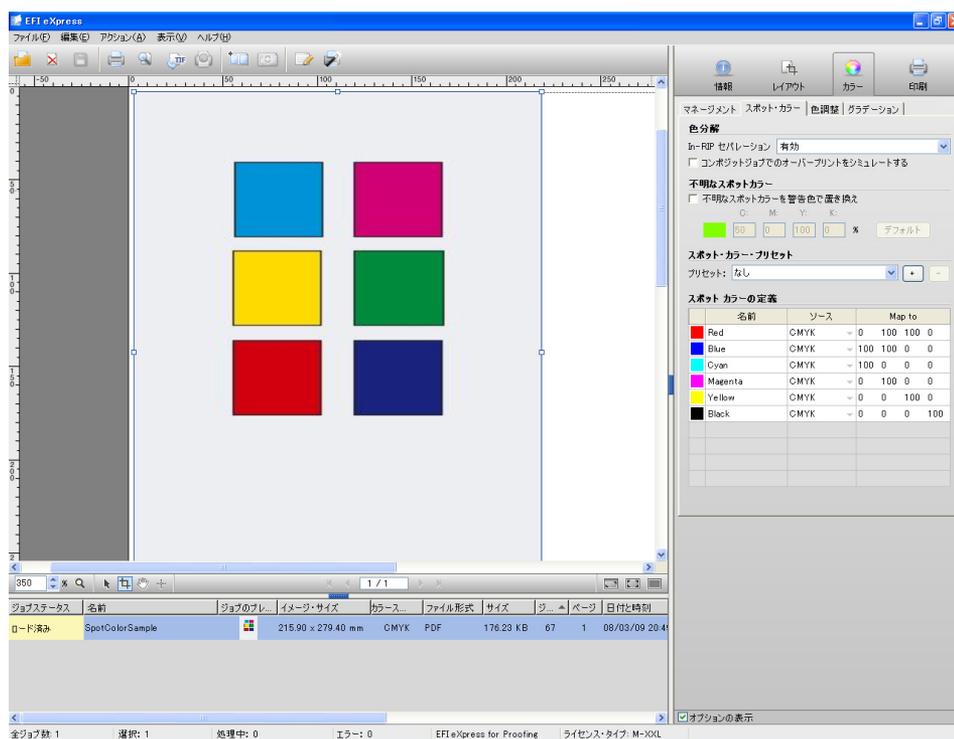
スポットカラーとは、印刷機で使用する特定のカラー用に特別に混合して作成したインクを指します。これに対し、CMYK4色のインクを使用して再現するカラーはプロセスカラーと呼ばれます。スポットカラーを使用すると、プロセスカラーに比べてより鮮やかな広範囲のカラーを再現することができます。通常、会社のロゴなどはスポットカラーを使用して印刷します。

多くのスポットカラー製造元が、スポットカラーを製造して、印刷スワッチブック付きで提供しています。EFI eXpress はこれらのスポットカラーを内蔵テーブルでサポートしています。

スポットカラーを含むジョブを処理するには、次の作業が必要です。

- EFI eXpress でスポットカラーを定義する。
- EFI eXpress で、未定義のスポットカラーを警告色で置換するように設定する。

スポットカラーの処理



新規スポットカラーのプリセットを作成するには

ジョブの中で同じスポットカラーを頻繁に使用する場合は、スポットカラーのプリセットを作成してワークフローの中に組み込んでおくことができます。

「環境設定」ダイアログボックスで次の設定を行います。

- 1 「カラー」 > 「スポットカラー」 タブをクリックします。

初めて使用する場合、スポットカラーのプリセットでは「なし」が表示されます。

2 「スポットカラーの定義」テーブルで、「名前」欄の最初の空白行をクリックします。

「タイトルのないスポットカラー」が表示されます。

3 スポットカラーの名称を入力します。

グラフィックアプリケーションで使用されているスポットカラーと同一の名称を入力してください。

4 「ソース」欄で矢印をクリックして、リストボックスを開きます。

5 スポットカラーの定義方法を選択します。

「CMYK」、「CMYKRGB」、「CMYKOG」、「L*a*b*」、スポットカラーの製造元名、または「PRINTER」を選択します。

使用しているプリンターにスポットカラー用の追加インク容器を装着できる場合は、「PRINTER」を選択します。「PRINTER」を選択すると、ジョブの処理にカラーマネージメントでの設定は適用されず、プリンターのインクを使用して印刷されます。



「CMYK/Lab リンク」を選択すると、あるカラーを他のカラーにマッピングすることができます。たとえば、会社のロゴに使用しているスポットカラーが、グラフィックアプリケーションで二つの異なる名称で定義されている場合などに、このオプションを使用してください。「CMYK/Lab リンク」を使用するには、少なくともユーザー定義のCMYKまたはL*a*b* スポットカラーが、すでに定義されプリセットの中に組み込まれている必要があります。

6 「Map to」欄でスポットカラーのカラー値を定義します。

- 「CMYK」、「CMYKRGB」、「CMYKOG」および「L*a*b*」に適切な色空間のカラー値を入力します。

スポットカラーの製造元から提供されている名称付きカラーは、下向き矢印をクリックしてリストボックスから適切なカラーを選択します。この設定を使用すると、グラフィックアプリケーションで不適切に名称付けられているスポットカラーも簡単にマッピングし直すことができます。

スポットカラー製造元提供の
名称付きカラーにリンクする

	名前	ソース	Map to
	EFI Blue	PANTONE	PANTONE BLUE 072 C
	EFI Logo	PANTONE	PANTONE BLUE 072 C

- 「CMYK/Lab リンク」を選択する場合は、下向き矢印をクリックして、同じプリセットから他のスポットカラーを選択します。これにより二つのカラーの間にリンクが作成されます。定義されたスポットカラーを変更すると、リンク付けされたカラーも自動的に変更されます。



マップ先のスポットカラーが定義されていない場合、リストボックスには何も表示されません。

次の図はこの設定の使用例です。

他のスポットカラーにリンク
する

	名前	ソース	Map to
	EFI Blue	CMYK	60 38 0 40
	EFI Logo	CMYK/Lab	EFI Blue

7 「スポットカラー・プリセット」欄で「+」ボタンをクリックし、名前を定義します。

既存のプリセットを上書きしないように、固有の名前を付けてください。スポットカラープリセットは、bct形式で保存されます。プリセットはリストボックスから選択します。

8 リストボックスでプリセットが選択されていることを確認します。

この後でジョブをロードする際に、ジョブ内のスポットカラーが指定プリセット内で定義されている場合は、そのスポットカラーが直ちに認識されます。



ジョブ内のスポットカラーが指定プリセット内で定義されていない場合は、「情報」タブでエラーメッセージが表示され、ジョブの処理は中止されます。次の手順に従って、ロードするジョブのスポットカラーを定義してください。

ロードするジョブのスポットカラーを定義するには

定義されていないスポットカラーを含むジョブをロードすると、「情報」タブにエラーメッセージが表示されます。ジョブの処理を続行するためには、スポットカラーをプロパティ・インスペクターで定義する必要があります。

サポートされているスポットカラーの製造元が提供しているスポットカラー（TOYO、DIC、PANTONE、HKSなど）については、ファイルを作成したグラフィックアプリケーションで使用している名称と、スポットカラーの製造元により定義されている名称が一致する場合、EFI eXpressによって自動的に認識されるため、定義する必要はありません。

1 「カラー」>「スポットカラー」タブをクリックします。

すべての検知されたカラー（プロセスカラーおよびスポットカラー）は、スポットカラーの定義テーブルに表示されます。定義されていないスポットカラーは、「ソース」欄で「不明」として表示されます。



不明のスポットカラーが既存のプリセットで定義されている可能性もあります。この場合は、リストボックスから適切なプリセットを選択してください。スポットカラーが正しく認識されるためには、ジョブ一覧でジョブが選択されていて、プレビューの更新が行われていることを確認してください。プレビューが正しく表示されている場合は、ジョブを出力することができます。新規のスポットカラーを定義するには、次の手順に従ってください。

2 名称未定のスポットカラーの「ソース」欄で矢印をクリックしてリストボックスを開きます。

3 スポットカラーの定義方法を選択します。

「CMYK」、「CMYKRGB」、「CMYKOG」、「L*a*b*」、スポットカラーの製造元名、または「PRINTER」を選択します。

使用しているプリンターにスポットカラー用の追加インク容器を装着できる場合は、「PRINTER」を選択することができます。「PRINTER」を選択すると、ジョブの処理にカラー管理は適用されず、プリンターのインクを使用してスポットカラーが印刷されます。



「CMYK/Labリンク」を選択すると、一つのカラーを他のカラーにマッピングすることができます。たとえば、会社のロゴに使用しているスポットカラーが、グラフィックアプリケーションで二つの異なる名称で定義されている場合などに、このオプションを使用してください。「CMYK/Labリンク」を使用するには、少なくとも一つのユーザー定義のCMYKまたはL*a*b*スポットカラーがすでに定義され、プリセットの中に組み込まれている必要があります。

4 「Map to」欄でスポットカラーの値を定義します。

- 「CMYK」、「CMYKRGB」、「CMYKOG」および「L*a*b*」で、適切な色空間のカラー値を入力します。
- スポットカラーの製造元から提供されている名称付きカラーは、下向き矢印をクリックし、リストボックスから適切なカラーを選択します。この設定を使用すると、グラフィックアプリケーションで不適切に名称付けられているスポットカラーも簡単にマッピングし直すことができます。

スポットカラー製造元提供の
名称付きカラーにリンクする

	名前	ソース	Map to
	EFI Blue	PANTONE	PANTONE BLUE 07
	EFI Logo	PANTONE	PANTONE BLUE 07

- 「CMYK/Lab リンク」を選択する場合は、下向き矢印をクリックして、同じプリセットから他のスポットカラーを選択します。これにより二つのカラーの間にリンクが作成されます。定義されたスポットカラーを変更すると、リンク付けされたカラーも自動的に変更されます。
- マップ先のスポットカラーが定義されていない場合、リストボックスには何も表示されません。

次の図はこの設定の使用例です。



他のスポットカラーにリンク
する

	名前	ソース	Map to
	EFI Blue	PANTONE	PANTONE BLUE 07
	EFI Logo	PANTONE	PANTONE BLUE 07

5 「スポットカラー・プリセット」欄で「+」ボタンをクリックし、名前を定義します。

既存のプリセットを上書きしないように、固有の名前を付けてください。スポットカラーのプリセットは、bct形式で保存されます。プリセットはリストボックスから選択します。

6 リストボックスでプリセットが選択されていることを確認します。

7 スポットカラーが正しく認識されるように、ジョブ一覧でジョブが選択されていて、プレビューの更新が行われていることを確認します。

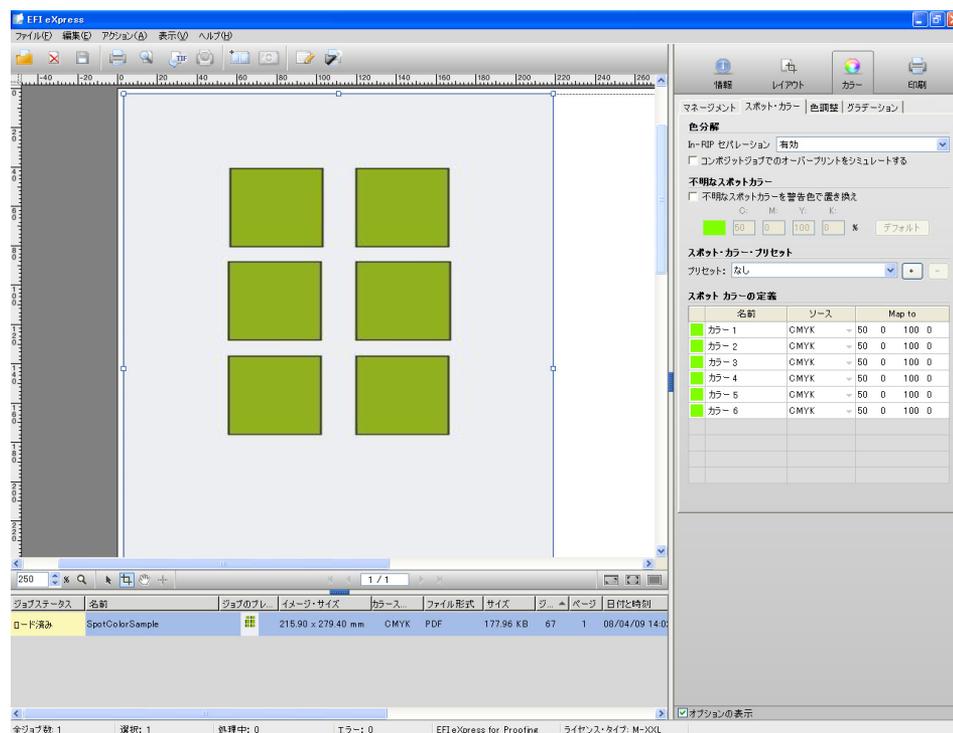
プレビューが正しく表示されている場合は、ジョブを出力します。

プロパティ・インスペクターで定義するスポットカラーは、ジョブ固有のスポットカラーです。すべてのジョブでスポットカラーを認識するには、「環境設定」ダイアログボックスでプリセットを選択する必要があります。

定義されていないスポットカラーを出力するには

状況によって、スポットカラーを定義しないままジョブを出力する必要がある場合、EFI eXpress では、簡単に識別できる警告色でこれらのカラーを置換して印刷することができます。

不明のスポットカラーを警告色で出力



- 1 未定義のスポットカラーを含むジョブをロードします。
「情報」タブにエラーメッセージが表示されます
- 2 「カラー」>「スポットカラー」タブをクリックします。
- 3 「不明なスポットカラーを警告色で置き換え」オプションにチェックマークを付けます。
デフォルトの警告色は明るい緑色ですが、編集ボックスで CMYK 値を入力してユーザー定義の警告色を定義することもできます。その場合、「デフォルト」をクリックすることによりいつでもデフォルトの警告色に戻すことができます。
- 4 ツールバーの「保存」アイコンをクリックし、設定を保存します。
- 5 未定義のスポットカラーを含むジョブをロードして、警告色の表示を確認します。
未定義のスポットカラーは、次の場所で警告色で表示されます。
 - スポットカラーの定義テーブル
 - プレビュー画面

スポットカラーおよびプリセットを変更するには

スポットカラーのプリセットを定義した後で、次の作業を行うことができます。

- スポットカラーの編集

「環境設定」ダイアログボックスで、スポットカラーの名称を変更したり、「スポットカラー」タブの定義テーブルで値を変更することによって、スポットカラーの定義を変更することができます。新しい設定を適用するには、「+」ボタンをクリックしてプリセットを上書きします。プリセットに別の名称をつけて保存することもできます。新しい設定は、設定後にロードされるすべてのジョブに適用されます。

- スポットカラーの追加

「環境設定」ダイアログボックスまたはプロパティ・インスペクターでは、既存のプリセットにスポットカラーを追加できます。変更を保存したあとで、次の作業を行うことができます。

- 現在のプリセットを上書きします。この場合、オリジナルのプリセットは使用できなくなります。
- オリジナルのプリセットのコピーとして保存します。この場合、プリセット名に「_コピー n」が追加され、オリジナルプリセットの編集コピーであることが表示されます。
- プリセットを別名で保存します。

プロパティ・インスペクターのスポットカラー定義テーブルでは、現在選択されているジョブで検知されたスポットカラーのみ表示されます。ただし、現在のプリセットには、表示されていないスポットカラーが含まれている可能性があります。そのため、既存のプリセットを上書きする場合は、「非表示の」スポットカラーを削除しないように注意してください。「環境設定」ダイアログボックスの「スポットカラー」タブでプリセットを選択すると、スポットカラー定義テーブルで選択プリセット内のすべての定義済みスポットカラーを表示できます。

- スポットカラーの削除

「環境設定」ダイアログボックスではスポットカラーを削除することができますが、プロパティ・インスペクターでは削除できません。スポットカラーを削除するには、「環境設定」ダイアログボックスのスポットカラー定義テーブルでスポットカラーを右クリックし、「削除」を選択します。そのあとで「+」ボタンをクリックし、オリジナルのプリセット内のスポットカラーの情報を更新してください。

スポットカラー情報の変更を適用するには、ジョブのプレビューを更新する必要があるかもしれません。

- スポットカラー・プリセットの削除

スポットカラーのプリセットを削除するには、リストボックスでプリセットを選択し、「-」ボタンをクリックします。プリセットを削除する前に、そのプリセットがジョブに適用されていないことを確認してください。エラーメッセージが表示された場合は、適切なジョブ ID を使用してジョブを削除するか、別のスポットカラーのプリセットを適用してから削除します。

関連参照：

[「スポットカラー」タブ](#)

[プレビューの表示](#)



カスタム・メディアプロファイルの作成と適用

EFI eXpress は、広範囲に及ぶさまざまなメディア用のメディアプロファイルを提供しています。EFI eXpress のインストール後に初めて起動すると、EFI eXpress はコンピューターにインストールされているプロファイルを検索して、場所を確認します。その後、「カラー」タブのメディア設定で項目を選択すると、EFI eXpress は自動的に設定にマッチしたインストール済みメディアプロファイルを割り当てます。

ただし状況によっては、EFI eXpress で標準でサポートされていないメディア用のカスタムプロファイルを作成する必要があるかもしれません。本セクションでは、カスタム・メディアプロファイルの作成と適用方法について説明します。

メディアプロファイルを作成するには



「環境設定」ダイアログボックスで次の設定を行います。

- 1 「カラー」>「マネージメント」タブをクリックします。
- 2 「カラー・マネジメントなし」を選択します。

このオプションを選択することにより、どのプロファイルも適用されないように設定します。プロファイルはカラーの出力品質に影響を与えます。そのため「カラーマネジメントなし」を選択することによって、ジョブの出力がプリンターの色の再現属性のみに基づくように設定します。

- 3 「プリンタ」>「印刷メディアセット」タブをクリックします。
- 4 「メディア名」および「印刷品質」欄で項目を選択します。

使用するメディアが一覧にない場合は、属性がもっとも近いメディアを選択してください。

- 5 「キャリブレーション」をクリックし、自動の内部キャリブレーション機能を使用してプリンターのキャリブレーションを行います。

プリンターによっては、内部キャリブレーション機能が提供されていないものもあります。「キャリブレーション」ボタンが使用可能になっていない場合は、使用するプリンターがこの機能をサポートしていません。その場合はこの手順をスキップしてください。

- 6 EFI eXpress 提供のプロファイル作成ソフトウェアで供給されているチャートをロードし、印刷します。

印刷するチャートは、使用する測定器により異なります。詳細については、プロファイル作成用ソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。



チャートの印刷後は、EFI eXpress での設定を変更しないようにしてください。

- 7 プロファイル作成用ソフトウェアの取扱説明書の指示に従って、メディアプロファイルを作成します。

メディアプロファイルを適用するには

メディアプロファイルを作成後は、EFI eXpress でそのメディアプロファイルを適用します。メディアプロファイルを適用するには、メディアプロファイルと epl ファイルのリンクを作成する必要があります。epl ファイルには、ユーザーが選択したインクの種類、メディアの種類、メディアの品質などの情報が含まれています。

次の手順に従って、サードパーティから入手したメディアプロファイルを適用することもできます。

「環境設定」ダイアログボックスで次の設定を行ってください。

- 1 「プリンタ」 > 「印刷メディアセット」 タブをクリックします。
- 2 「プロファイルの接続」 欄の「新しいメディア名」 にメディア名を入力します。
ここで入力するプロファイル名が、EFI eXpress でのプロファイル選択の際に表示されます。プロファイル名には、半角英数字で最大 63 文字まで入力できます。
- 3 「選択」 をクリックして、メディアプロファイルが格納されている場所を選択します。
- 4 「ICC プロファイルの選択」 ダイアログボックスで、メディアプロファイルを選択し「開く」 をクリックします。
- 5 「新しいメディアをプロファイルに接続」 をクリックします。
- 6 「OK」 をクリックし、新規メディアをプロファイルに接続します。

新しいメディアプロファイルは、「EFI Media Profiles」 > 「My Profiles」 フォルダーに保存されます。このフォルダーには、epl および ICC プロファイルが格納されます。

これでメディアプロファイルを使用することができます。カスタムメディアプロファイルは、「印刷メディアセット」 タブのメディア名として選択することができます。

ビジュアル・リニアリゼーション補正

ビジュアル・リニアリゼーション補正を適用して、ジョブ出力の全体的なカラーの品質を向上させます。この機能では、インクのパーセントを増減することにより、期待通りに出力していないジョブの各カラーチャンネルの微調整を行うことができます。



EFI eXpress で提供されているリニアリゼーション機能では、マニュアルで濃度曲線の調整を行います。上級ユーザーによる緊急の場合の手段としてのみ行うことをお勧めします。

ビジュアル・リニアリゼーションを行うには

ビジュアル・リニアリゼーションはプロパティ・インスペクターまたは「環境設定」ダイアログボックスで設定することができます。プロパティ・インスペクターでジョブ設定の一部として設定したビジュアル補正を「環境設定」ダイアログボックスで選択して、ワークフローに適用することもできます。

1 カラー補正の必要なジョブを印刷します。

通常、校正環境では出力結果を参照の印刷物と比較することができますが、プロダクション環境では、カラー出力の評価は個人の判断に委ねられます。

2 「カラー」>「グラデーション」タブをクリックします。

3 「チャンネル」リストボックスから編集するカラーを選択します。

編集できるチャンネルは、選択したプリンターでサポートされているインクのカラーに依存します。次の編集を行うことができます。

- シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック、オレンジ/レッド、グリーン、ブルーの個別カラー（1色ずつ）
- CMYK（4色同時）
- CMY（3色同時）
- マルチカラー（プリンターで使用可能なカラーすべて）

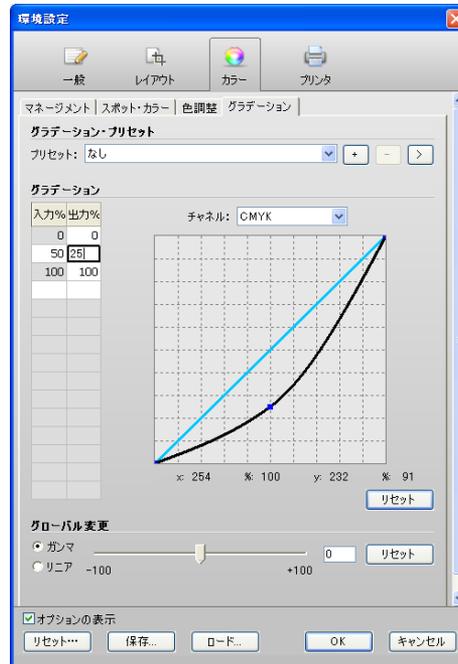
各カラー（C、M、Y、K、O/R、G、B）の値を定義すると、「CMYK」、「CMY」、「マルチカラー」オプションはグレーアウトされ選択できなくなります。

4 次のいずれかの方法を使って、選択カラーのグラデーションカーブを編集します。

- 「ガンマ」スライドバーを移動します。

ガンマ設定では、入力値 50% に対する出力のインク % を増減します。出力値として、25% から 75% の間の値を設定できます。その外側のインク濃度値は、滑らかなグラデーションカーブになるように調整されます。0% および 100% 値はそのままです。この設定を適用すると、すべてのカラー値（特に中間トーンのカラー）の明るさに影響を及ぼします。

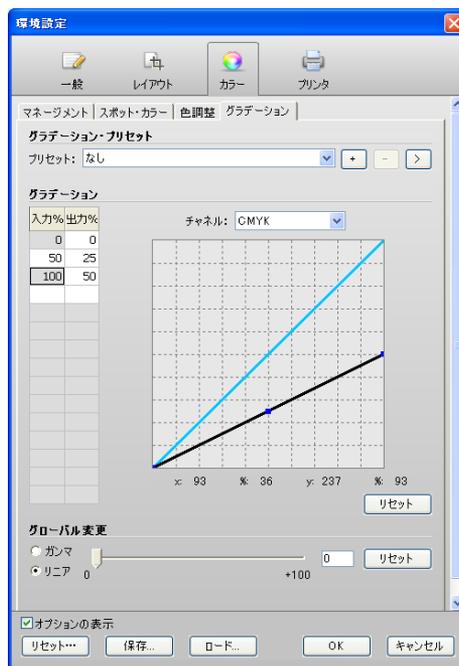
ガンマ設定



- 「リニア」スライドバーを移動します。

この設定では、入力値 100% の出力インク % を減らします。出力値の最小インク値は 50% です。100% 未満のすべての値はリニア線に沿って調整されます。0% 値はそのままです。この設定を適用すると、すべてのカラー値の明るさに均等に影響を及ぼします。

リニア設定



- グラデーションカーブに沿って各カラー値を定義します。

カーブ上の点でマウスをクリックすると、ノードが表示されノードの入力値がテーブルに表示されます。マウスボタンを押して、希望する入力値と出力値がテーブルで表示される位置までノードをドラッグして、マウスボタンを放します。

グラデーションカーブ上の任意の点を選択して、この手順を繰り返します。

- 「入力 %/ 出力 %」テーブルで各カラー値を定義します。

「入力 %/ 出力 %」テーブルは、最初は 0% および 100% 値のみ表示しています。「x」は入力値を、「y」は出力値を表しています。カラー値を変更するには、テーブルで追加の値を入力して <Enter> キーを押します。

カラー値を変更するには、テーブル内の変更するセルをダブルクリックして新しい値を入力します。テーブル内の行を削除するには、行上のセルを選択し、マウスの左ボタンを押して行全体を選択し、 キーを押します。



変更を取り消してカラー値をデフォルトに戻すには、「リセット」ボタンをクリックします。

- 5 変更を保存するには、「+」ボタンをクリックして、グラデーション・プリセット用の名前を設定します。
既存のプリセットを上書きしないように、固有の名前を付けてください。グラデーションプリセットは、vcc形式で保存されます。プリセットは、リストボックスから選択します。
- 6 リストボックスでプリセットが選択されていることを確認します。
- 7 ジョブを再印刷し、オリジナルの出力結果と比較します。結果に満足できない場合は、上の手順を繰り返します。

グラデーション・プリセットを削除するには

「環境設定」ダイアログボックスで次の設定を行います。

- 1 削除対象のプリセットが、ジョブ一覧のジョブに適用されていないことを確認してください。
- 2 リストボックスでプリセットを選択し、「-」ボタンをクリックします。

エラーメッセージが表示された場合は、適切なジョブ ID を使用してジョブを削除してから手順を繰り返してください。

関連参照：

[「グラデーション」タブ](#)

カスタムのメディアフォーマットの適用

使用するメディアフォーマットが EFI eXpress でサポートされていない場合は、カスタムのメディアフォーマットを定義することができます。

カスタムのメディアフォーマットを定義するには

「環境設定」ダイアログボックスで次の設定を行います。

- 1 「プリンタ」 > 「印刷メディアサイズ」 タブをクリックします。
- 2 「ソース」 欄でプリンターにセットされているメディアの種類（ロール紙またはシート）を入力します。
メディアはカスタムサイズ以上のものを選択してください。
- 3 「幅」、「高さ」 欄にカスタムのメディアフォーマットの寸法を入力します。
値を入力すると「カスタム」が表示されます。
- 4 「+」 ボタンをクリックします。
新しいメディアフォーマットが一覧に追加され、選択された状態になっています。

メディアフォーマットを削除するには

「環境設定」ダイアログボックスで次の設定を行います。

- 1 「プリンタ」 > 「印刷メディアサイズ」 タブをクリックします。
- 2 「フォーマット」 リストボックスで、メディアフォーマットを選択します。
カスタムのメディアフォーマットは、リストの最後に表示されます。
- 3 「-」 ボタンをクリックします。

設定のバックアップと復元

ユーザーのサイトの条件に合った最適の設定を構築することは、時には非常に時間がかかります。このため EFI eXpress では、設定内容をバックアップファイルに保存しておく機能を提供しています。Windows または Mac OS 対応のコンピューターにバックアップを保存しておき、その内容を必要に応じて復元させることができます。

バックアップは EBK 形式で保存されており、次のファイルを含んでいます。

- メディアプロファイル (ICC ファイル)
- コレクション・プリセット
- ビジュアル・コレクションファイル (vcc ファイル)
- スポットカラーテーブル (bct ファイル)
- モニタープロファイル (icc ファイル)
- L*a*b* 最適化ファイル (3cc ファイル)

バックアップファイルは EFI eXpress の再インストール後など、いつでも復元することができます。

バックアップファイルを作成するには

- 1 「アクション」メニューから「バックアップ」を選択します。

「バックアップ・ファイルの保存」ダイアログボックスが表示されます。

- 2 バックアップファイルのファイル名を入力します。

バックアップファイルのデフォルト名は、「EFI_eXpress_Backup_xxx」（「xxx」は日付）です。同じ日に二つのバックアップファイルを作成すると、最初のファイルが上書きされてしまうため新しい名前を付けてください。

- 3 バックアップファイルの格納先を決めます。

デフォルトでは、バックアップファイルはデスクトップに保存されます。

- 4 「保存」をクリックします。

バックアップファイルを復元するには

- 1 「アクション」メニューから「復元」を選択します。

- 2 バックアップファイルを格納している場所でバックアップファイルを選択します。

- 3 「開く」をクリックします。

- 4 確認画面で「OK」をクリックして、EFI eXpress を再起動します。

更新プログラムおよびプロファイルのインストール

EFI 社は、機能の向上およびプリンターのサポート拡大のために、製品の発売後も常に製品の更新作業を続けています。そのため、定期的に更新ファイルの有無を確認して、最新ファイルをインストールすることをお勧めします。



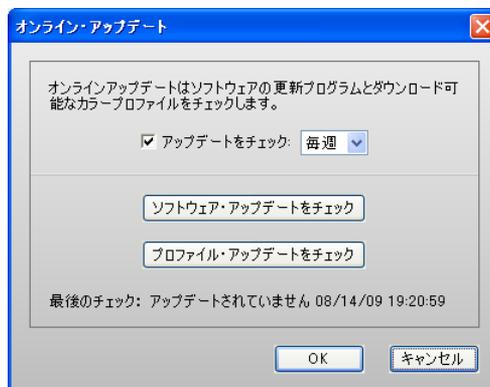
オンラインアップデートを行うには、EFI eXpress がインターネットにアクセス可能なコンピュータにインストールされている必要があります。

更新ファイルを自動的にサーチするには

- 1 「ヘルプ」メニューから「オンライン・アップデート」を選択します。

「オンライン・アップデート」ダイアログボックスが表示されます。

「オンライン・アップデート」
ダイアログボックス



- 2 「アップデートをチェック」にチェックマークを付けて、リストボックスから頻度（毎日、毎週、毎月）を選択します。

指定されたチェックの時間になると、EFI eXpress は自動的に EFI 社のウェブサイトに行き、更新ソフトウェアおよび更新プロファイルの有無を確認します。



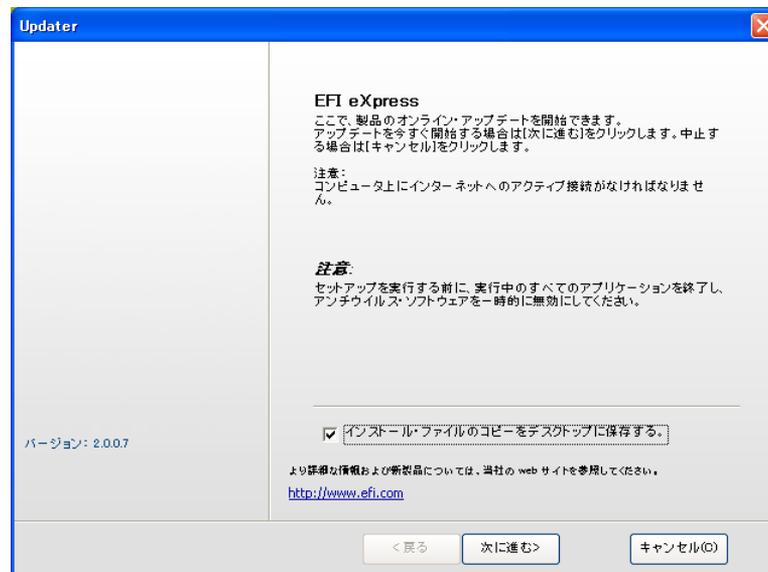
自動的な更新確認を行いたくない場合は、「アップデートをチェック」のチェックマークを外します。その場合はいつでも、「ソフトウェア・アップデートをチェック」または「プロファイル・アップデートをチェック」にチェックマークを付けて更新状況を確認することができます。

ソフトウェアの更新をインストールするには

- 1 「オンライン・アップデート」 ダイアログボックスで「ソフトウェア・アップデートを
チェック」を選択します。

「Updater」ダイアログボックスが表示されます。

アップデーター用ダイアログ
ボックス



- 2 画面の指示に従って、更新ファイルをダウンロードしてインストールします。

「インストール・ファイルのコピーをデスクトップに保存する」オプションは、デフォルトでチェックマークが付いています。このファイルを使用して、他のコンピューターにも簡単にインストールすることができます。インストールファイルをデスクトップに保存する必要がない場合は、このオプションのチェックマークを外してください。

更新プロファイルをインストールするには

- 1 「オンライン・アップデート」 ダイアログボックスで「プロファイル・アップデートを
チェック」を選択します。

プロファイル・アップデート
確認用ダイアログボックス



- 2 「次へ」をクリックします。
- 3 プリンターの製造元のタブをクリックします。
サポートされているプリンターの機種が表示されるのに、しばらく時間がかかることがあります。
- 4 使用機種にチェックマークを付けて、機種用のすべての更新プロファイルのインストールを指定します。
プリンター機種名の左の「+」ボタンをクリックして、個別のメディアプロファイルを選択することもできます。
- 5 「プロファイルの追加」をクリックして、プロファイルの選択を保存します。
- 6 「選択済みプロファイル」タブをクリックし、「今更新する」をクリックします。
更新プロファイルがダウンロードされ、インストールされます。
- 7 「完了」をクリックします。

日本語フォントの使用

EFI eXpress は、平成2 書体の日本語フォントを提供しています。これ以外の PS フォントを使用する場合には、サードパーティから購入してください。



日本語フォントをインストールする際には、EFI eXpress で AppleTalk を使用可能に設定しておく必要があります。

サードパーティ製の日本語フォントをインストールするには

- 1 購入したサードパーティ製日本語フォントのインストール手順に従って、フォントをインストールします。

Macintosh OS 9 コンピューターからフォントをインストールする場合は、EFI eXpress と同じ AppleTalk ネットワークにあるコンピューターにインストールしてください。インストール中に、EFI eXpress プリンターを選択するよう要求される場合があります。正しい AppleTalk スプーラー名を選択していることを確認してください。

- 2 フォントのダウンロードが完了したら、EFI eXpress を再起動します。
- 3 インストールした日本語フォントを使用可能にするには、「アクション」メニューで「フォントダウンロードの開始」を選択します。

これで、インストールしたフォントを使用して印刷できるようになります。

関連参照：

[製品登録](#)

[仮想プリンターを使用した印刷](#)

[解像度の設定（オプションの表示）](#)

アンインストール

ここでは、EFI eXpress のアンインストール方法について説明します。

WINDOWS のセットアッププログラムを使用してアンインストールするには

- 1 ソフトウェア DVD を DVD-ROM ドライブに挿入します。

起動画面が自動的に表示されます。表示されない場合は、DVD 内の Start.exe ファイルをダブルクリックしてください。

- 2 「EFI eXpress をインストール」をクリックして、インストールを開始します。
- 3 「ようこそ」ウィンドウで、「削除」をクリックし、表示される指示に従ってアンインストールを完了します。



再インストールする場合は、必ずコンピューターを再起動してからインストールしてください。

WINDOWS のコントロールパネルからアンインストールするには

- 1 コントロールパネルを開きます。
- 2 使用コンピューターに応じて次を行います。

Windows XP:

「プログラムの追加と削除」をクリックします。

Windows Vista:

「プログラムと機能」をクリックします。

Windows 2003:

「ソフトウェア」をダブルクリックします。

- 3 インストール済みプログラムの一覧で、アンインストールするアプリケーションを選択して、「削除」(Windows XP および Windows 2003) または 「アンインストール」(Windows Vista) をクリックします。
- 4 オペレーティングシステムの手続きに従って、プログラムを削除します。



再インストールする場合は、必ずコンピューターを再起動してからインストールしてください。

MACINTOSH でアンインストールするには

- 1 ソフトウェア DVD を DVD-ROM ドライブに挿入します。
- 2 プログラムアイコンをダブルクリックし、セットアッププログラムを起動し、「カスタムインストール」ダイアログが表示されるまで画面の指示に従います。
- 3 ポップアップメニューから、「アンインストール」を選択します。
- 4 「アンインストール」をクリックし、表示される指示に従って手順を完了します。



再インストールする場合は、必ずコンピューターを再起動してからインストールしてください。

用語集

ここでは、本書で使用されている用語について説明しています。

EFI リモートプルーフコンテナ

遠隔校正を行うとき、遠隔地にイメージファイルと設定ファイルを送信する際に使用するファイルのファイル形式です。EFI リモートプルーフコンテナは、PDF ファイル（印刷ファイル）と JDF ファイル（設定ファイル）から構成されたひとつのファイルで、.RPF の拡張子を持っています。

L*a*b*

L*a*b* カラーモデルは、CIE（国際証明委員会）が 1931 年に提唱したカラー測定の国際標準モデルです。L* 値は明るさを、a* 値は赤－緑の軸を、b* は黄－青の軸を表わす混色系の表色系で、2 色間の色差の計算は、L*、a*、b* の差の 2 乗値の和の平方根を求めることにより行われます。

pdf

Portable Document Format の略称です。Adobe Reader（無償でダウンロードできる）を使うことで、異なるプラットフォーム上でも文書の表示および印刷ができる文書フォーマット方法です。

RGB

レッド、グリーン、ブルーの光を個別に取り込み、組み合わせてフルカラー画像を作成する、デジタルカメラやコンピューターモニターで採用されている補助カラーシステムです。

ガンマ値

オリジナルのコントラスト（明るさ）と、出力物のコントラストの差をあらわす数値です。ガンマ値が「1」であれば、出力側のコントラストがオリジナルと同じであることを示しています。

紙色シミュレーション

紙色シミュレーションとは、用紙色も含めたシミュレーションです。たとえば、カラーの表現で「絶対カラーメトリック」を選択し、プロファイルで「ISOnewspaper26v4.icc」を選択した場合、イメージは新聞紙をシミュレートしたグレーの背景上に印刷されます。

基本リニアライゼーション

プリンターの濃度特性は直線的なものではなく、50% 付近で最大色濃度に達します。そのため、プロファイル作成用のテストチャートには、これより高い濃度に対する差分カラーパッチがありません。

EFI eXpress では、メディアプロファイル作成時にリニアライゼーションを実施し、プリンターの最大濃度値を確認し、リニアに調整された状態でメディアプロファイルを作成するためプリンタの能力を最大限に引き出した出力結果が得られます。

シート

シートとは、ジョブの出力サイズを指します。このサイズは、プリンターにセットされた用紙のサイズとは必ずしも一緒である必要はありません。プリンターの用紙サイズよりも小さいサイズでシートサイズを指定できます。

プリンターリニアライゼーション

色の濃度を再調整し、ベースリニアライゼーションの作成に使用した元の状態にプリンターを戻すための処理を指します。

ページ

EFI eXpress においては、EFI eXpress にインポートされプレビューウィンドウに表示されたものをページと呼びます。この場合、ジョブは単一である場合も複数のジョブの一部である場合もあります。

レンダリングインテント

レンダリングインテントとは、CMM（カラーマネージメントモジュール）がカラースペースへ変換時にガミユを外れたカラーを処理するか、その方法を指します。

索引

- A**
AppleTalk 印刷
 EFI eXpress 97
 Windows XP 96
 クライアントコンピューター 102
- E**
Explorer で表示 / Finder で表示 28
- G**
GPS 51
- I**
In-RIP セパレーション 67
- L**
L*a*b* 最適化 66
- P**
PDF 出力インテント 65
- R**
RGB オブジェクトを印刷 66
RIP して即時に印刷 48
- T**
TIFF エクスポート 35, 49
TIFF ファイルへエクスポート 35
TIFF へエクスポート 49
- U**
Unidriver
 Macintosh 90
 UniDriver からジョブの送信が可能 47
 Windows 88
- あ**
アクティベーション・ウィザード / アシスタント 31
アンインストール 137
- い**
位置揃え, ページ 54
- 色**
管理
 ビジュアル調整 70
調整 69
 CMYK/RGB 70
 アンシャープ / シャープ 70
 明度 / コントラスト / 彩度 70
- 印刷**
Unidriver を使用 88
アプリケーションからの印刷 104
印刷範囲 72
印刷メディアの長さ補正 77
仮想プリンター 93
グレースケール 63, 66
ジョブを自動的に印刷する 42
スピード 48
双方向 48
部数 72
フチなし 76
ホットフォルダを使用 92
- 印刷メディア**
プロファイル
 選択 74
- インストール**
更新プログラムとプロファイル 133
- う**
埋め込みプロファイル 64
- え**
エグジフデータ
 表示 51
エラーメッセージ, 表示 51
- お**
オーバープリント 68
- か**
解像度
 出力 49
 処理速度 48
 入力 49
解像度の設定 48
回転, ページ 53

- 拡大縮小, ページ 52
- 仮想プリンター
 - EFI eXpress の設定 97
 - クライアントコンピューター設定 100
 - サポートされるプロトコル 93
- カメラの設定
 - 表示 51
- カラー管理
 - ビジュアル補正 127
- カラーマネージメント 105
 - 定義されたプリセット 61
- 環境設定ダイアログボックス, アクセス 37
- き**
- キーボードショートカット 82
- く**
- クリーンアップ 31
- グレースケールに変換 63, 66
- 黒色のインクのみを使用 66
- クロッピング 116
- クロップマーク 58
- クロップマージン 118
- け**
- 言語設定 40
- こ**
- 更新
 - プログラムとプロファイル 133
- コレクション 110
 - クローン 112
 - 自動的 42
 - 情報 33
 - 設定 111
 - 設定の変更 114
 - プリセット 55
 - プレビュー 28
 - レイアウト 55
 - 配列 113
- コレクションの周囲 57
- コントロールストリップ 59
- さ**
- 最適化
 - L*a*b* 66
 - メディア消費量 55
- 作業カラー・スペース 66
- 作業フォルダ, 定義 40
- サポート 13, 35
- サポートされるファイル形式 86
- し**
- システム条件 8
- シミュレーションプロファイル
 - 選択 65
- 出力解像度 49
- ジョブ
 - 設定 38
 - チケット 60
 - リスト 78
- ジョブリスト
 - カラムタイトル 78
- す**
- ステータスバー 85
- スポットカラー
 - 警告色で置き換え 68
 - 削除 124
 - 追加 124
 - 定義されていないカラーの出力 123
 - プリセットの削除 124
 - ロードジョブのスポットカラーの定義 121
 - 編集 124
- せ**
- 製品
 - 選択 40
 - 相違点 39
 - ライセンス設定 15
- 設定 36
 - 基本設定と詳細設定 38
 - ジョブ 38
 - バックアップとリストア 132
 - プリンター 71
 - ワークフロー 37
- 設定ウィザード / 設定アシスタント 36
- セットアップ 18
- そ**
- 双方向印刷 48
- ソースプロファイル 106
 - 選択 64
- 測定単位 40

た

タブ

- TIFF エクスポート 48
- アプリケーション 39
- 色調整 69
- 印刷メディアサイズ 76
- 印刷メディアセット 74
- オプション 77
- グラデーション 70
- コレクション 54
- 情報 50
- ジョブ検出 46
- スポットカラー 67
- 接続 72
- 速度 47
- デバイス 71
- フッター 59
- ページレイアウト 52
- マーク 58
- マネージメント 61
- ワークフロー 42

単位 40

ち

直接印刷

EFI eXpress 87

つ

ツールバー

- プレビュー 81
- メイン 35

て

デモモード 14

と

Dongle ID 17

に

- 日本語フォント 31, 48, 136
- 入力解像度を維持 49

ひ

ビジュアル・リニアリゼーション補正 70, 127

ふ

- ファイル削除 45
- フォント, 日本語 31, 48
- フチなしで印刷 76

プリンター

- キャリブレート 75
- 接続 72
- 設定 71

プリント

TIFF フォーマット 35, 49

プリントエンジン 44

プレビュー

- 表示 84
- ウィンドウ 80
- ツールバー 81

プレビューの設定

自動 44

プログラム

- アンインストール 137
- 起動 14
- セットアップ 18
- フォルダー 9
- 更新 133

プロパティ・インスペクター 38

プロファイル

- 印刷メディア
 - 選択 74
- 埋め込み 64
- サードパーティー 75
- シミュレーションプロファイル
 - 選択 65
- ソース
 - 選択 64
- ソースプロファイル 106
- メディアプロファイル 105
- モニタ 41

へ

ページ

- 位置揃え 54
- 回転 53
- 拡大縮小 52
- サイズ 29

ページサイズ

計算 42

ページサイズを計算する 42

ページの配列 113

ほ

ホットフォルダ

- 印刷 92
- 設定 46

ま

- マージン
 - コレクションの周囲 57

め

- メディア
 - カスタムサイズの適用 131
 - サイズ
 - 選択 76
 - 消費量 55
- メディアプロファイル
 - インストール 21
- 105
 - 更新 133
- メニュー
 - EFI eXpress 27
 - アクション 30
 - 表示 32
 - ファイル 27
 - ヘルプ 34
 - 編集 29

も

- モニタのプロファイル 41

ゆ

- ユーザーインターフェイス 26
 - キーボードショートカット 82
 - ジョブリスト 78
 - ステータスバー 85
 - 設定 38
 - プレビュー
 - ウィンドウ 80
 - ツールバー 81
 - メインツールバー 35
 - メニュー 27

よ

- 余白
 - 印刷範囲外 33

ら

- ライセンス 31
- ライセンス設定 15
- ライセンス・フォルダ, 指定 41

れ

- レンダリングインテント
 - 選択 64

わ

- ワークフロー設定 37